

第4次船橋市地域福祉計画推進に係る  
市民アンケート調査結果報告書  
(案)

令和6年10月

船 橋 市

# 目次

<b>I</b>	<b>調査の概要</b> .....	<b>1</b>
1	調査の目的 .....	1
2	調査対象 .....	1
3	調査期間 .....	1
4	調査方法 .....	1
5	回収状況 .....	1
6	調査結果の表示方法 .....	1
<b>II</b>	<b>調査結果</b> .....	<b>2</b>
1	市民調査結果 .....	2
	(1) 回答者属性 .....	2
	(2) 地域との関わり合い .....	17
	(3) 地域での活動 .....	36
	(4) 孤独・孤立 .....	63



# I 調査の概要

## 1 調査の目的

本調査は「第4次船橋市地域福祉計画」の策定にあたり、設定した成果指標の進捗状況を把握することを目的として実施したものです。

## 2 調査対象

船橋市在住の満18歳以上の3,000人を無作為抽出

## 3 調査期間

令和6年6月24日から令和6年7月28日

## 4 調査方法

郵送による配布・回収

## 5 回収状況

	配布数	有効回答数	有効回答率
市民調査	3,000 通	1,308 通	43.6%

## 6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを■で網かけをしています。（無回答を除く）

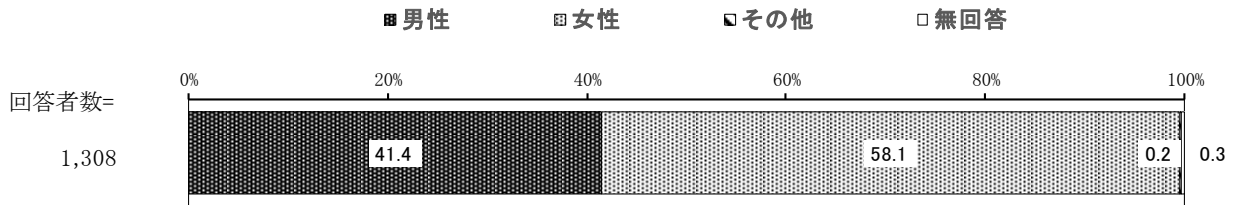
## II 調査結果

### 1 市民調査結果

#### (1) 回答者属性

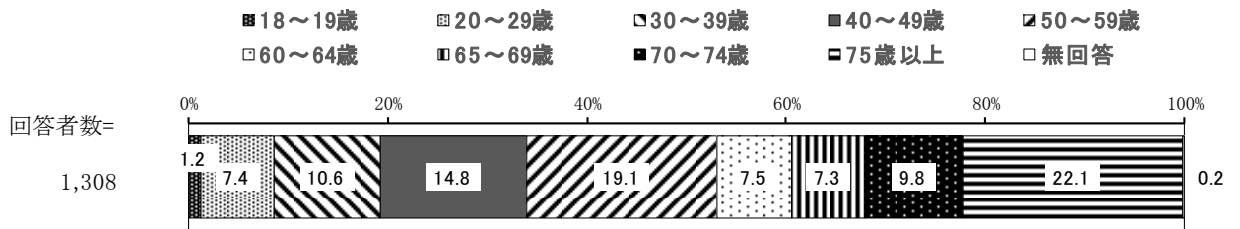
問1. あなたの性別についてお伺いします。(〇は1つだけ)

「男性」の割合が41.4%、「女性」の割合が58.1%となっています。



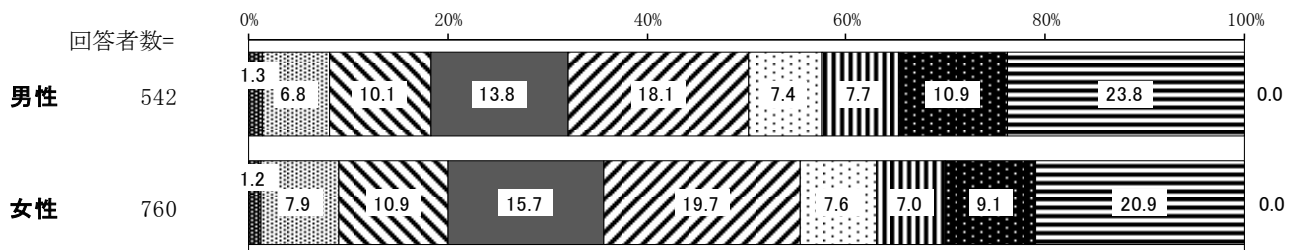
問2. あなたの年齢を次の中から選んでください。(〇は1つだけ)

「75歳以上」の割合が22.1%と最も高く、次いで「50～59歳」の割合が19.1%、「40～49歳」の割合が14.8%となっています。



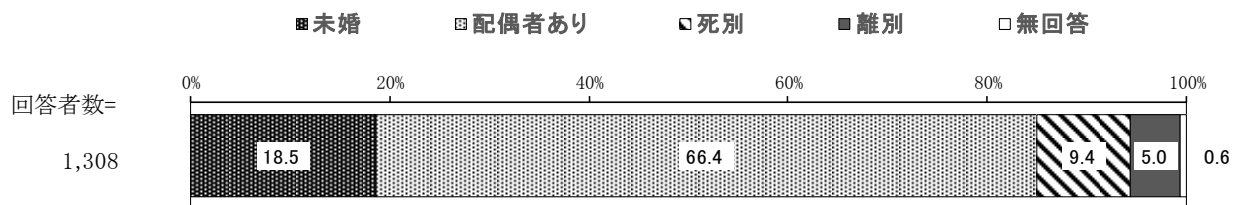
#### 【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



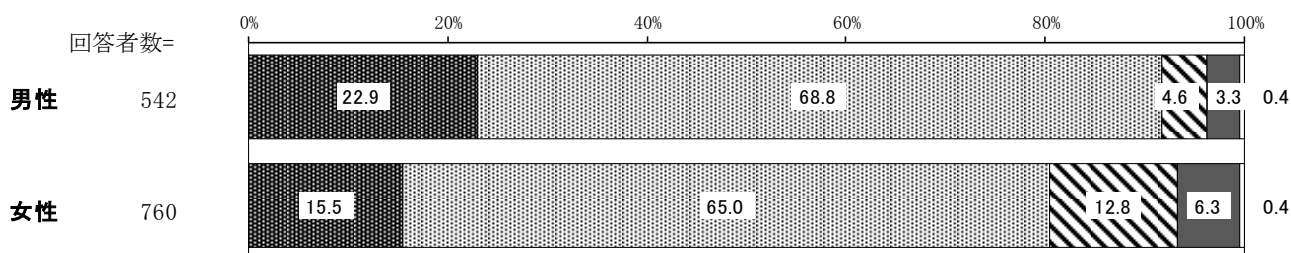
問3. あなたの現在の婚姻状況をお答えください。なお、「配偶者」には事実上夫婦として生活しているが、婚姻届けを提出していない場合や同性パートナーを含みます。

「配偶者あり」の割合が 66.4%と最も高く、次いで「未婚」の割合が 18.5%、「死別」の割合が 9.4%となっています。



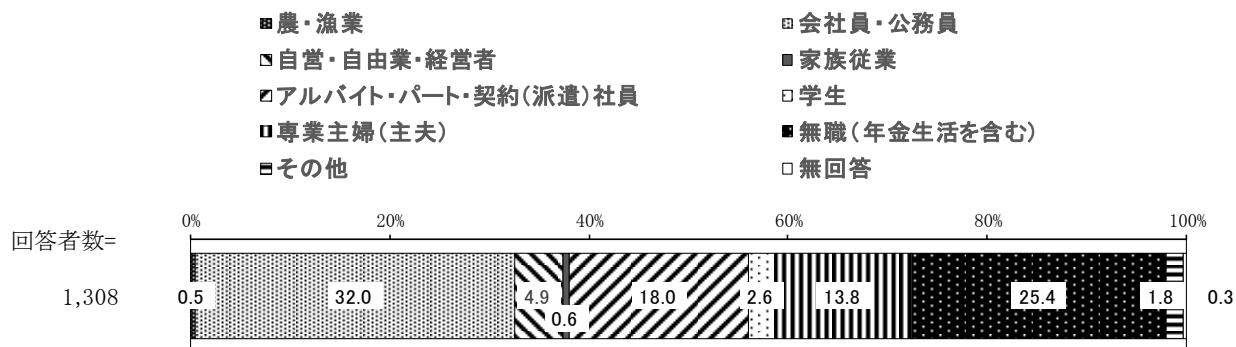
【性別】

性別でみると、男性の未婚の割合が高くなっています。



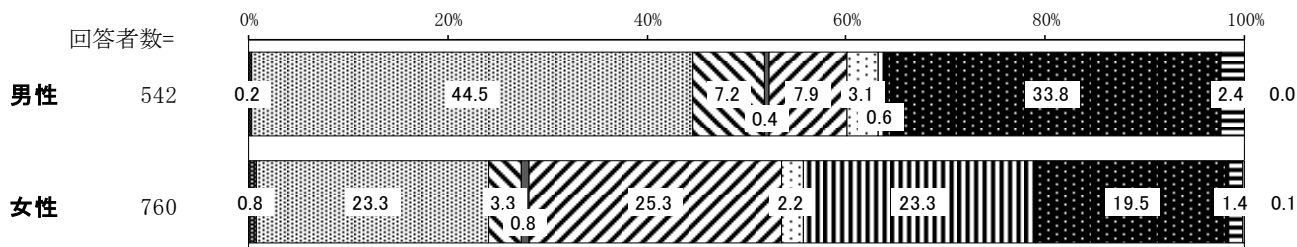
問4. あなたのご職業は何ですか。(〇は1つだけ)

「会社員・公務員」の割合が32.0%と最も高く、次いで「無職(年金生活を含む)」の割合が25.4%、「アルバイト・パート・契約(派遣)社員」の割合が18.0%となっています。



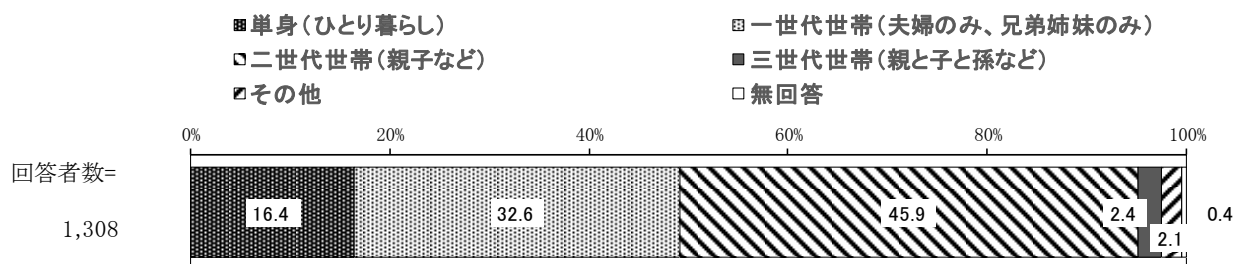
【性別】

性別で見ると、女性に比べ、男性で「会社員・公務員」「無職(年金生活を含む)」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「アルバイト・パート・契約(派遣)社員」「専業主婦(主夫)」の割合が高くなっています。



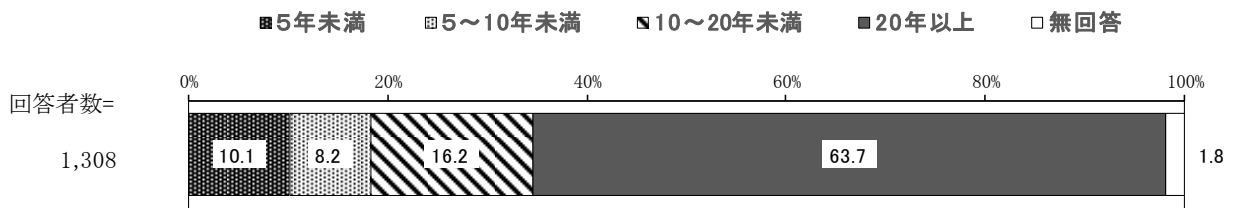
問5. あなたの世帯状況を伺います。(〇は1つだけ)

「二世帯世帯(親子など)」の割合が45.9%と最も高く、次いで「一世帯世帯(夫婦のみ、兄弟姉妹のみ)」の割合が32.6%、「単身(ひとり暮らし)」の割合が16.4%となっています。



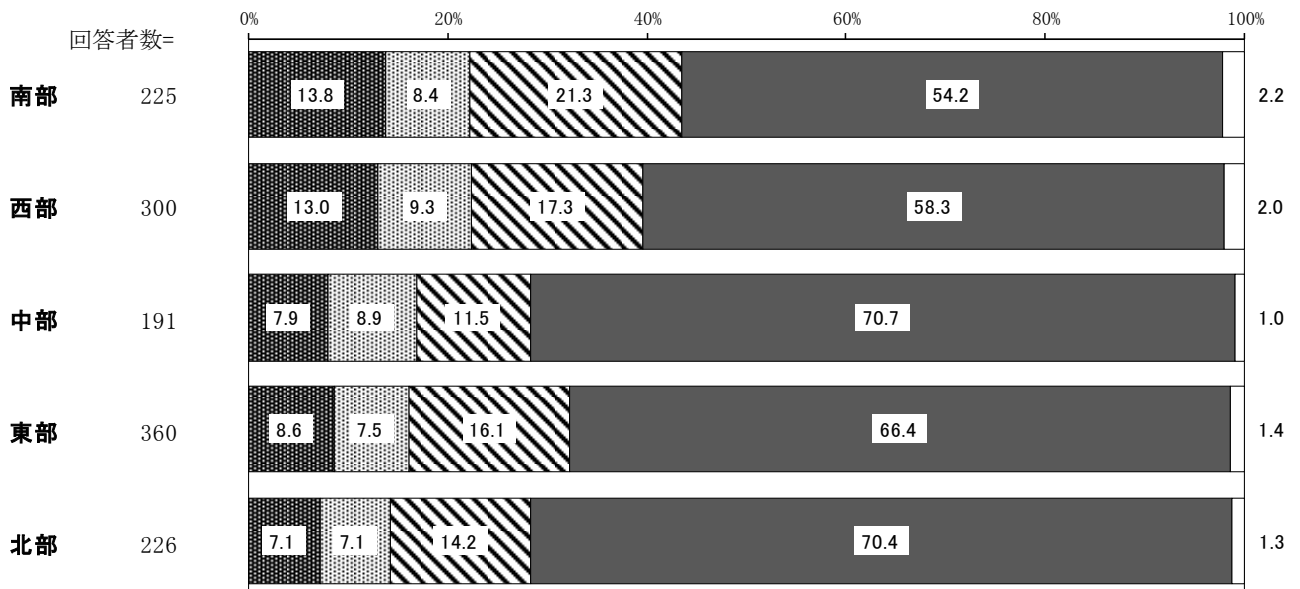
問6. あなたは、船橋市に何年お住まいですか。（○は1つだけ）

「20年以上」の割合が63.7%と最も高く、次いで「10～20年未満」の割合が16.2%、「5年未満」の割合が10.1%となっています。



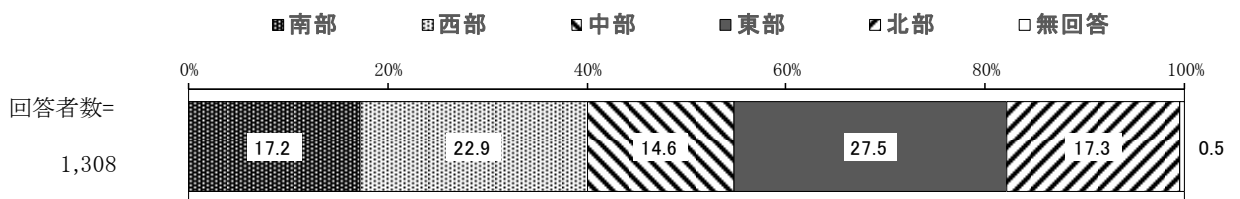
【行政ブロック別】

行政ブロック別でみると、他に比べ、南部で「10～20年未満」の割合が高くなっています。また、中部、北部で「20年以上」の割合が高くなっています。



問7. あなたが現在お住まいの地区を伺います。（○は番号に1つだけ）

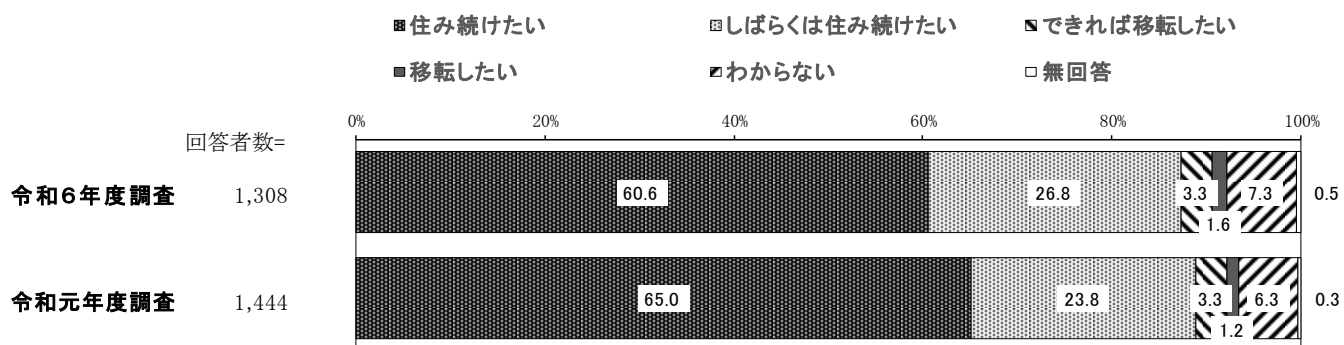
「東部」の割合が27.5%と最も高く、次いで「西部」の割合が22.9%、「北部」の割合が17.3%となっています。





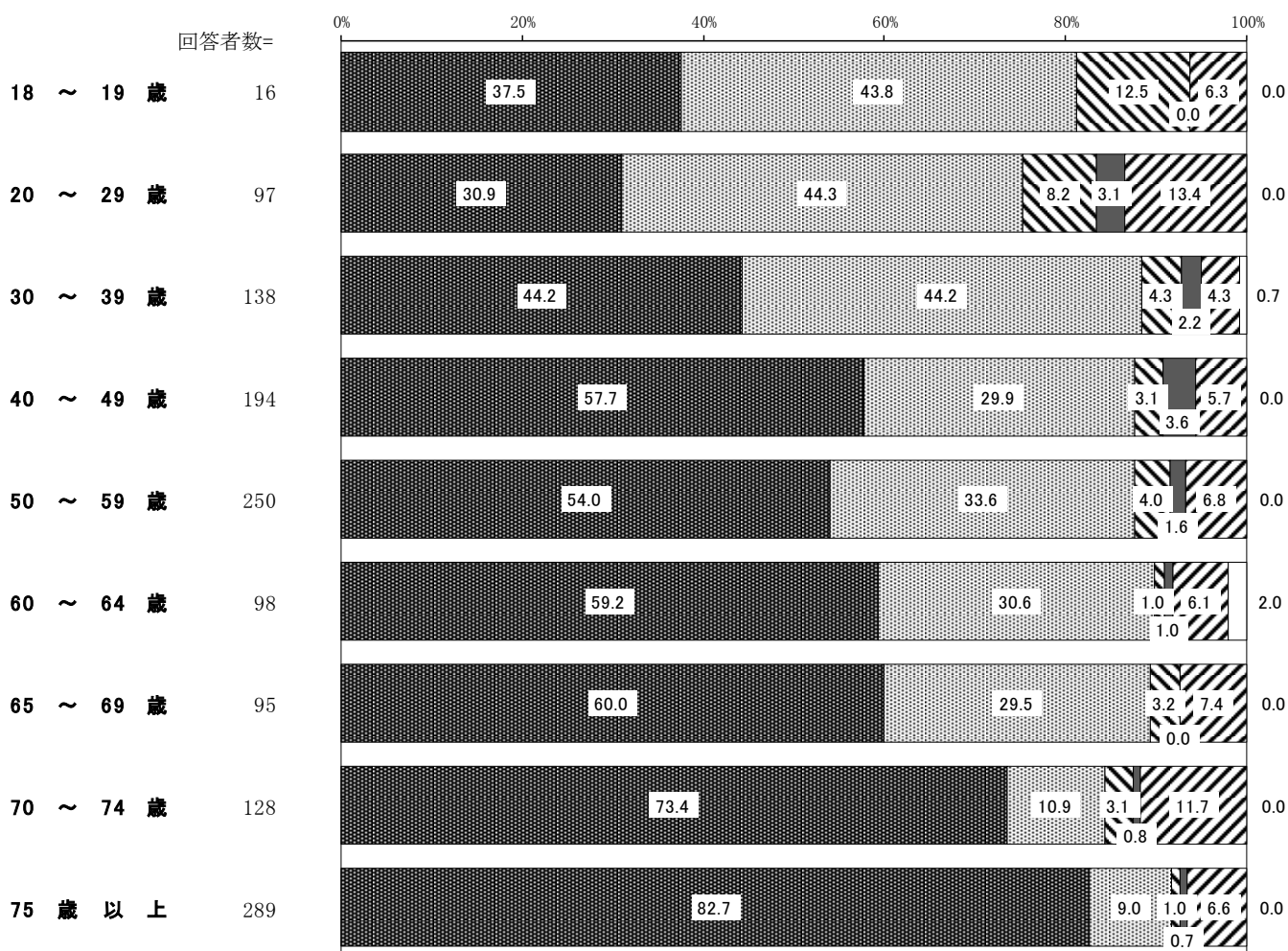
問8. あなたは、今後も船橋市に住み続けたいと思いますか。（〇は1つだけ）

「住み続けたい」と「しばらくは住み続けたい」をあわせた“住み続けたい”の割合が87.4%、「できれば移転したい」と「移転したい」をあわせた“移転したい”の割合が4.9%となっています。



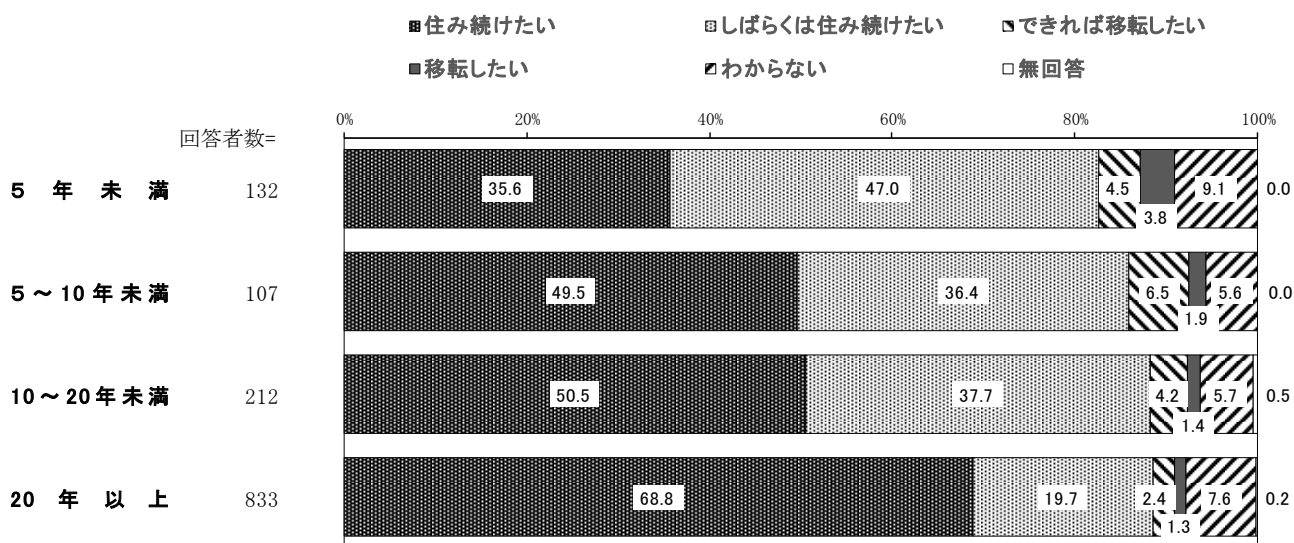
【年齢別】

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれ「住み続けたい」の割合が、年齢が低くなるにつれ「しばらくは住み続けたい」の割合が高くなる傾向がみられます。



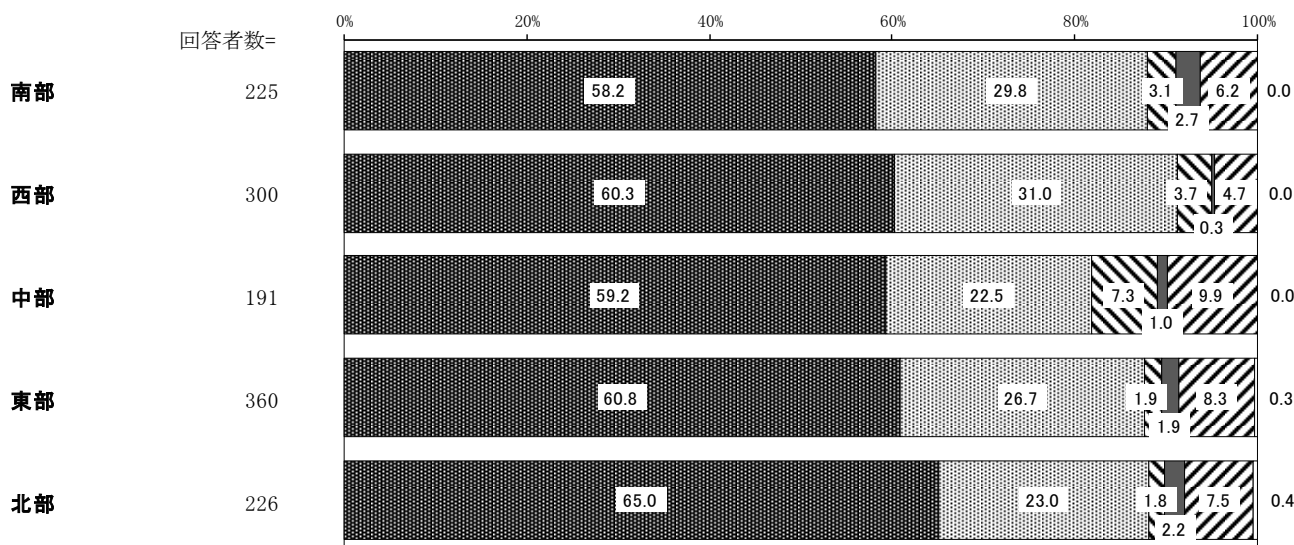
### 【居住年数別】

居住年数別でみると、居住年数が長くなるにつれ「住み続けたい」の割合が、居住年数が短くなるにつれ「しばらくは住み続けたい」の割合が高くなっています。



### 【行政ブロック別】

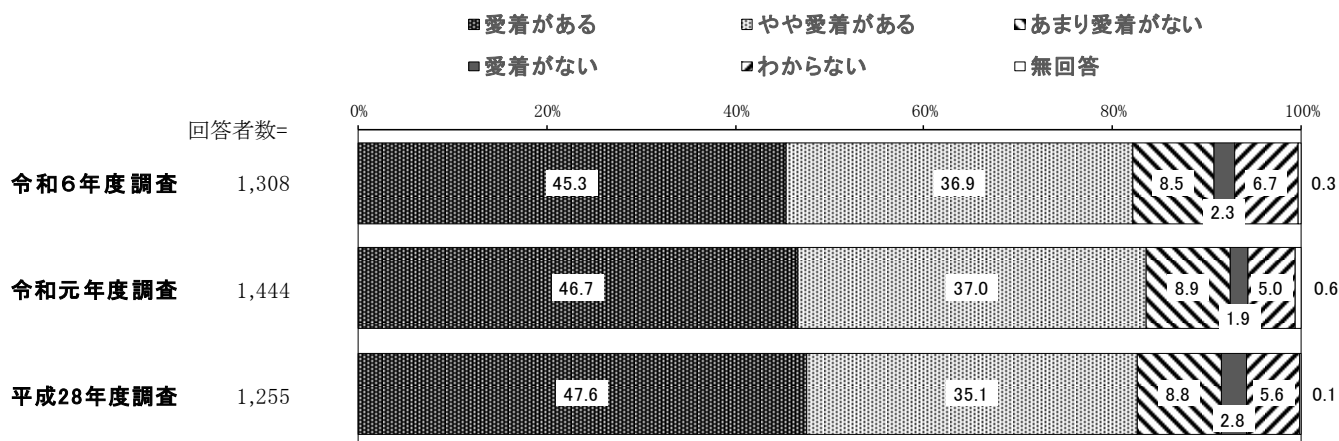
行政ブロック別でみると、他に比べ、北部で「住み続けたい」の割合が高くなっています。



問9. あなたは、船橋市に愛着を持っていますか。（○は1つだけ）

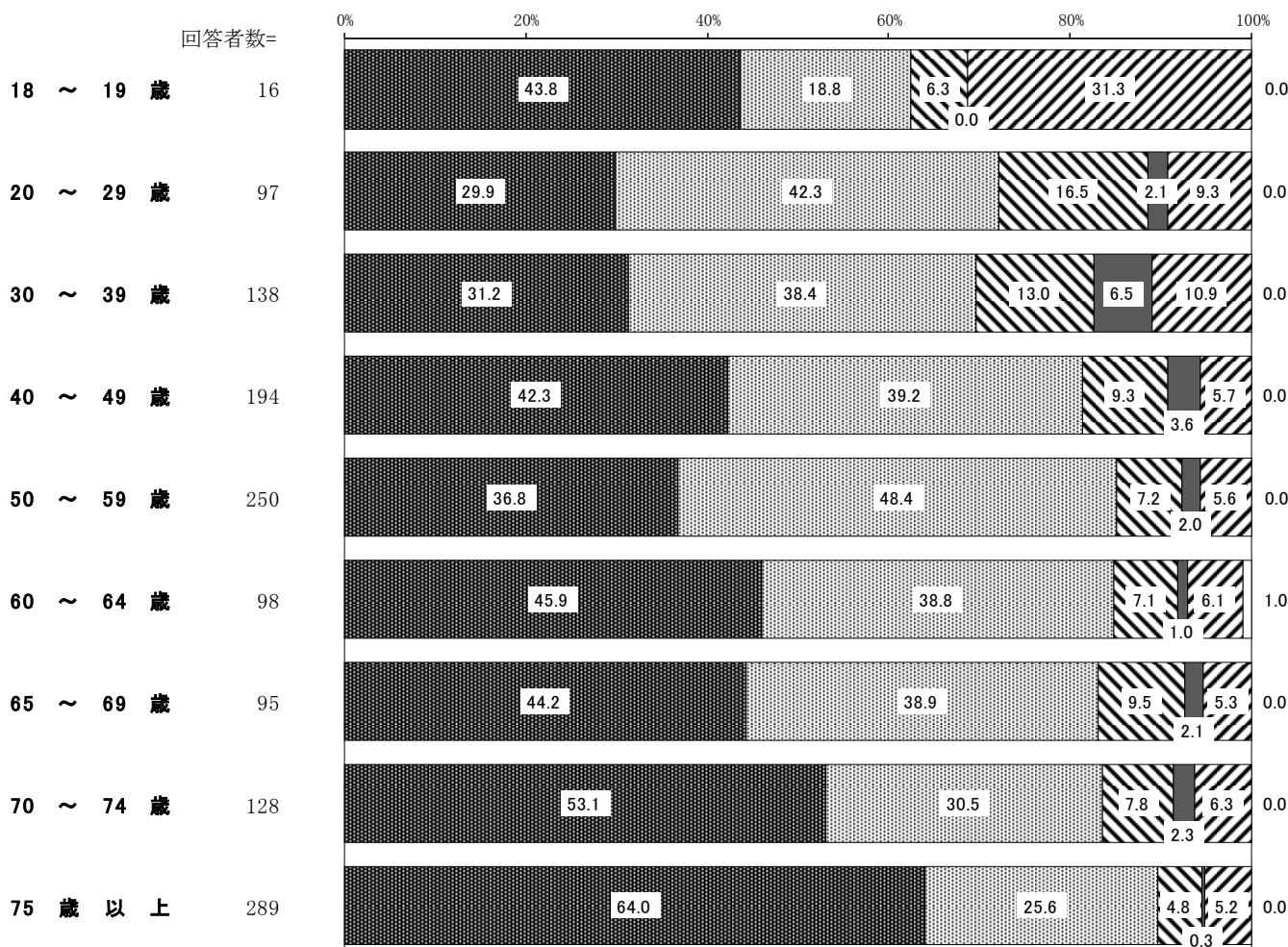
「愛着がある」と「やや愛着がある」をあわせた“愛着がある”の割合が 82.2%、「あまり愛着がない」と「愛着がない」をあわせた“愛着がない”の割合が 10.8%となっています。

令和元年度、平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



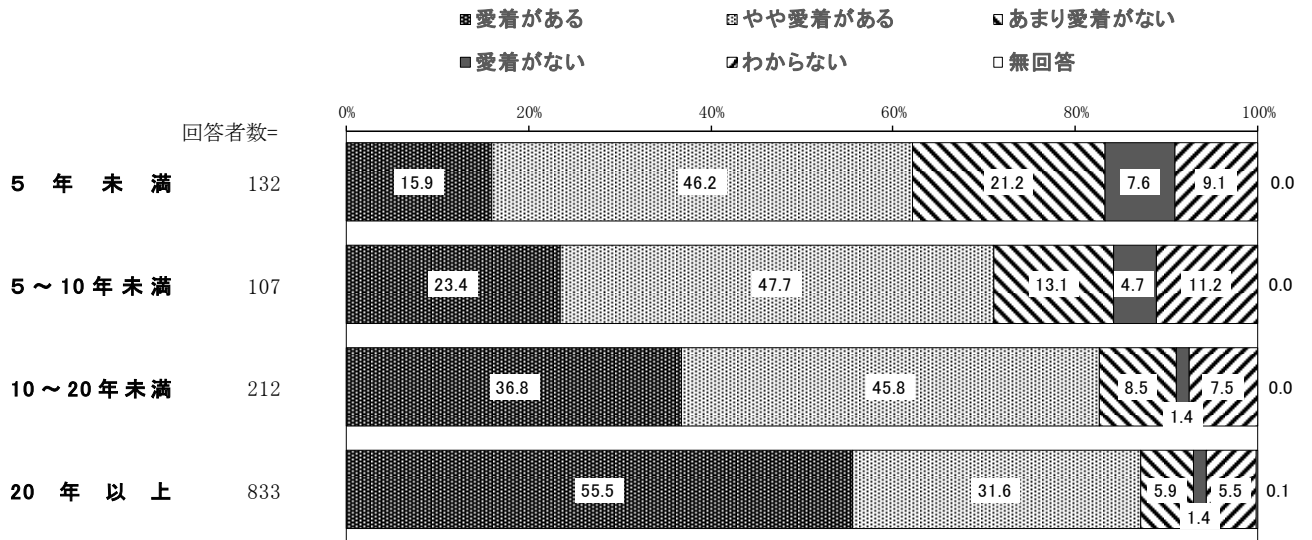
【年齢別】

年齢別でみると、40 歳以上に比べ、39 歳以下で“愛着がない”の割合が高くなっています。



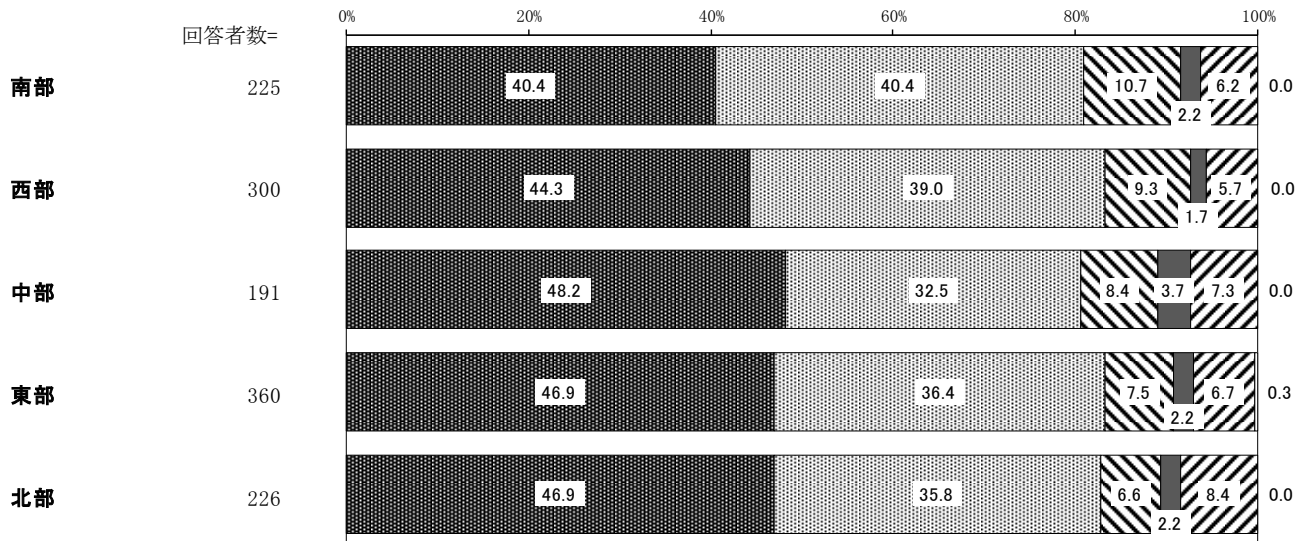
### 【居住年数別】

居住年数別でみると、居住年数が長くなるにつれ“愛着がある”の割合が高くなっています。



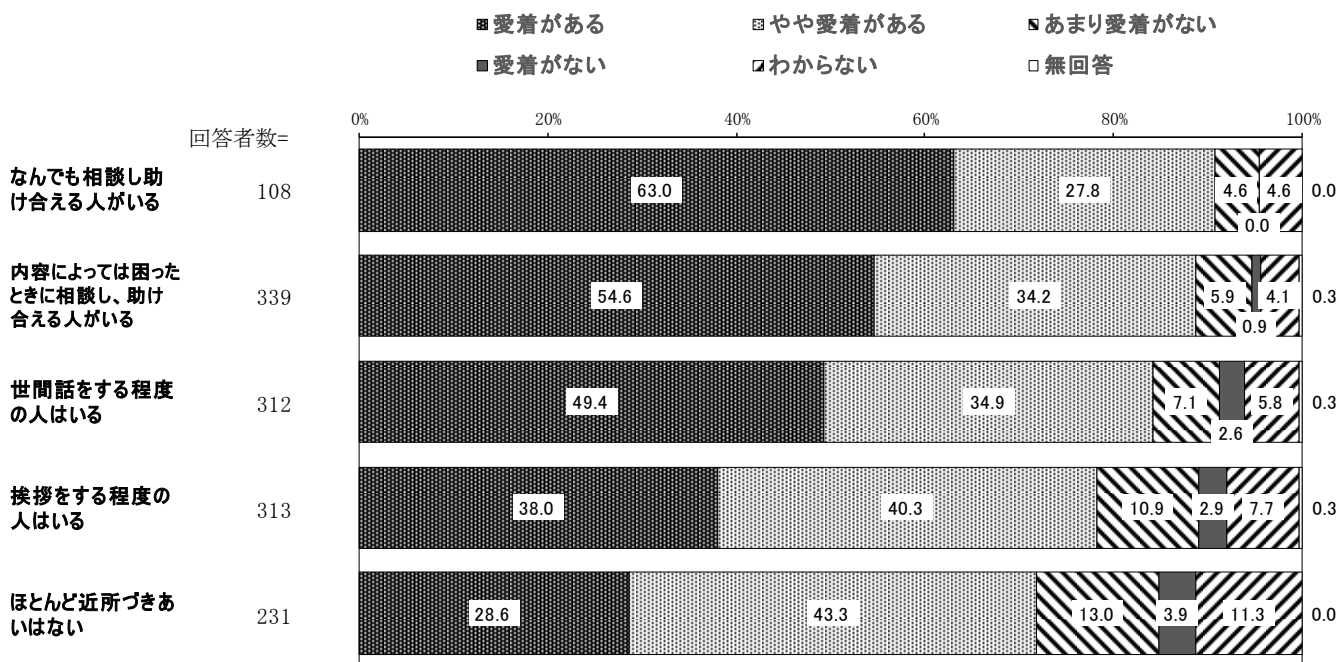
### 【行政ブロック別】

行政ブロック別でみると、大きな差異はみられません。



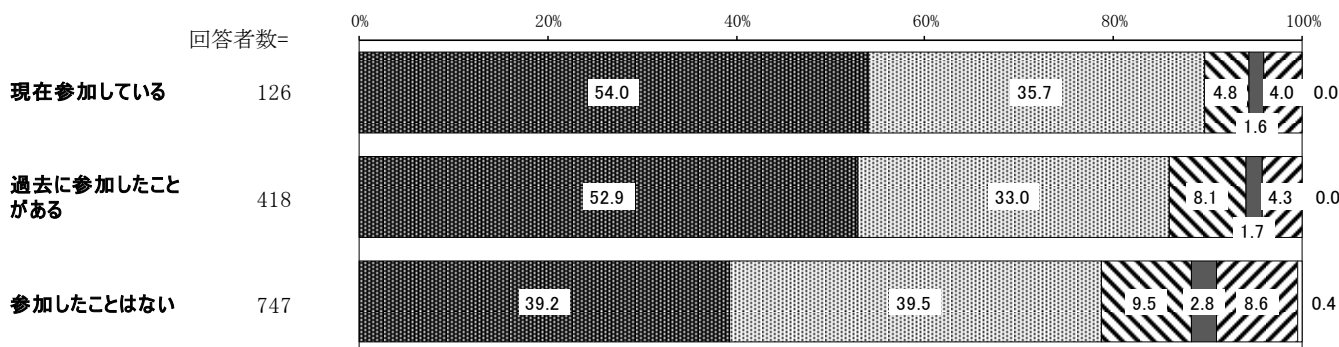
### 【近所付き合いの程度別】

近所付き合いの程度別でみると、他に比べ、何かで困ったときには、なんでも相談し助け合える人がいる、なんでも相談し助け合えるとまではいかないが、内容によっては困ったときに相談し、助け合える人がいる、助け合いや相談事はしないが、世間話をする程度の人はいらるで“愛着がある”の割合が高くなっています。また、ほとんど近所づきあいはないで“愛着がない”の割合が高くなっています。



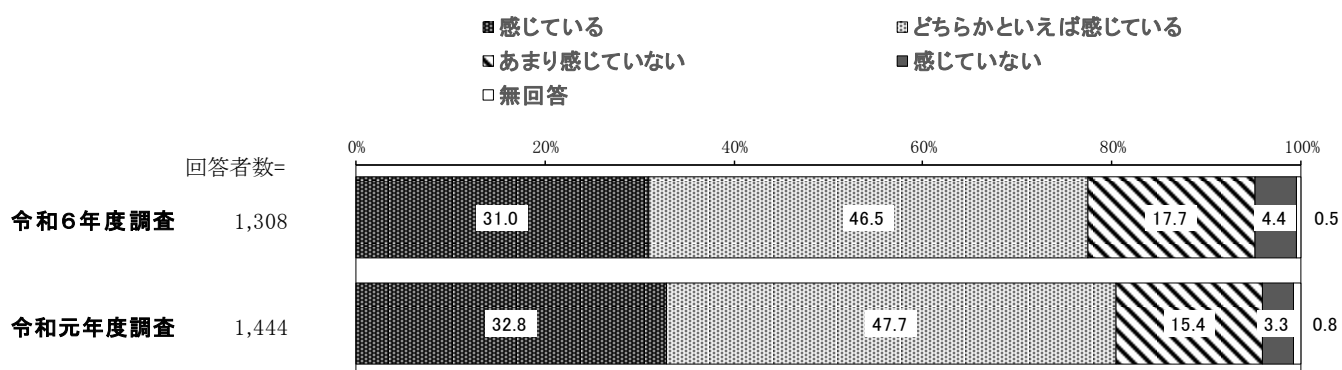
### 【ボランティア活動への参加別】

ボランティア活動への参加別でみると、参加したことはない人に比べ、現在参加している人、過去に参加したことがある人で“愛着がある”の割合が高くなっています。



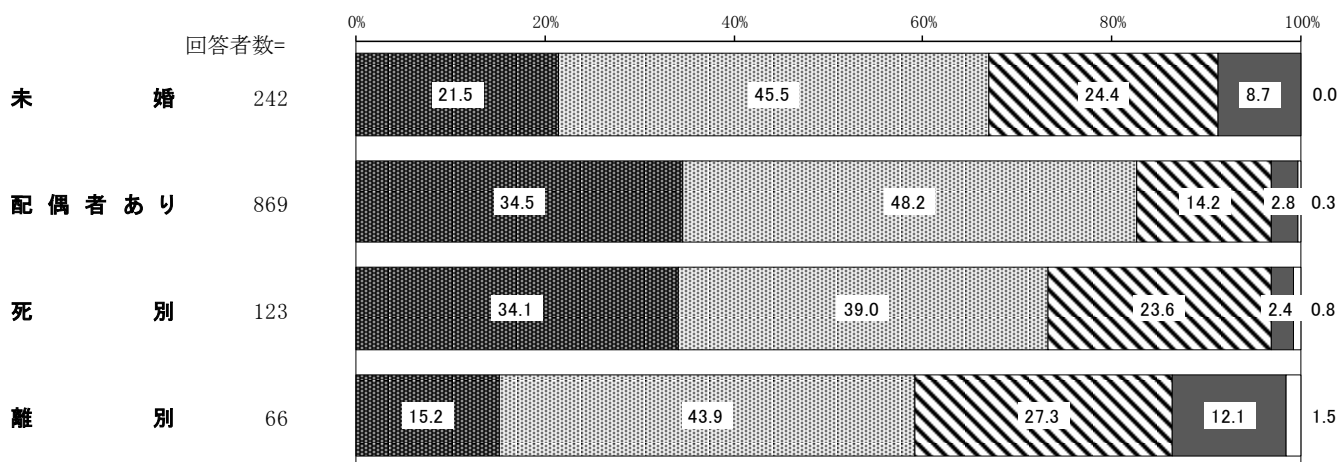
問10. あなたは、生きがいを持ち楽しく生きていると感じていますか。(〇は1つだけ)

「感じている」と「どちらかといえば感じている」をあわせた“感じている”の割合が77.5%、「あまり感じていない」と「感じていない」をあわせた“感じていない”の割合が22.1%となっています。



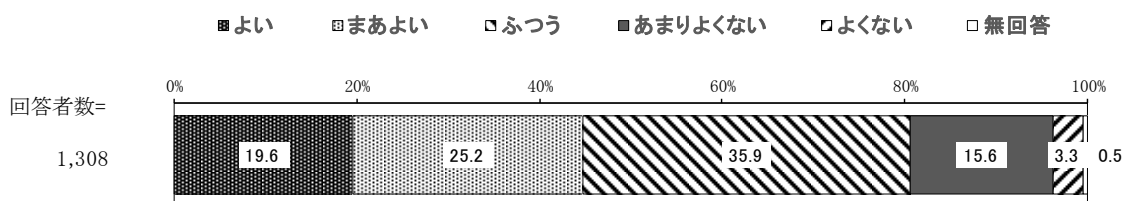
【婚姻状況別】

婚姻状況別で見ると、未婚と離別に比べ、配偶者あり、死別で「感じている」割合が高くなっています。



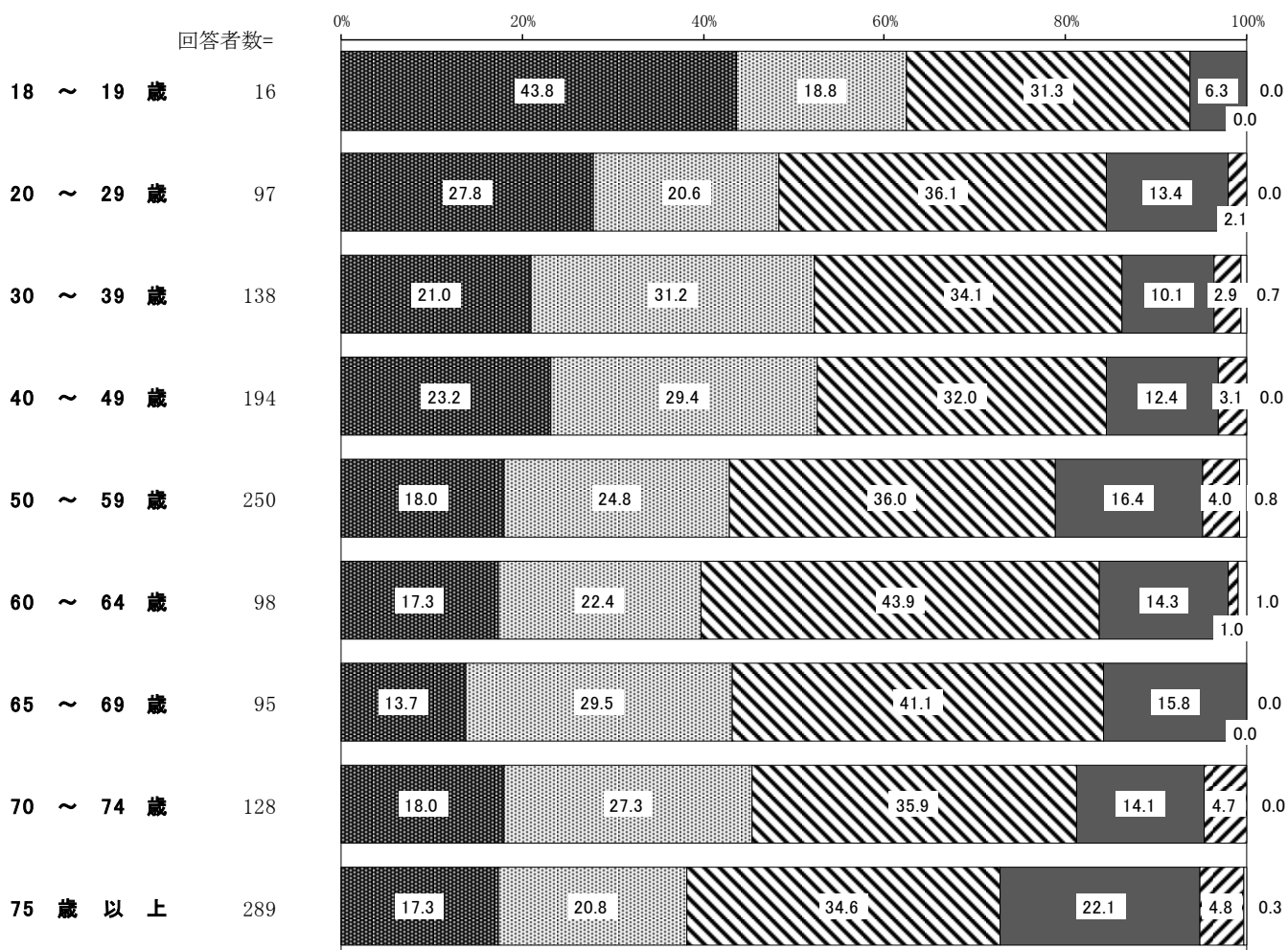
問 1 1. あなたの現在の心身の健康状態をお答えください。（○は1つだけ）

「よい」と「まあよい」をあわせた“よい”の割合が 44.8%、「あまりよくない」と「よくない」をあわせた“よくない”の割合が 18.9%となっています。



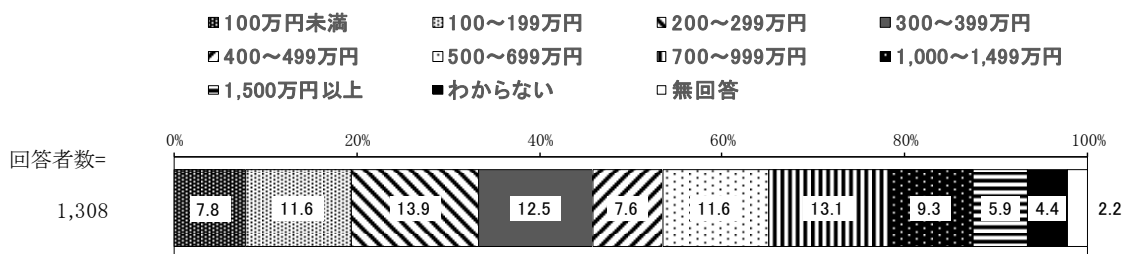
【年齢別】

年齢別でみると、50～59歳と75歳以上で“よくない”の割合が特に高くなっています。



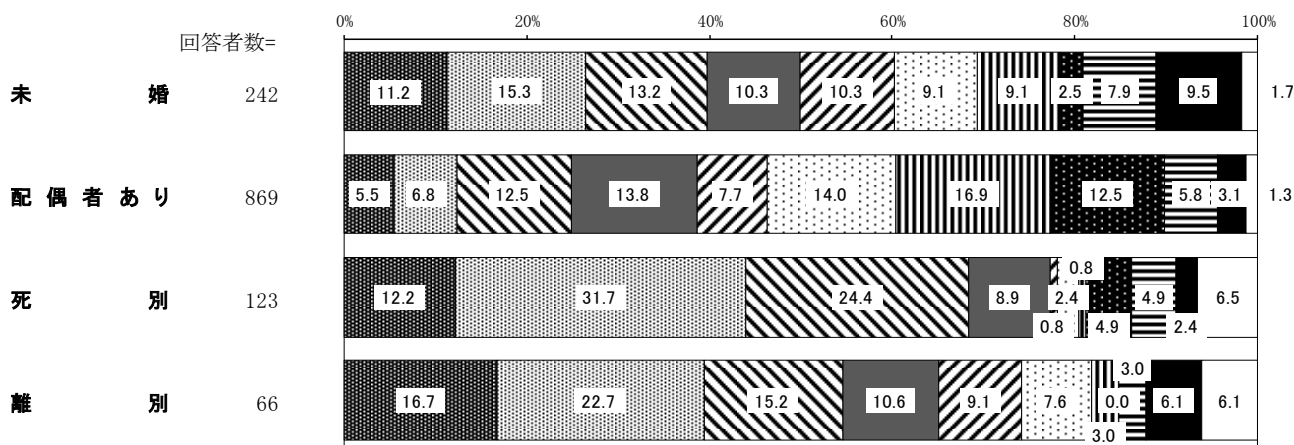
問12. あなたの世帯の2023年における年間収入（税・社会保険料込み）をお答えください。自営業の場合には、営業利益（税込み）をお答えください。なお、年金は収入に含みます。（〇は1つだけ）

世帯収入は「200～299万円」の割合が13.9%で最も高く、次いで「700～999万円」が13.1%が続いています。



【婚姻状況別】

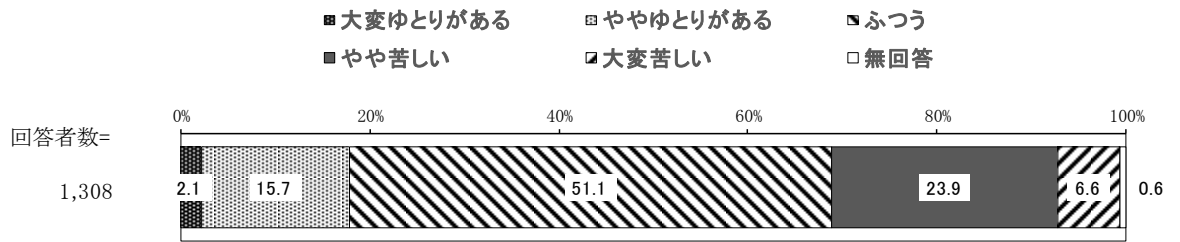
婚姻状況別でみると、配偶者ありでは「700～999万円」が16.9%で最も高く、次いで「500～699万円」が14.0%となっています。一方、未婚、死別、離別では「100～199万円」が最も高くなっています。





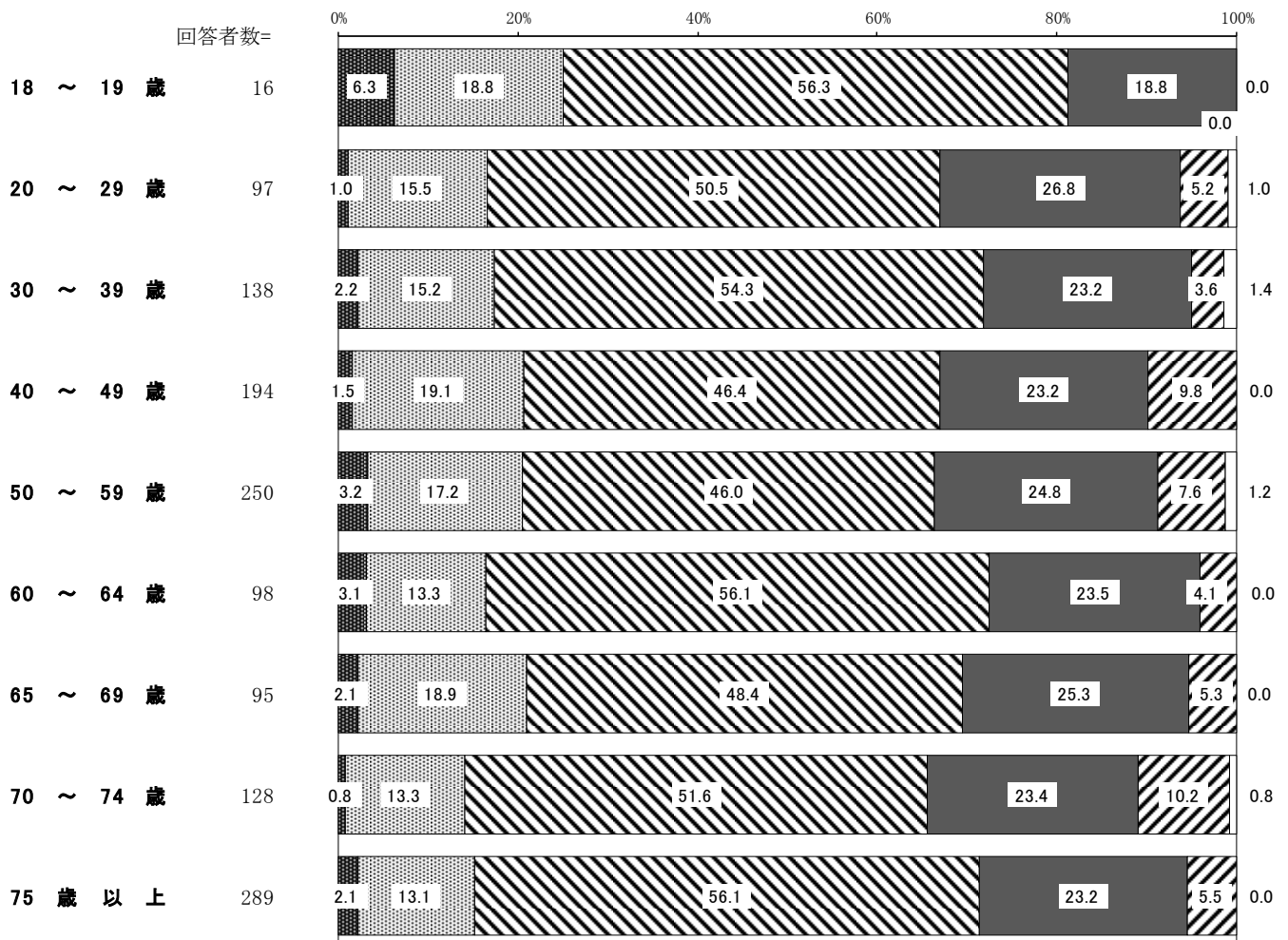
問13. あなたの世帯の現在の経済的な暮らし向きは、いかがですか。（○は1つだけ）

「大変ゆとりがある」「ややゆとりがある」を合わせた“ゆとりがある”の割合が17.8%、「やや苦しい」「大変苦しい」を合わせた“苦しい”の割合が30.5%となっている。



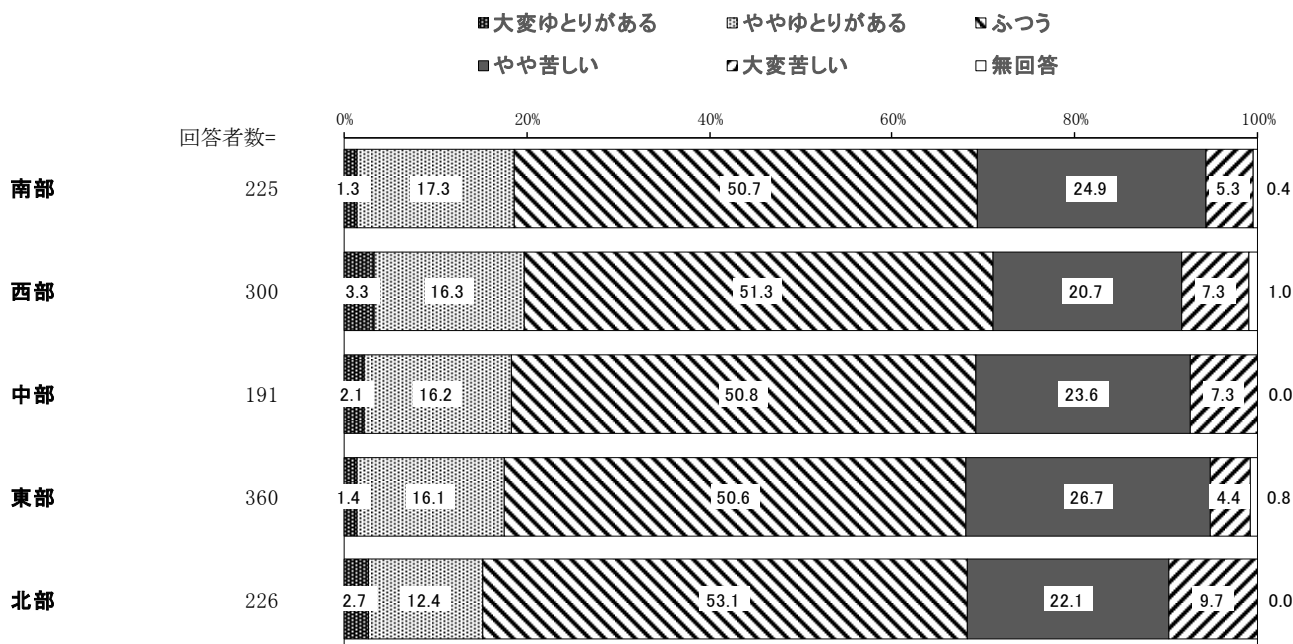
【年齢別】

年齢別でみると、18～19歳以外で大きな差異はみられません。



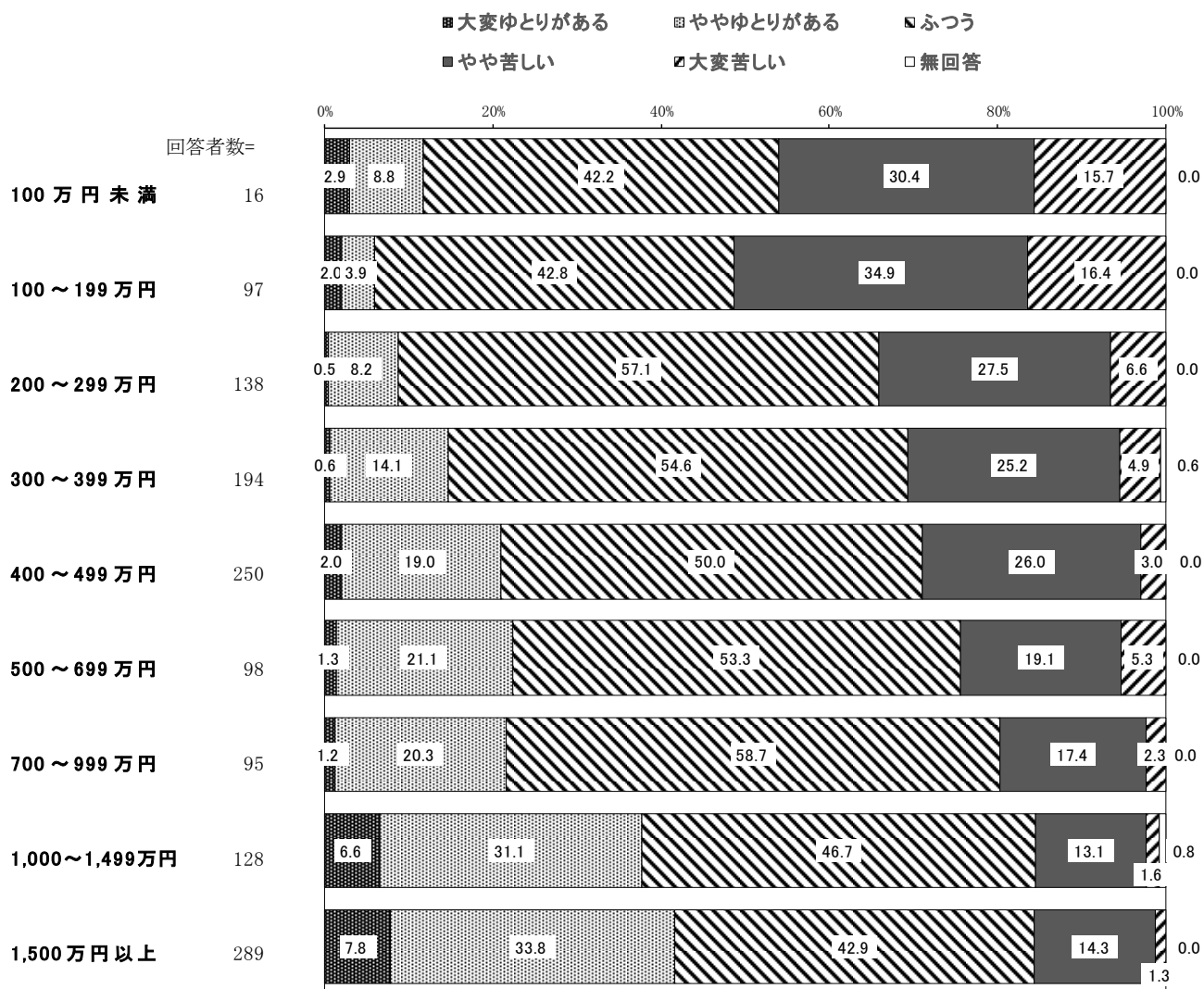
### 【行政ブロック別】

行政ブロック別でみると、大きな差異はみられません。



## 【世帯収入別】

世帯収入が高くなるにつれ“ゆとりがある”の割合が高くなる傾向がみられます。



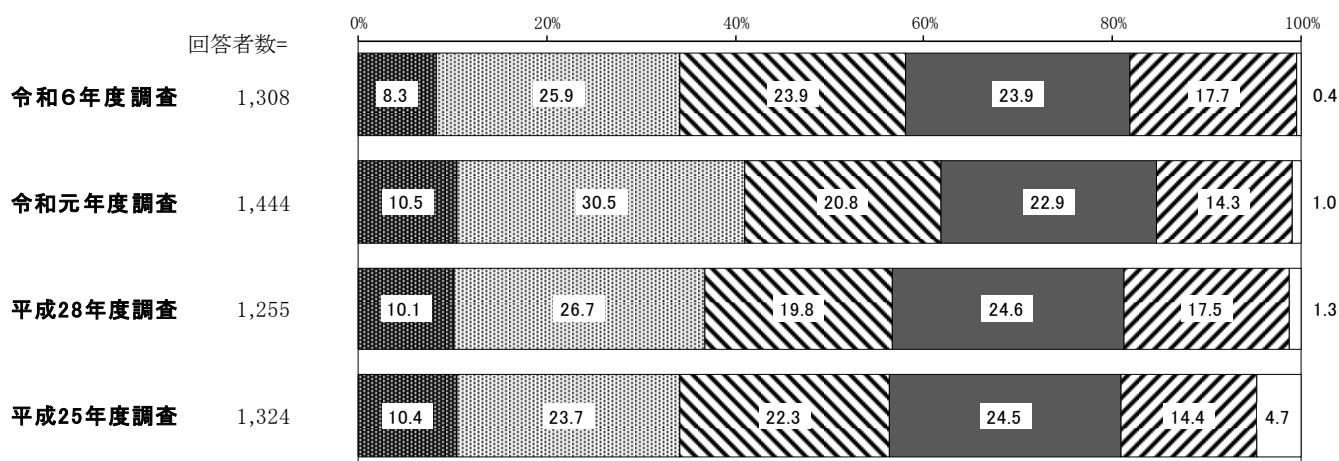
## (2) 地域との関わり合い

問14. 隣近所（歩いて行ける程度の範囲）にどの程度のおつきあいの人がいますか。  
（○は1つだけ）

「なんでも相談し助け合えるとまではいかないが、内容によっては困ったときに相談し、助け合える人がいる」の割合が 25.9%と最も高く、次いで「助け合いや相談事はしないが、世間話をする程度の人はいらる」と「世間話などはしないが、挨拶をする程度の人はいらる」との割合が同数の 23.9%となっています。

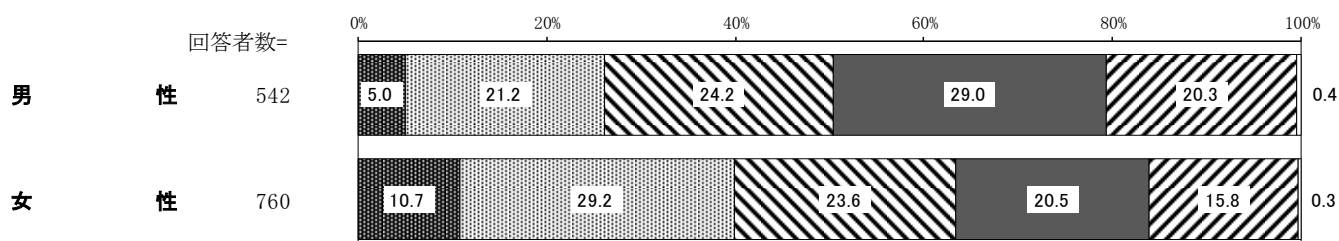
過去の調査と比較すると、令和元年度調査から「何かで困ったときには、なんでも相談し助け合える人がいる」「なんでも相談し助け合えるとまではいかないが、内容によっては困ったときに相談し、助け合える人がいる」の割合が減少しています。

- 何かで困ったときには、なんでも相談し助け合える人がいる
- なんでも相談し助け合えるとまではいかないが、内容によっては困ったときに相談し、助け合える人がいる
- 助け合いや相談事はしないが、世間話をする程度の人はいらる
- 世間話などはしないが、挨拶をする程度の人はいらる
- ほとんど近所づきあいはない
- 無回答



### 【性別】

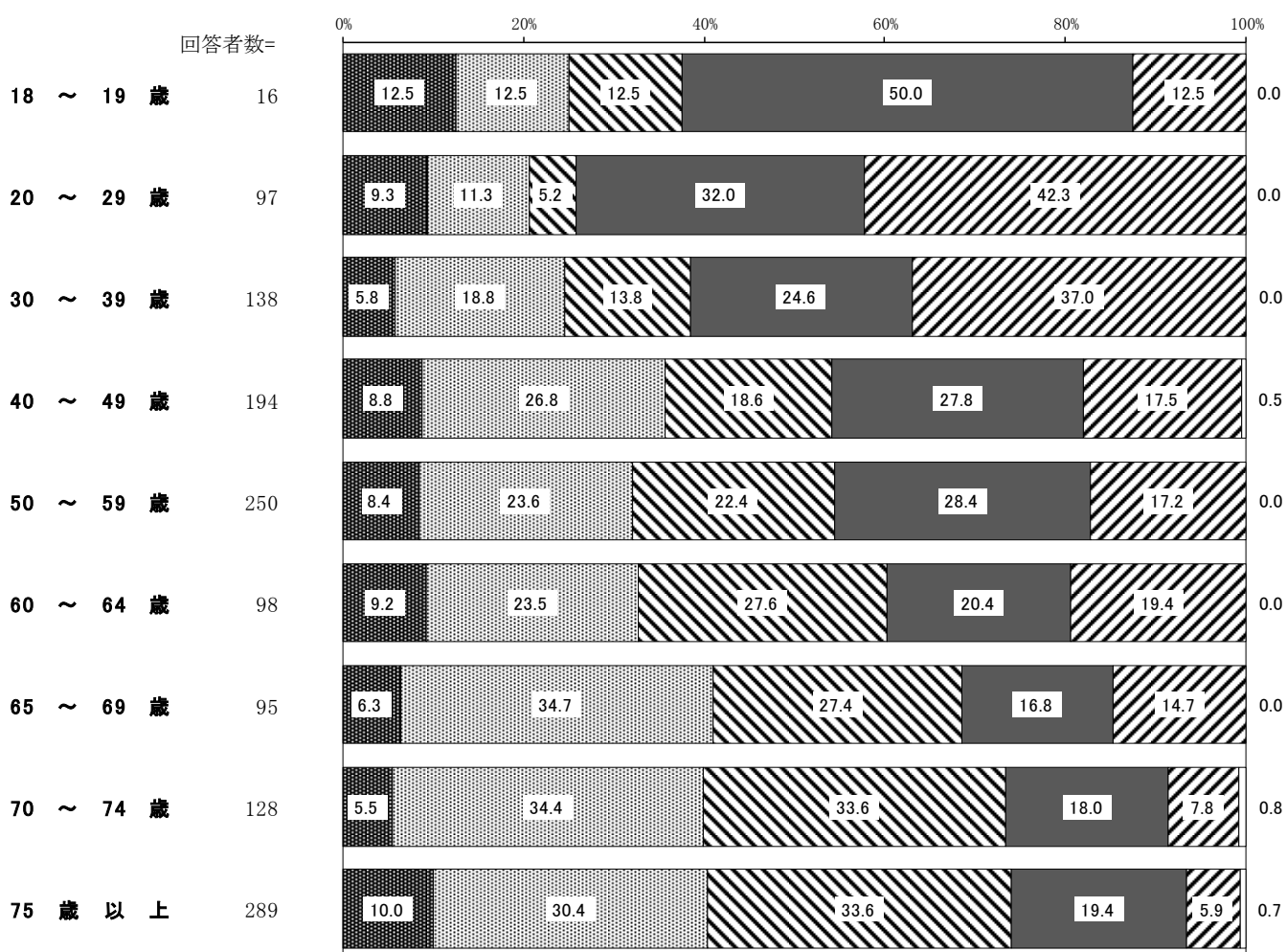
性別でみると、女性に比べ、男性で「世間話などはしないが、挨拶をする程度の人はいらる」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「何かで困ったときには、なんでも相談し助け合える人がいる」「なんでも相談し助け合えるとまではいかないが、内容によっては困ったときに相談し、助け合える人がいる」の割合が高くなっています。



## 【年齢別】

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれ「何かで困ったときには、なんでも相談し助け合える人がある」「助け合いや相談事はしないが、世間話をする程度の人はある」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他に比べ、18～19歳、20～29歳、30～39歳で「世間話などはしないが、挨拶をする程度の人はある」「ほとんど近所づきあいはない」の割合が高くなっています。

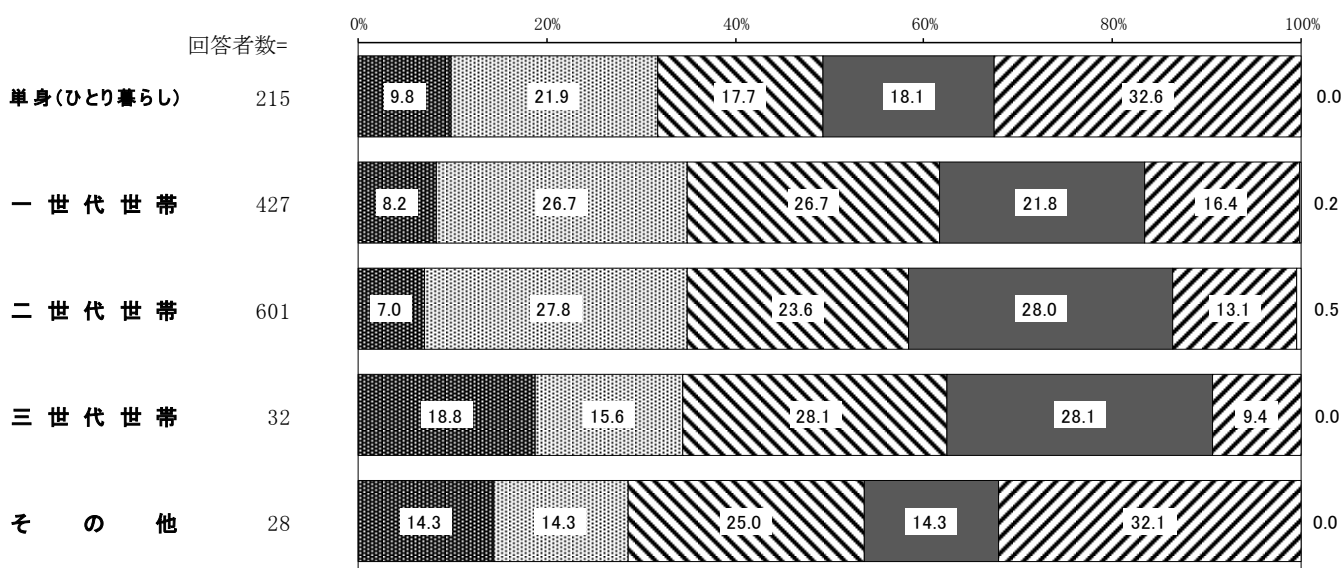
- 何かで困ったときには、なんでも相談し助け合える人がある
- ▣なんでも相談し助け合えるとまではいかないが、内容によっては困ったときに相談し、助け合える人がある
- ▨助け合いや相談事はしないが、世間話をする程度の人はある
- 世間話などはしないが、挨拶をする程度の人はある
- ▨ほとんど近所づきあいはない
- 無回答



### 【世帯状況別】

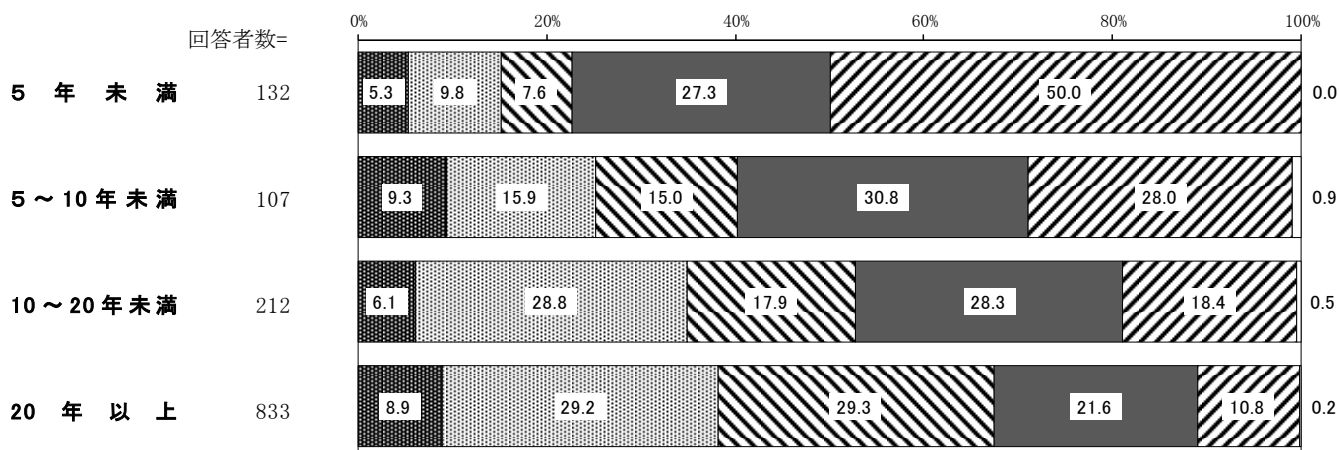
世帯状況別でみると、他に比べ、単身（ひとり暮らし）、一世代世帯、二世帯世帯で「なんでも相談し助け合えるとまではいかないが、内容によっては困ったときに相談し、助け合える人がいる」の割合が高くなっています。また、三世帯世帯で「何かで困ったときには、なんでも相談し助け合える人がいる」の割合が、単身（ひとり暮らし）で「ほとんど近所づきあいはない」の割合が高くなっています。

- 何かで困ったときには、なんでも相談し助け合える人がいる
- なんでも相談し助け合えるとまではいかないが、内容によっては困ったときに相談し、助け合える人がいる
- 助け合いや相談事はしないが、世間話をする程度の人はいる
- 世間話などはしないが、挨拶をする程度の人はいる
- ほとんど近所づきあいはない
- 無回答



### 【居住年数別】

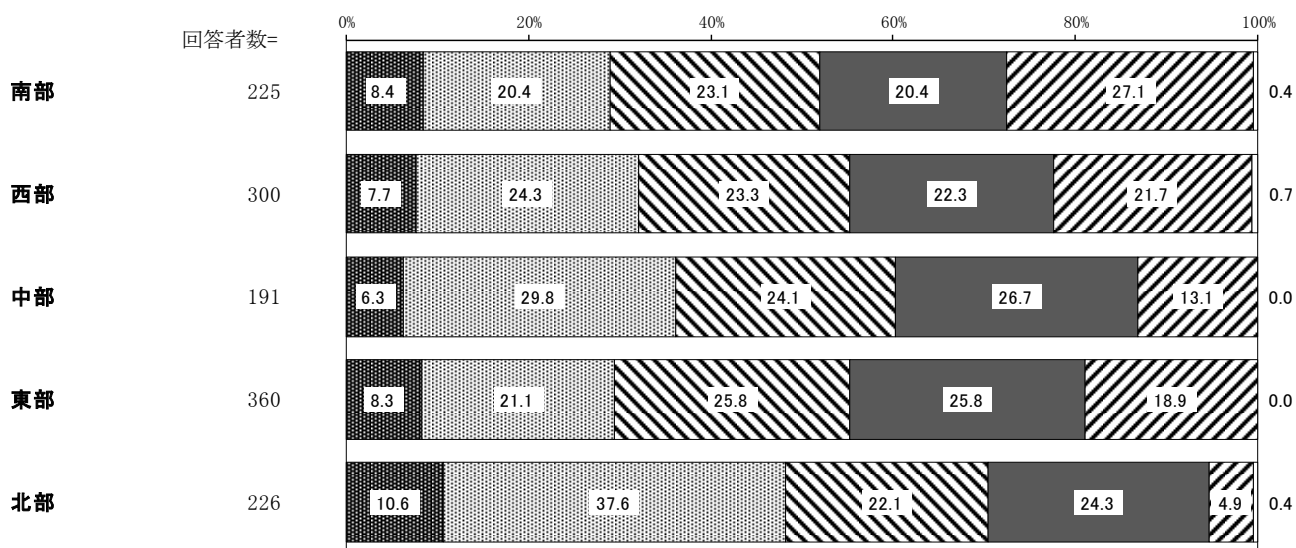
居住年数別でみると、居住年数が長くなるにつれ「なんでも相談し助け合えるとまではいかないが、内容によっては困ったときに相談し、助け合える人がいる」「助け合いや相談事はしないが、世間話をする程度の人はいる」の割合が高くなる傾向がみられます。



### 【行政ブロック別】

行政ブロック別でみると、他に比べ、中部、北部で「なんでも相談し助け合えるとまではいかないが、内容によっては困ったときに相談し、助け合える人がいる」の割合が高くなっています。

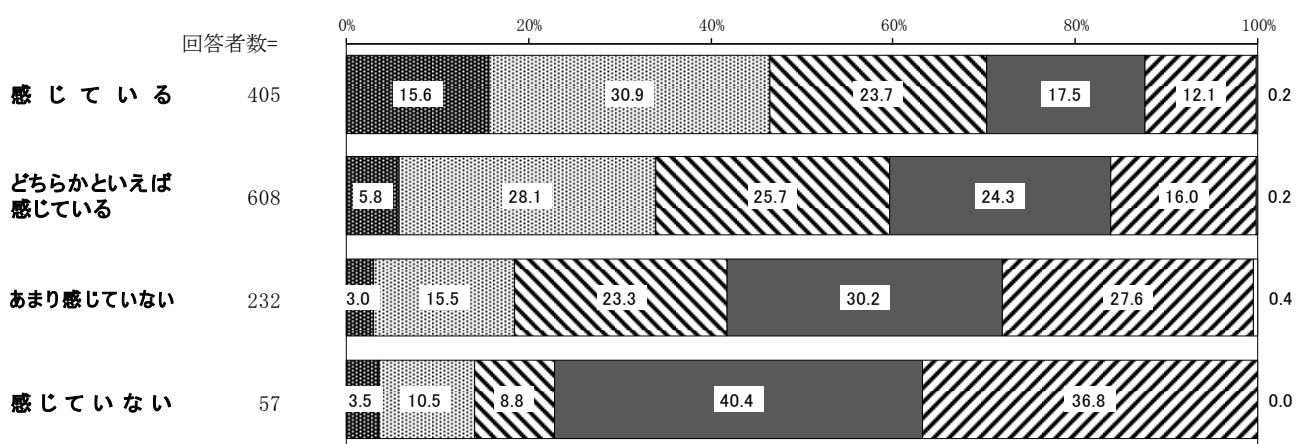
- 何かで困ったときには、なんでも相談し助け合える人がいる
- ▨ なんでも相談し助け合えるとまではいかないが、内容によっては困ったときに相談し、助け合える人がいる
- ▧ 助け合いや相談事はしないが、世間話をする程度の人はいらる
- 世間話などはしないが、挨拶をする程度の人はいらる
- ほとんど近所づきあいはない
- 無回答



### 【生きがいの感じ方別】

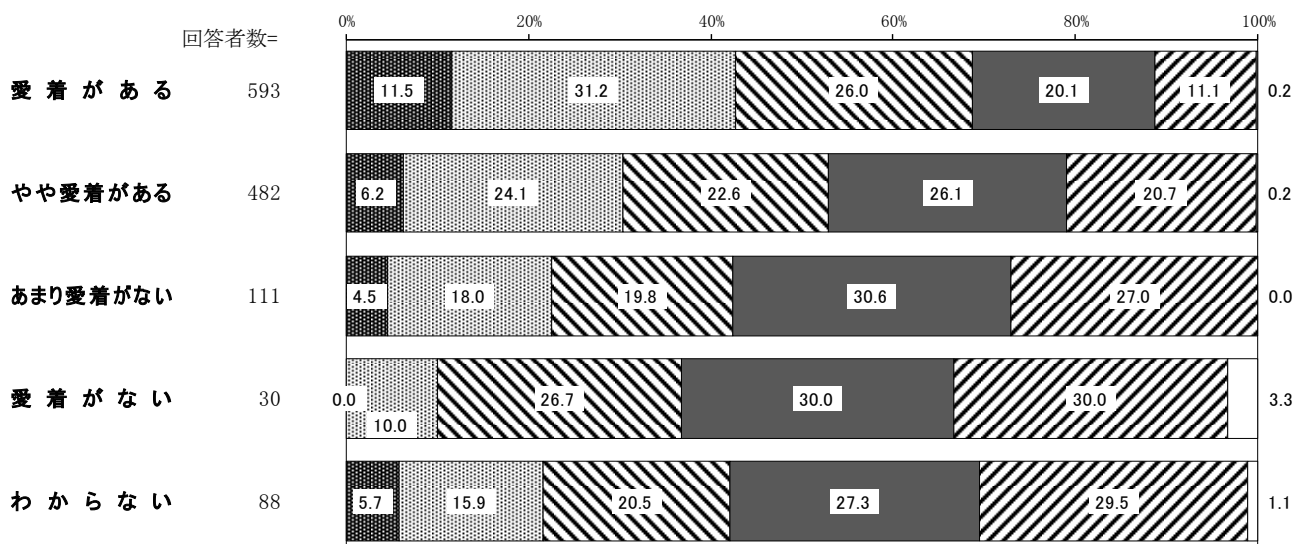
生きがいの感じ方別でみると、他に比べ、生きがいを感じている人ほど「何かで困ったときには、なんでも相談し助け合える人がいる」「なんでも相談し助け合えるとまではいかないが、内容によっては困ったときに相談し、助け合える人がいる」の割合が高く、「ほとんど近所づきあいはない」の割合が低くなる傾向がみられます。

- 何かで困ったときには、なんでも相談し助け合える人がいる
- ▨なんでも相談し助け合えるとまではいかないが、内容によっては困ったときに相談し、助け合える人がいる
- ▩助け合いや相談事はしないが、世間話をする程度の人はいる
- 世間話などはしないが、挨拶をする程度の人はいる
- ほとんど近所づきあいはない
- 無回答



### 【市への愛着度別】

市への愛着度別でみると、他に比べ、愛着度が強くなるにつれ「何かで困ったときには、なんでも相談し助け合える人がいる」「なんでも相談し助け合えるとまではいかないが、内容によっては困ったときに相談し、助け合える人がいる」「助け合いや相談事はしないが、世間話をする程度の人はいる」の割合が高く、愛着度が弱くなるにつれ「世間話などはしないが、挨拶をする程度の人はいる」「ほとんど近所づきあいはない」の割合が高くなる傾向がみられます。



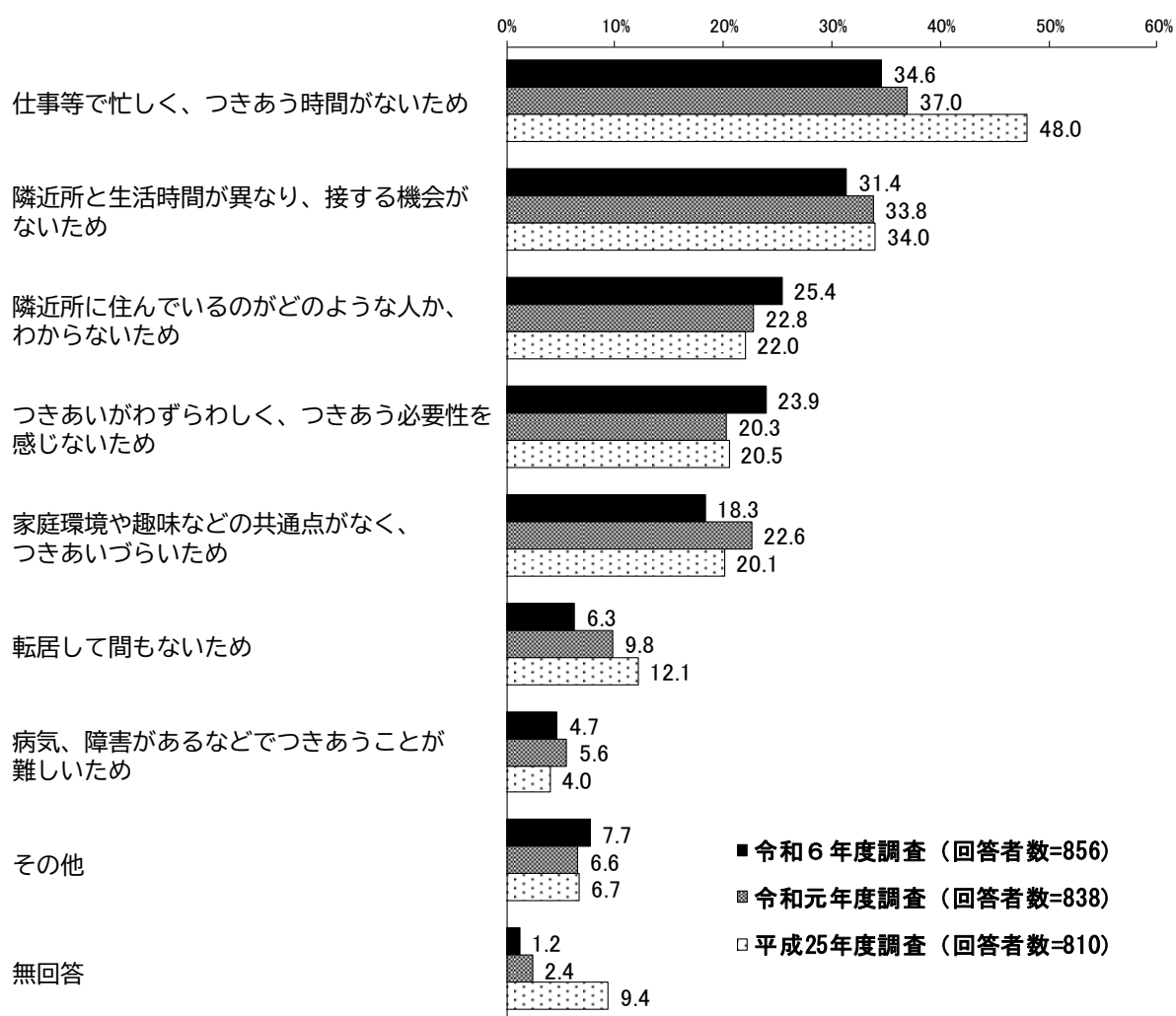


問14. で「助け合いや相談事はしないが、世間話をする程度の人はある」「世間話などはしないが、挨拶をする程度の人はある」「ほとんど近所づきあいはない」のいずれかにお答えの方に伺います

問14-1. 近所づきあいがあまりないのはなぜですか。(あてはまるものすべてに○)

「仕事等で忙しく、つきあう時間がないため」の割合が 34.6%と最も高く、次いで「隣近所と生活時間が異なり、接する機会がないため」の割合が 31.4%、「隣近所に住んでいるのがどのような人か、わからないため」の割合が 25.4%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「隣近所に住んでいるのがどのような人か、わからないため」「つきあいがわずらわしく、付き合う必要性を感じないため」の割合が高くなっています。



### 【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「隣近所と生活時間が異なり、接する機会がないため」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	仕事等で忙しく、つきあう時間がないため	隣近所と生活時間が異なり、接する機会がないため	隣近所に住んでいるのがどのような人か、わからないため	つきあいがわずらわしく、つきあう必要性を感じないため	家庭環境や趣味などの共通点がなく、つきあいがづらいため	転居して間もないため	病気、障害があるなどでつきあうことが難しいため	その他	無回答
男性	398	34.2	26.9	27.1	26.4	20.1	5.8	5.0	6.8	1.3
女性	455	34.9	35.6	24.0	21.8	16.9	6.8	4.2	8.6	1.1

### 【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、20～29歳、30～39歳、40～49歳、50～59歳、60～64歳で「仕事等で忙しく、つきあう時間がないため」の割合が高くなっています。また、18～19歳、70～74歳、75歳以上で「隣近所と生活時間が異なり、接する機会がないため」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	仕事等で忙しく、つきあう時間がないため	隣近所と生活時間が異なり、接する機会がないため	隣近所に住んでいるのがどのような人か、わからないため	つきあいがわずらわしく、つきあう必要性を感じないため	家庭環境や趣味などの共通点がなく、つきあいがづらいため	転居して間もないため	病気、障害があるなどでつきあうことが難しいため	その他	無回答
18～19歳	12	41.7	58.3	16.7	25.0	8.3	-	-	16.7	-
20～29歳	77	44.2	36.4	32.5	23.4	11.7	13.0	-	9.1	-
30～39歳	104	40.4	30.8	34.6	28.8	27.9	10.6	4.8	7.7	-
40～49歳	124	51.6	25.0	26.6	24.2	17.7	7.3	1.6	2.4	-
50～59歳	170	47.6	37.6	26.5	24.1	17.1	4.1	3.5	3.5	-
60～64歳	66	45.5	33.3	21.2	21.2	19.7	4.5	3.0	9.1	-
65～69歳	56	19.6	21.4	30.4	25.0	21.4	5.4	5.4	7.1	-
70～74歳	76	17.1	38.2	23.7	17.1	14.5	7.9	6.6	9.2	3.9
75歳以上	170	9.4	25.9	15.9	24.1	18.2	2.9	10.0	13.5	4.1

### 【行政ブロック別】

行政ブロック別で見ると、他に比べ、東部で「隣近所と生活時間が異なり、接する機会がないため」の割合が高くなっています。また、西部、北部で「仕事等で忙しく、つきあう時間がないため」の割合が高くなっています。

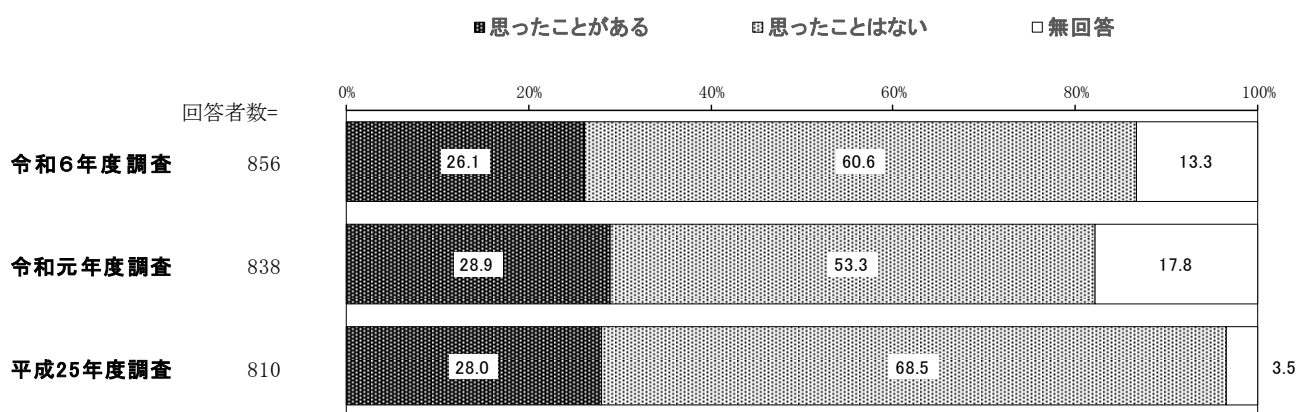
単位：%

区分	回答者数 (件)	仕事等で忙しく、つきあう時間がないため	隣近所と生活時間が異なり、接する機会がないため	隣近所に住んでいるのがどのような人か、わからないため	つきあいがわずらわしく、つきあう必要性を感じないため	家庭環境や趣味などの共通点がなく、つきあいが難しいため	転居して間もないため	病気、障害があるなどでつきあうことが難しいため	その他	無回答
南部	159	34.6	32.7	33.3	23.9	18.2	5.0	3.8	6.3	-
西部	202	36.6	28.7	30.2	28.7	20.8	5.4	4.0	7.4	1.0
中部	122	29.5	27.9	23.0	24.6	13.9	8.2	8.2	7.4	1.6
東部	254	35.4	38.2	24.4	22.0	18.1	6.7	4.3	8.7	1.2
北部	116	33.6	24.1	11.2	19.0	19.0	6.9	4.3	7.8	2.6

問14. で「助け合いや相談事はしないが、世間話をする程度の人はいる」「世間話などはしないが、挨拶をする程度の人はいる」「ほとんど近所づきあいはない」のいずれかにお答えの方に伺います

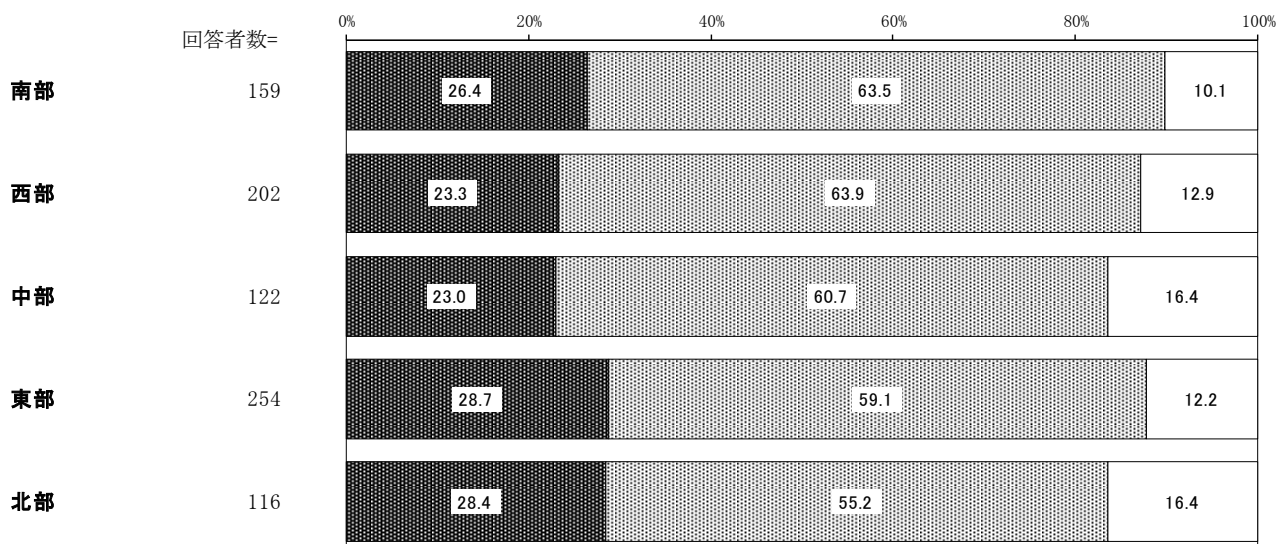
問14-2. これまでに、何か困ったときに、隣近所に助け合える人がいればよかったと思ったことはありますか。(〇は1つだけ)

「思ったことがある」の割合が26.1%、「思ったことはない」の割合が60.6%となっています。令和元年度調査と比較すると、「思ったことはない」の割合が増加しています。



### 【行政ブロック別】

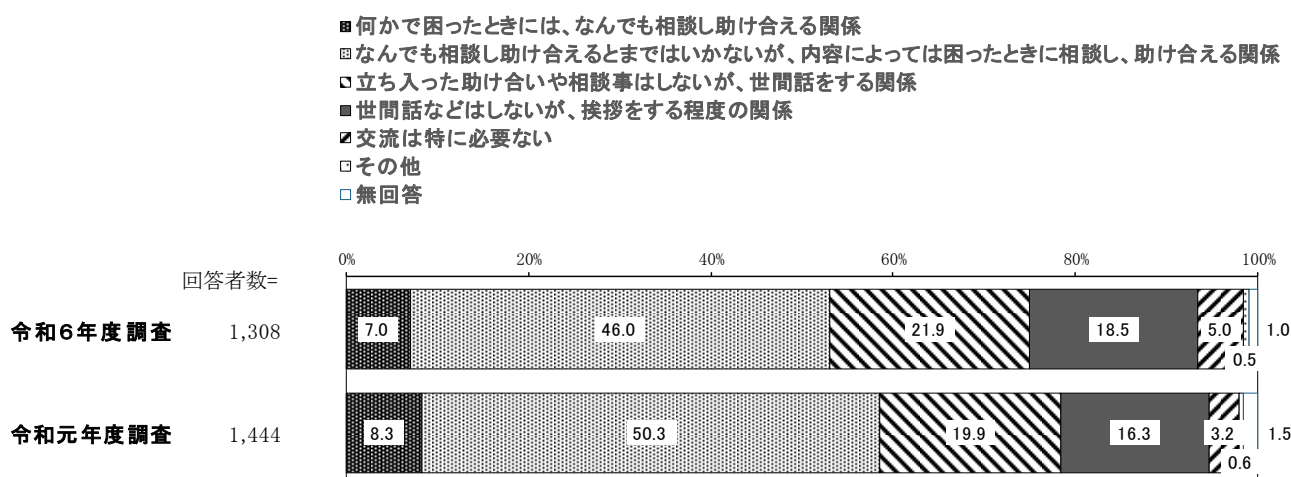
行政ブロック別で見ると、他に比べ、東部と北部で「思ったことがある」の割合が高くなっています。



問15. あなたにとって、隣近所の人との理想の付き合い方はどれですか。（○は1つだけ）

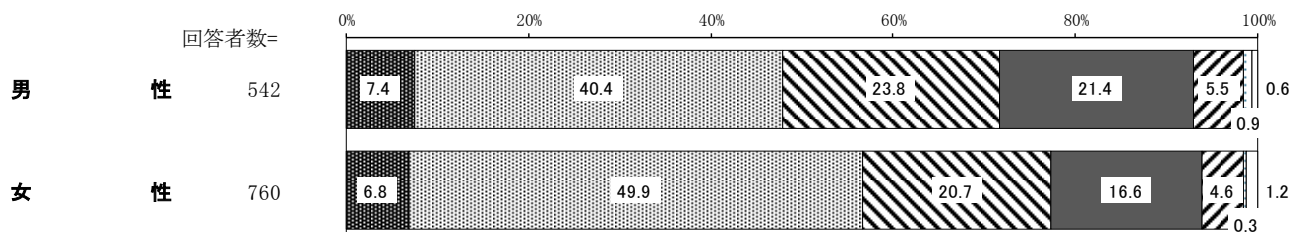
「なんでも相談し助け合えるとまではいかないが、内容によっては困ったときに相談し、助け合える関係」の割合が46.0%と最も高く、次いで「立ち入った助け合いや相談事はしないが、世間話をする関係」の割合が21.9%、「世間話などはしないが、挨拶をする程度の関係」の割合が18.5%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「立ち入った助け合いや相談事はしないが、世間話をする関係」の割合が高くなっています。



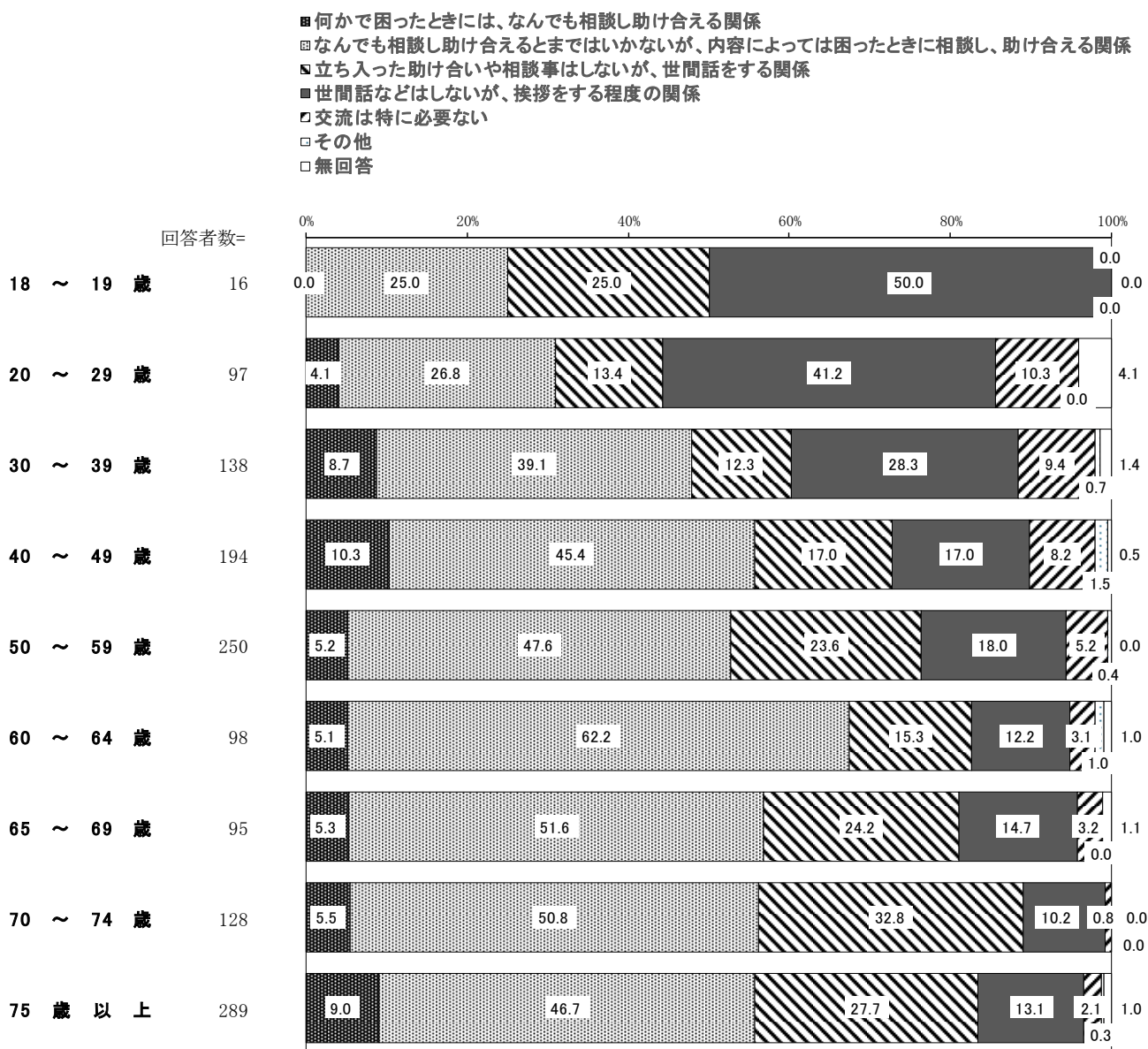
【性別】

性別で見ると、男性に比べ、女性で「なんでも相談し助け合えるとまではいかないが、内容によっては困ったときに相談し、助け合える関係」の割合が高くなっています。



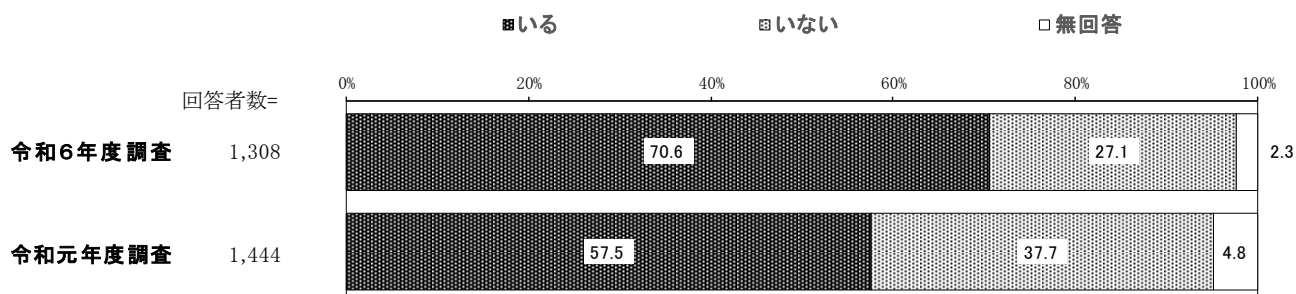
## 【年齢別】

年齢別で見ると、他に比べ、60～64 歳、65～69 歳、70～74歳で「なんでも相談し助け合えるとまではいかないが、内容によっては困ったときに相談し、助け合える関係」の割合が高くなっています。また、18～19 歳、20～29 歳で「世間話などはしないが、挨拶をする程度関係」の割合が、70～74 歳、75 歳以上で「立ち入った助け合いや相談事はしないが、世間話をする関係」の割合が高くなっています。



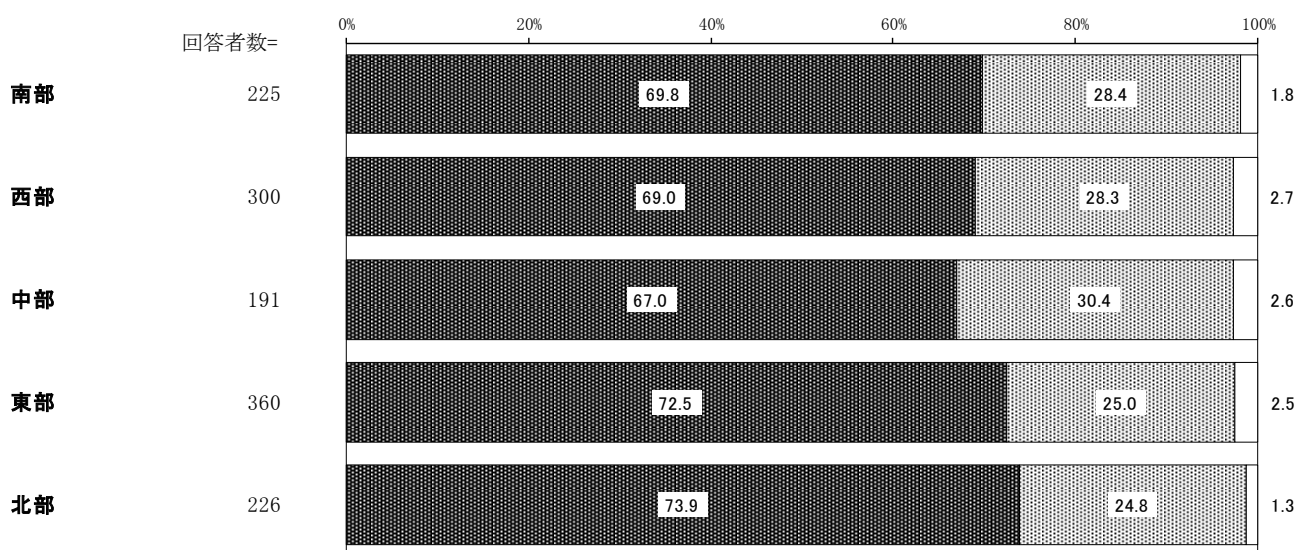
問16. あなたの住んでいる地域には、高齢者や障害のある方、子育てをしている方など、手助けを必要としている方がいると思いますか。（○は1つだけ）

「いる」の割合が70.6%、「いない」の割合が27.1%となっています。令和元年度調査と比較すると「いる」の割合が増加しています。



【行政ブロック別】

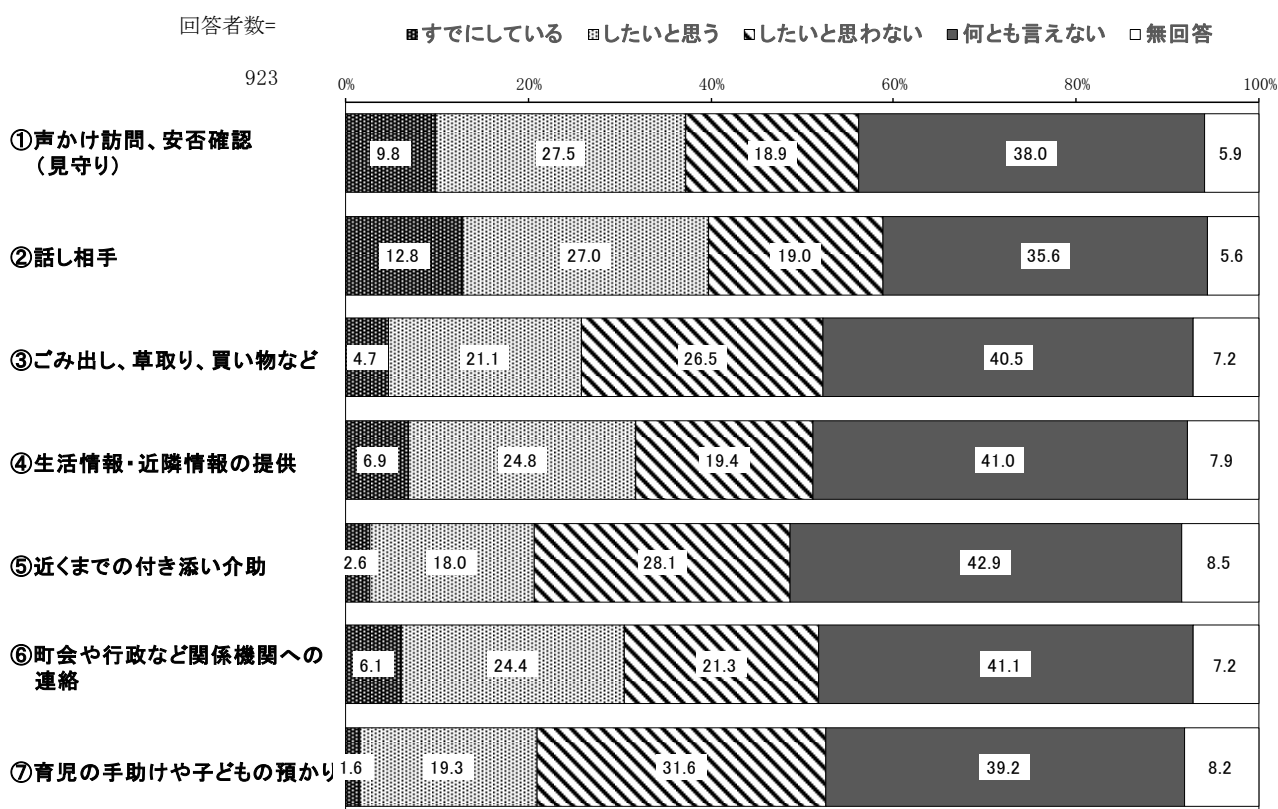
行政ブロック別でみると、他に比べ、東部と北部で「いる」の割合が高くなっています。



問16. で「いる」とお答えの方に伺います

問16-1. 地域で手助けを必要としている方に対して、あなたがしているまたはしたいと思う手助けや支援についてお聞きします。  
 (①~⑦それぞれあてはまるものに○)

①声かけ訪問、安否確認(見守り)、②話し相手で「している」と「したいと思う」をあわせた割合が高く、約4割となっています。また、③ごみ出し、草取り、買い物など、⑤近くまでの付き添い介助、⑦育児の手助けや子どもの預かりで「したいと思わない」の割合が高くなっています。



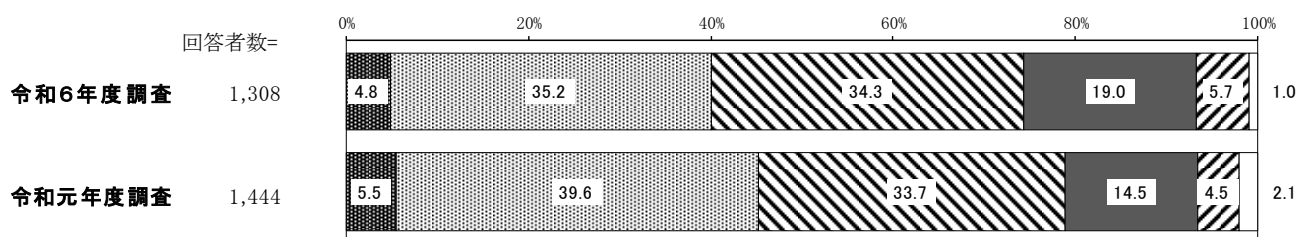


問17. あなたは、地域での支えあいや助け合いに関心をおもちですか。  
(〇は1つだけ)

「非常に関心がある」と「やや関心がある」をあわせた“関心がある”の割合が 40.0%、  
「どちらともいえない」の割合が 34.3%、「あまり関心がない」と「関心がない」をあわせた  
“関心がない”の割合が 24.7%となっています。

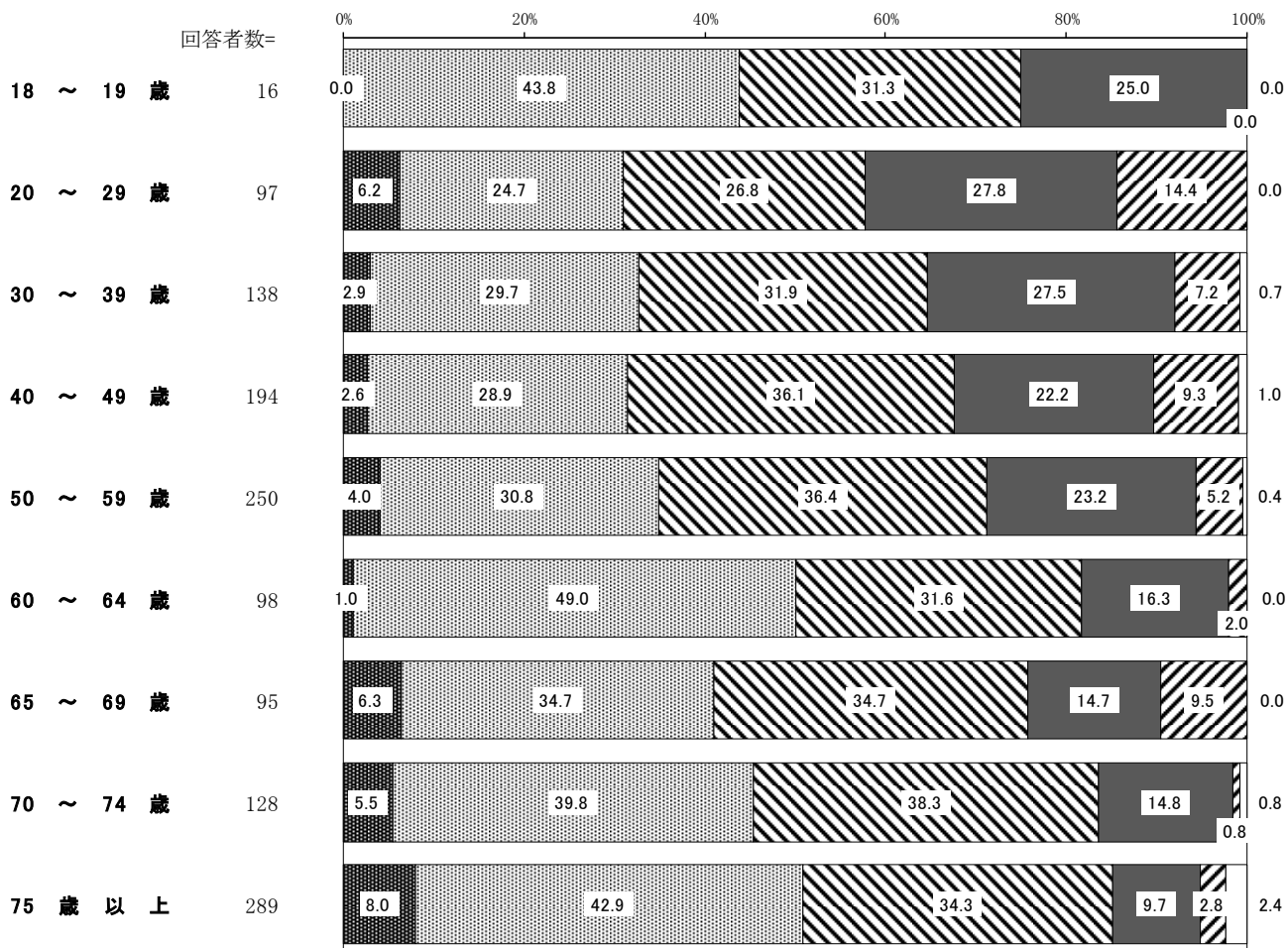
令和元年度調査と比較すると”関心がない“の割合が増加しています。

■非常に関心がある ■やや関心がある ■どちらともいえない ■あまり関心がない ■関心がない □無回答



【年齢別】

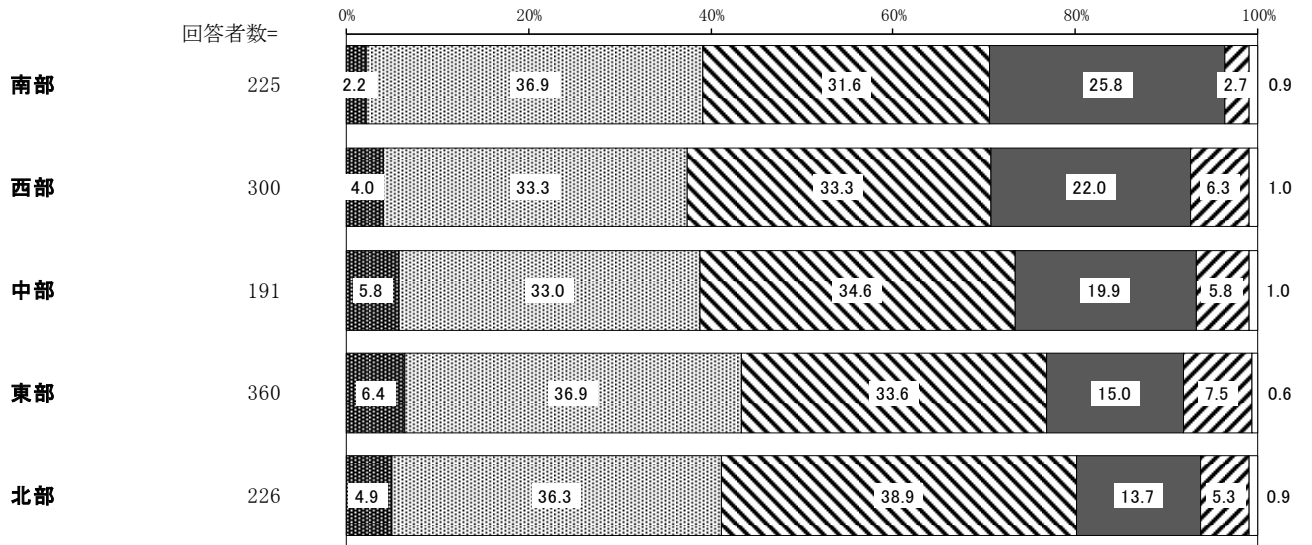
年齢別でみると、他に比べ、18～19歳、60～64歳、75歳以上で“関心がある”の割合が高くなっています。また20～29歳、30～39歳で“関心がない”の割合が高くなっています。



### 【行政ブロック別】

行政ブロック別でみると、東部、北部で“関心がある”の割合が高くなっています。

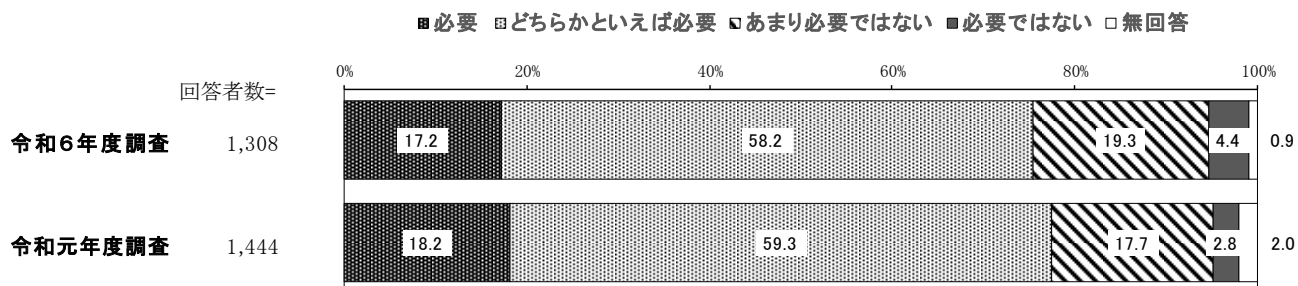
■ 非常に関心がある ■ やや関心がある □ どちらともいえない ■ あまり関心がない ■ 関心がない □ 無回答



問18. 身近な地域での助け合い活動が必要だと思いますか。(○は1つだけ)

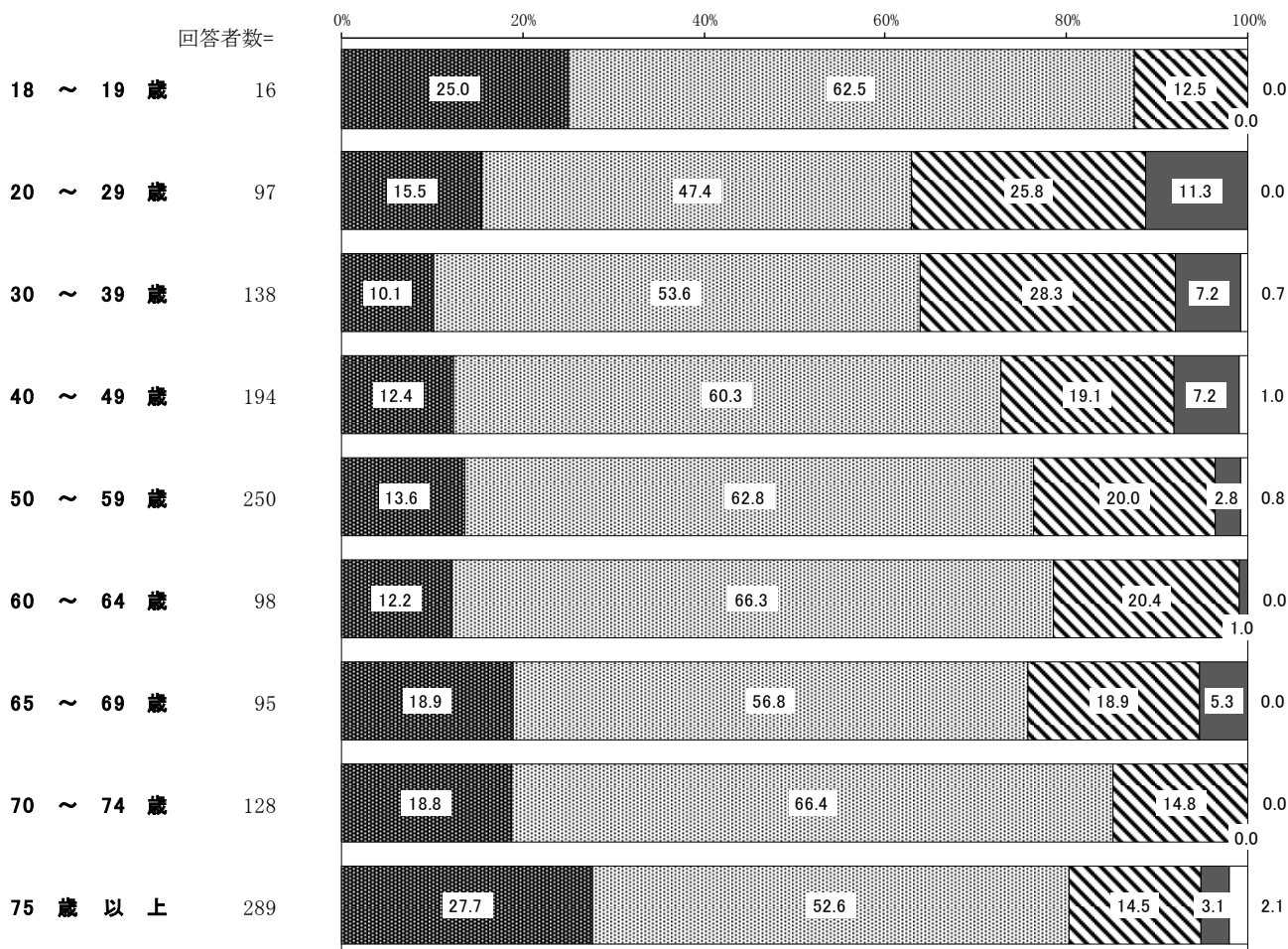
「必要」と「どちらかといえば必要」をあわせた“必要”の割合が75.4%、「あまり必要ではない」と「必要ではない」をあわせた“必要ではない”の割合が23.7%となっています。

令和元年度調査と比較すると”必要ではない“の割合が増加しています。



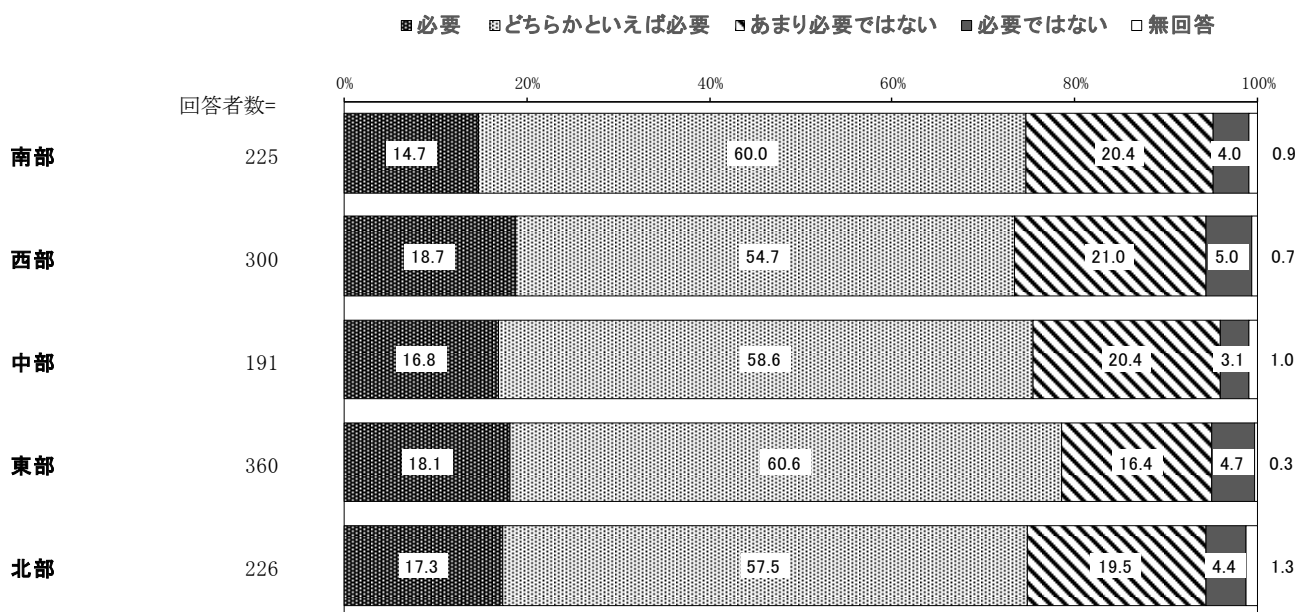
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、18～19歳、70～74歳で“必要”の割合が高くなっています。また、20～29歳、30～39歳で“必要ではない”の割合が高くなっています。



### 【行政ブロック別】

行政ブロック別でみると、他に比べ、東部で“必要”の割合が高くなっています。

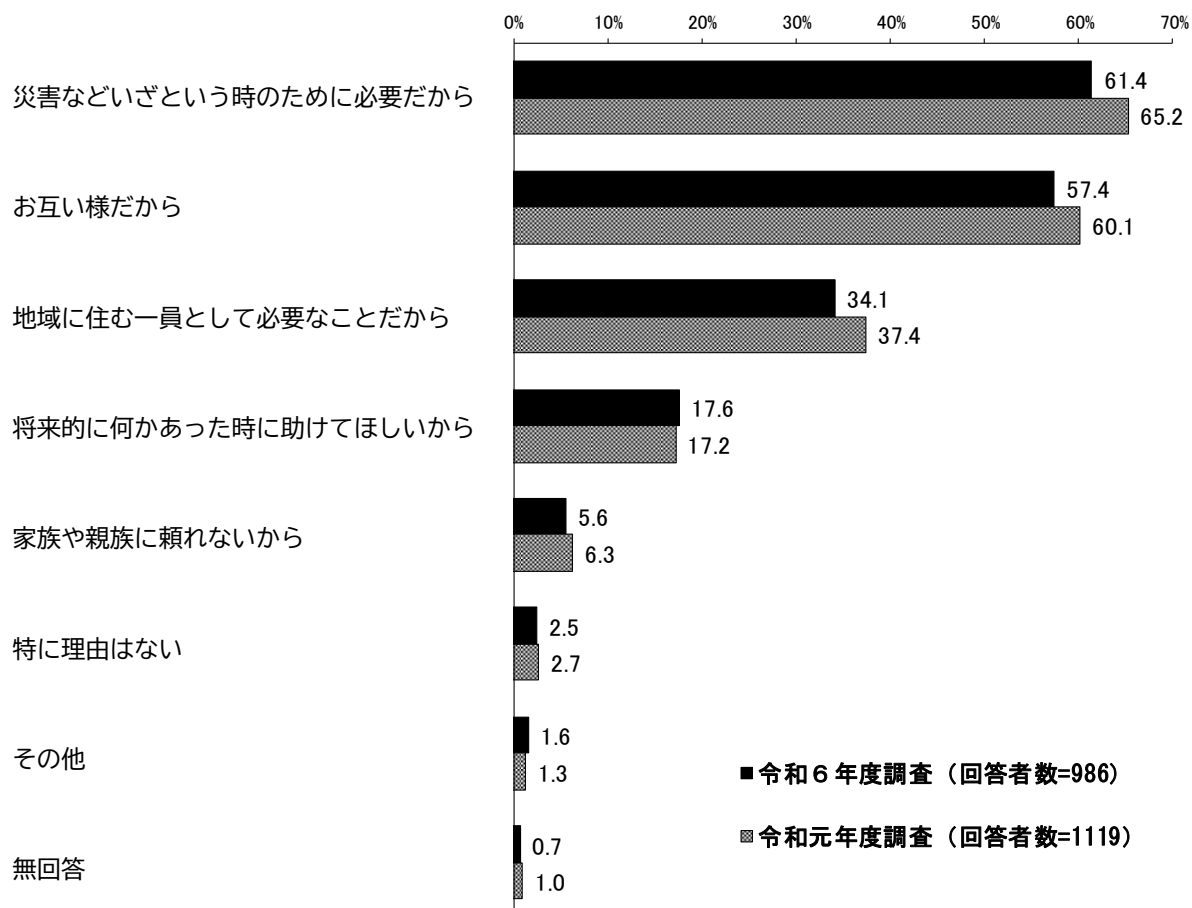


問18で「必要」「どちらかといえば必要」のいずれかにお答えの方に伺います

問18-1. それはなぜですか。(あてはまるものすべてに○)

「災害などいざという時のために必要だから」の割合が61.4%と最も高く、次いで「お互い様だから」の割合が57.4%、「地域に住む一員として必要なことだから」の割合が34.1%となっています。

令和元年度調査と比較すると「災害などいざという時のために必要だから」「お互い様だから」「地域に住む一員として必要なことだから」の割合が低くなっています。

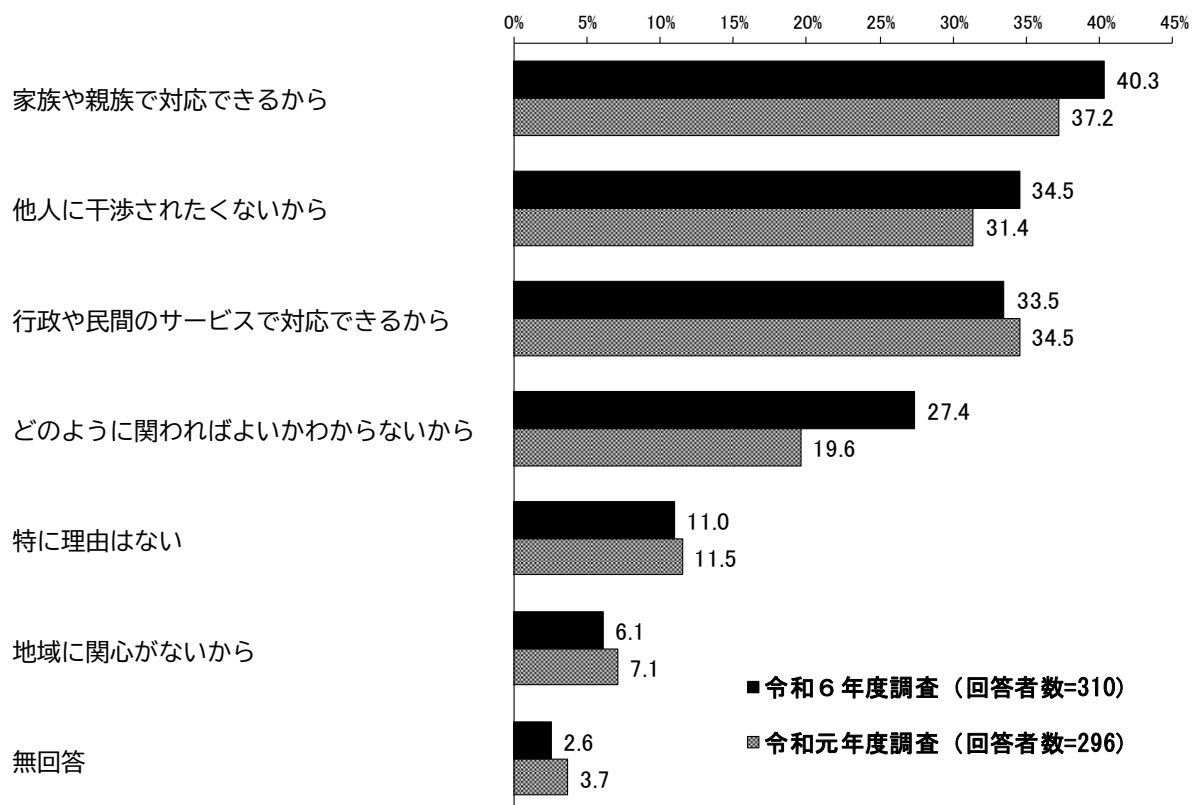


問18. で「あまり必要ではない」「必要ではない」のいずれかにお答えの方に伺います

問18-2. それはなぜですか。(あてはまるものすべてに○)

「家族や親族で対応できるから」の割合が40.3%と最も高く、次いで「他人に干渉されたくないから」の割合が34.5%、「行政や民間のサービスで対応できるから」の割合が33.5%となっています。

令和元年度調査と比較すると「家族や親族で対応できるから」、「他人に干渉されたくないから」の割合が増加しています。

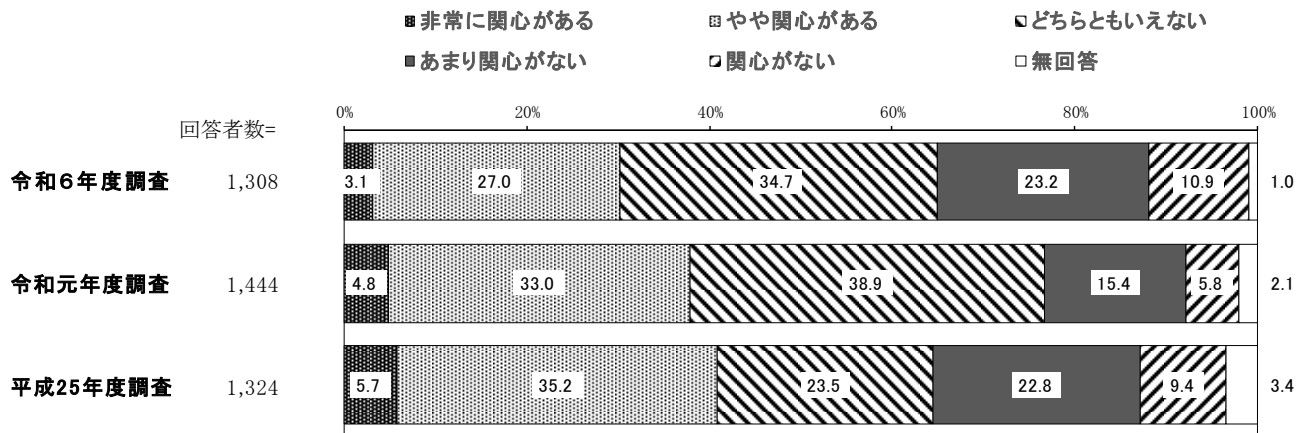


### (3) 地域での活動

問19. あなたは、地域での活動にどの程度関心がありますか。(○は1つだけ)

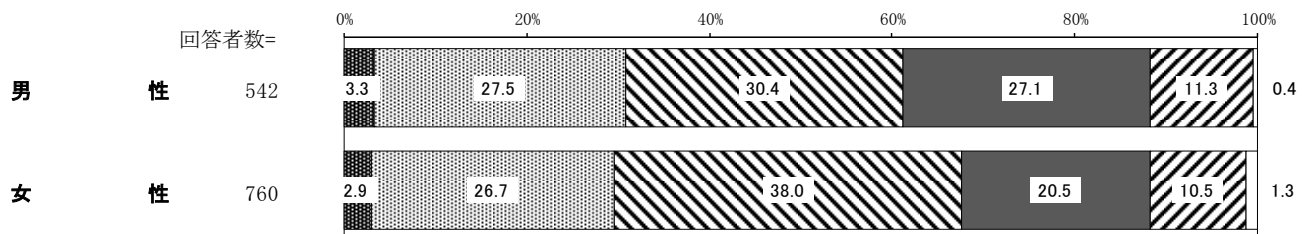
「非常に関心がある」と「やや関心がある」をあわせた“関心がある”の割合が 30.1%、「どちらともいえない」の割合が 34.7%、「あまり関心がない」と「関心がない」をあわせた“関心がない”の割合が 34.1%となっています。

過去の調査と比較すると、“関心がある”の割合が減少しています。



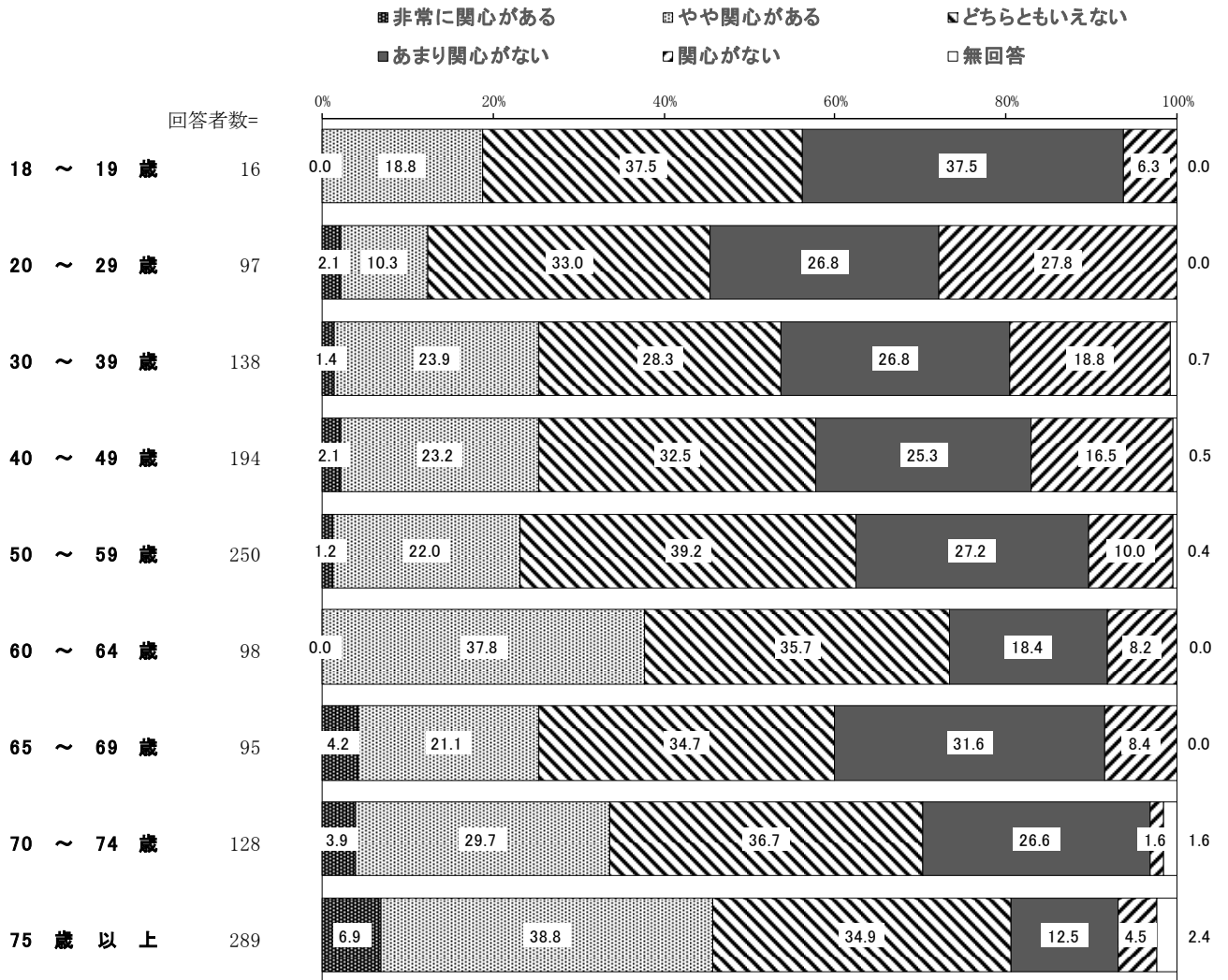
#### 【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「あまり関心がない」の割合が高くなっています。



【年齢別】

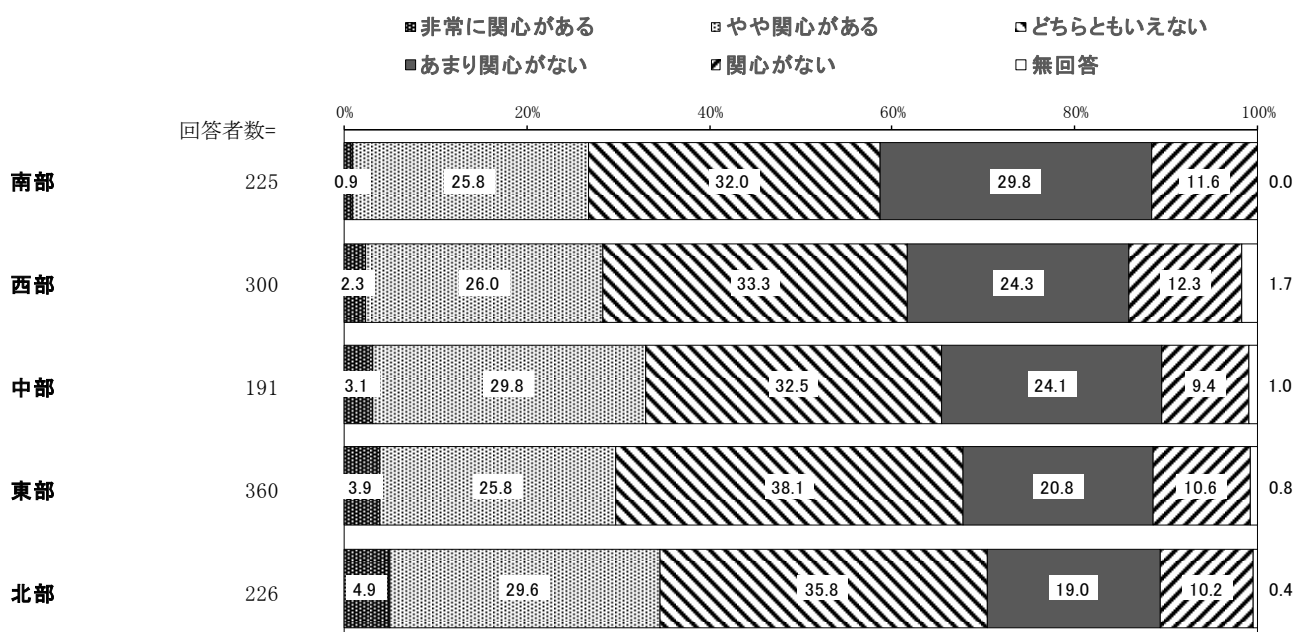
年齢別でみると、他に比べ、60～64歳、70～74歳、75歳以上で“関心がある”の割合が高くなっています。また、18～19歳、20～29歳、30～39歳で“関心がない”の割合が高くなっています。





### 【行政ブロック別】

行政ブロック別でみると、他に比べ、南部、西部で“関心がない”の割合が高くなっています。

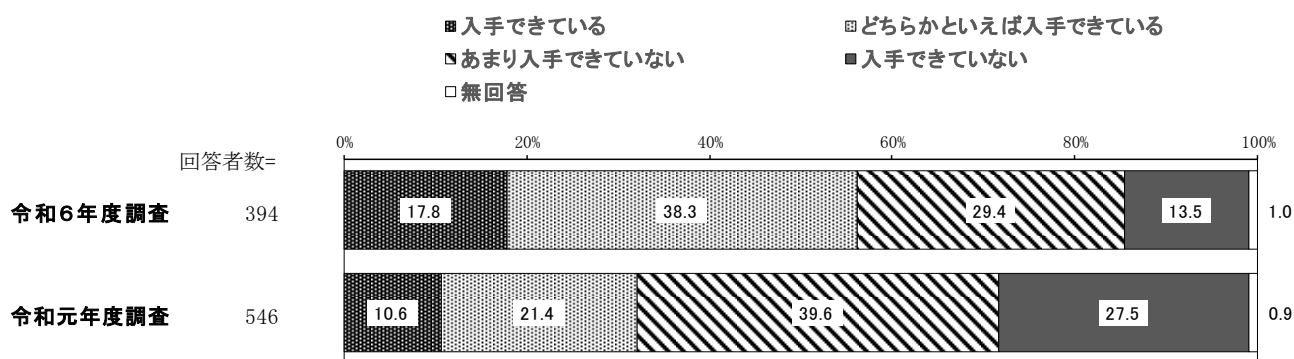


問19. で「非常に関心がある」「やや関心がある」のいずれかにお答えの方に伺います

問19-1. あなたは、地域での活動の情報を入手できていますか。（○は1つだけ）

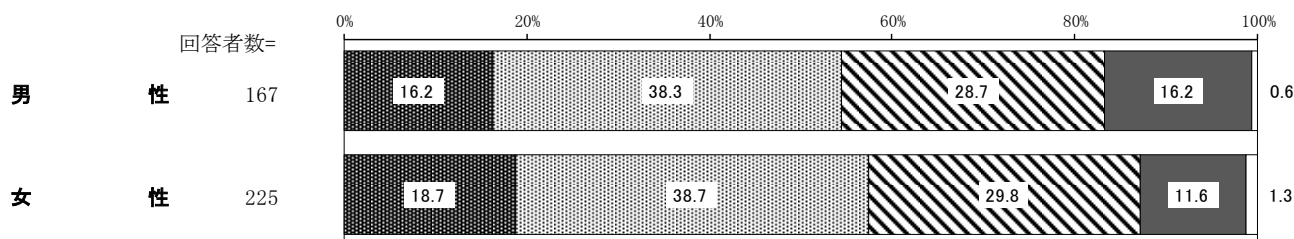
「入手できている」と「どちらかといえば入手できている」をあわせた“入手できている”の割合が 56.1%、「あまり入手できていない」と「入手できていない」をあわせた“入手できていない”の割合が 42.9%となっています。

令和元年度調査と比較すると、“入手出来ている”の割合が高くなっています。



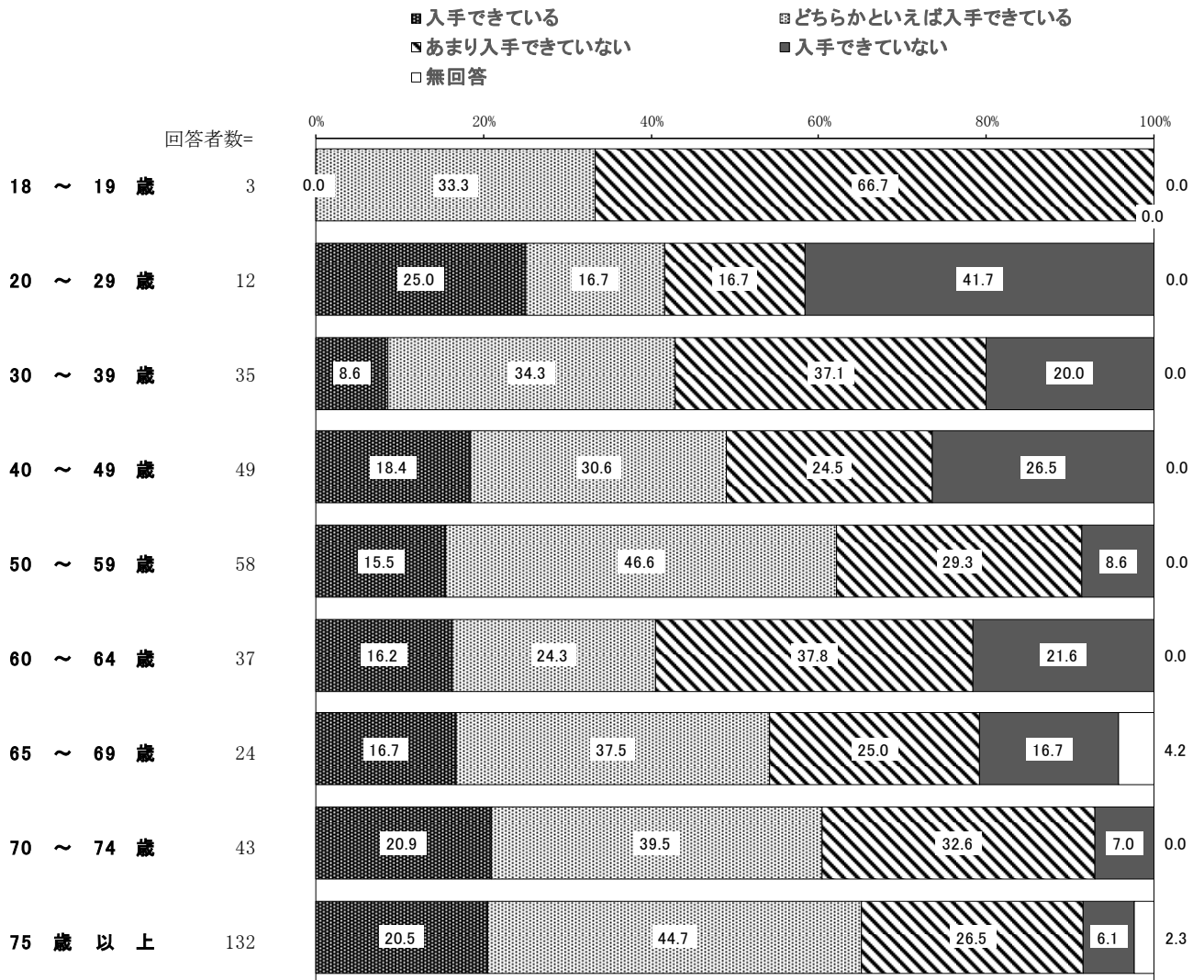
【性別】

性別で見ると、大きな差異はみられません。



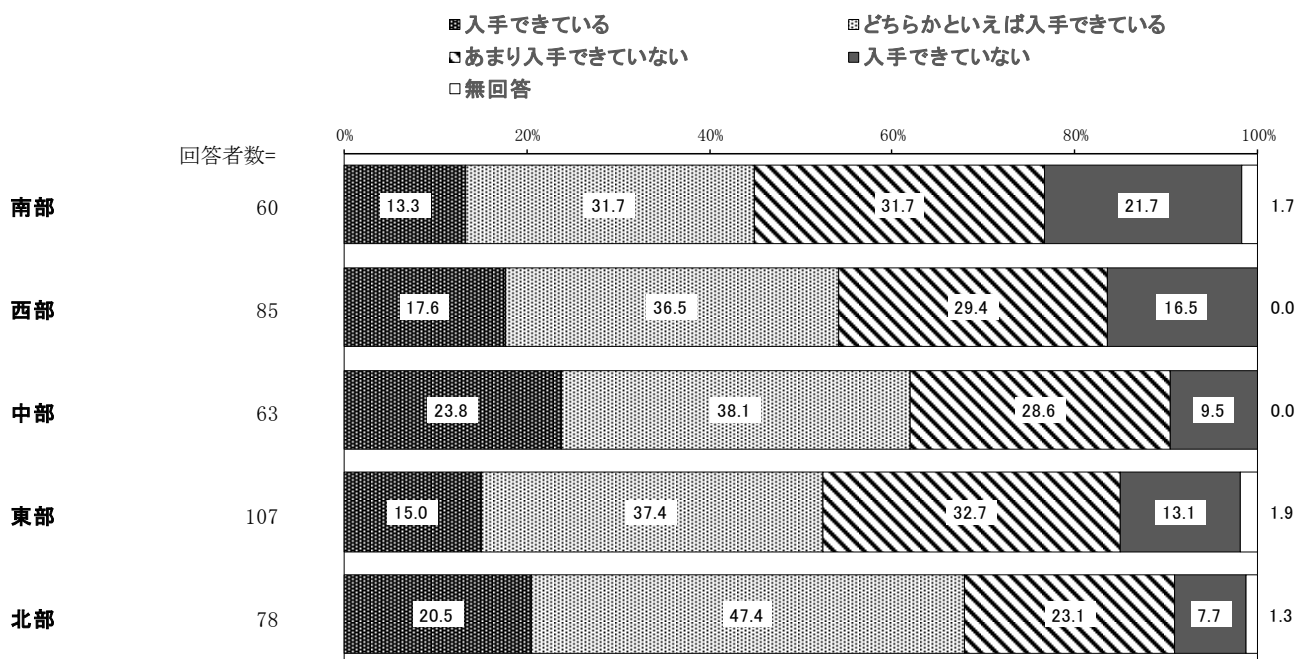
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、50～59歳、70～74歳、75歳以上で“入手できている”の割合が高くまっています。



### 【行政ブロック別】

行政ブロック別でみると、他に比べ、中部、北部で“入手できている”の割合が高くなっています。また、南部、東部で“入手できていない”の割合が高くなっています。

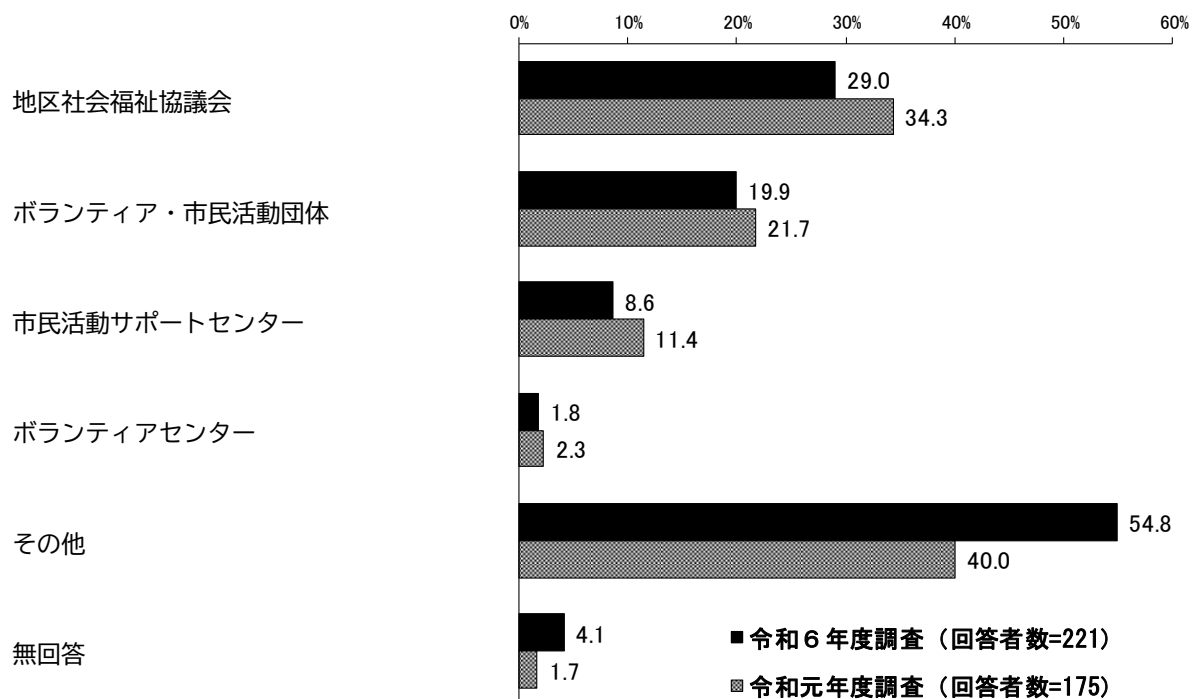


問19-1で「入手できている」「どちらかといえば入手できている」のいずれかにお答えの方に伺います

問19-2. あなたは、地域での活動の情報をどこで入手していますか。  
(あてはまるものすべてに○)

「地区社会福祉協議会」の割合が29.0%と最も高く、次いで「ボランティア・市民活動団体」の割合が19.9%、「市民活動サポートセンター」の割合が8.6%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「その他」の割合が高くなっています。



### 【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、65～69歳で「地区社会福祉協議会」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	地区社会福祉協議会	ボランティア・市民活動団体	市民活動サポートセンター	ボランティアセンター	その他	無回答
18～19歳	1	-	-	-	-	100.0	-
20～29歳	5	-	-	20.0	-	80.0	-
30～39歳	15	20.0	13.3	6.7	-	73.3	6.7
40～49歳	24	8.3	4.2	-	-	91.7	-
50～59歳	36	22.2	16.7	5.6	-	61.1	2.8
60～64歳	15	26.7	13.3	-	-	60.0	-
65～69歳	13	46.2	38.5	7.7	7.7	38.5	7.7
70～74歳	26	42.3	15.4	11.5	-	50.0	3.8
75歳以上	86	34.9	27.9	12.8	3.5	39.5	5.8

### 【行政ブロック別】

行政ブロック別でみると、他に比べ、北部で「地区社会福祉協議会」の割合が高くなっています。

単位：％

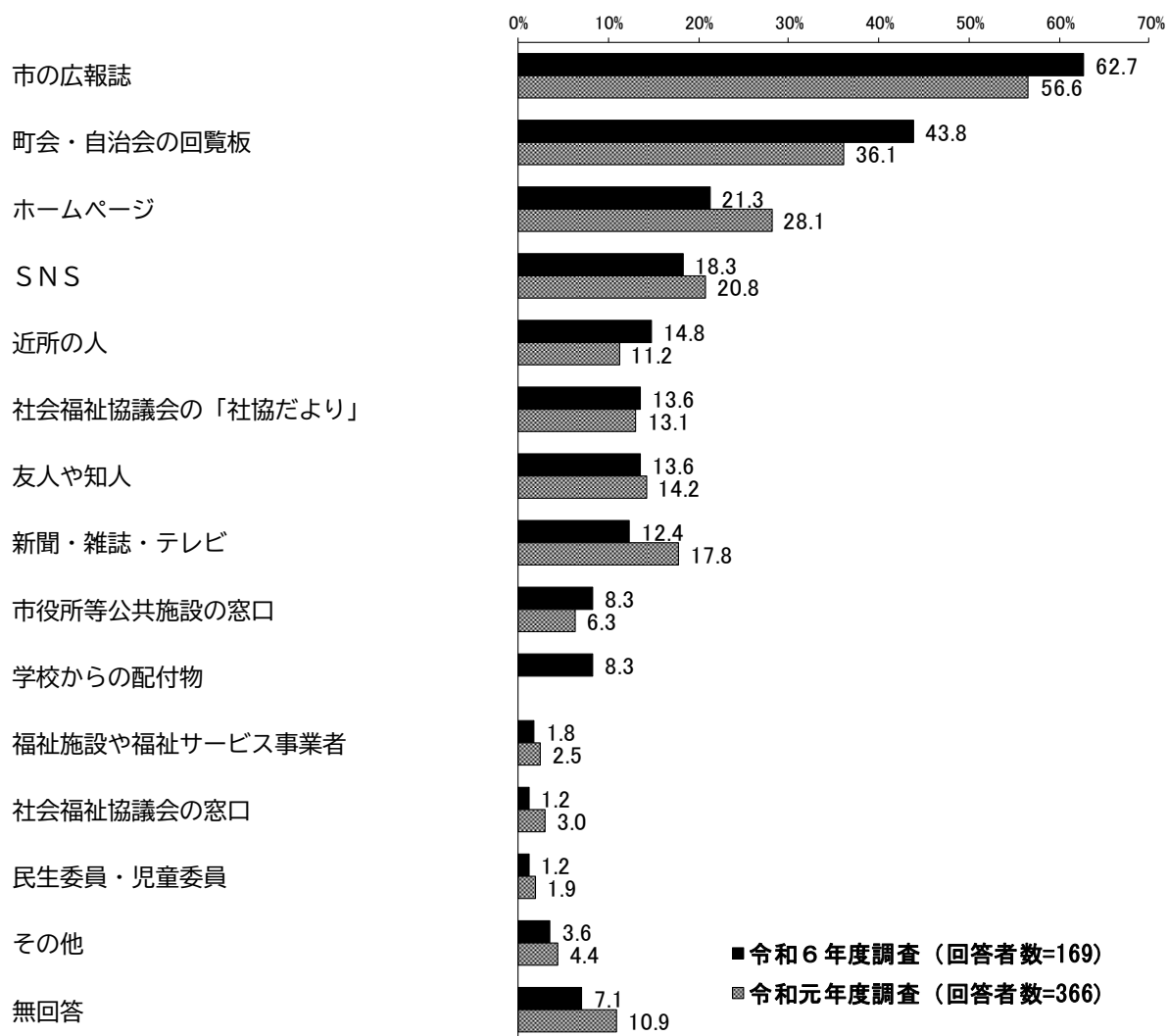
区分	回答者数（件）	地区社会福祉協議会	ボランティア・市民活動団体	市民活動サポートセンター	ボランティアセンター	その他	無回答
南部	27	22.2	25.9	18.5	-	51.9	-
西部	46	19.6	28.3	2.2	-	63.0	2.2
中部	39	28.2	15.4	5.1	-	59.0	5.1
東部	56	26.8	14.3	5.4	3.6	57.1	1.8
北部	53	43.4	18.9	15.1	3.8	43.4	9.4

問19-1. で「あまり入手できていない」「入手できていない」のいずれかにお答えの方に伺います

問19-3. あなたは、地域での活動の情報を誰（どこ）からなら入手しやすいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

「市の広報誌」の割合が 62.7%と高く、次いで「町会・自治会の回覧板」の割合が 43.8%、「ホームページ」の割合が 21.3%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「市の広報誌」「町会・自治会の回覧板」の割合が増加しています。



※令和元年度調査には「学校からの配付物」の選択肢はありませんでした。

## 【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「市の広報紙」「友人や知人」の割合が高くなっています。一方、女性に比べ、男性で「町会・自治会の回覧板」「近所の人」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	市の広報紙	町会・自治会の回覧板	ホームページ	SNS	近所の人	社会福祉協議会の「社協だより」	友人や知人	新聞・雑誌・テレビ	市役所等公共施設の窓口	学校からの配付物	福祉施設や福祉サービス事業者	社会福祉協議会の窓口	民生委員・児童委員	その他	無回答
男性	75	49.3	46.7	18.7	21.3	18.7	10.7	9.3	12.0	6.7	4.0	-	1.3	1.3	1.3	8.0
女性	93	73.1	41.9	23.7	16.1	11.8	15.1	17.2	12.9	9.7	11.8	3.2	1.1	1.1	5.4	6.5

## 【年齢別】

年齢別でみると、年齢が低くなるにつれ「SNS」の割合が高くなる傾向がみられます。

単位：％

区分	回答者数(件)	市の広報紙	町会・自治会の回覧板	ホームページ	SNS	近所の人	社会福祉協議会の「社協だより」	友人や知人	新聞・雑誌・テレビ	市役所等公共施設の窓口	学校からの配付物	福祉施設や福祉サービス事業者	社会福祉協議会の窓口	民生委員・児童委員	その他	無回答
18～19歳	2	50.0	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20～29歳	7	71.4	42.9	42.9	42.9	42.9	-	42.9	14.3	-	28.6	14.3	-	-	14.3	-
30～39歳	20	40.0	40.0	30.0	40.0	-	-	10.0	15.0	5.0	15.0	-	-	-	5.0	-
40～49歳	25	56.0	24.0	28.0	32.0	16.0	12.0	16.0	-	4.0	24.0	-	-	4.0	8.0	8.0
50～59歳	22	77.3	45.5	45.5	31.8	13.6	22.7	9.1	13.6	9.1	13.6	-	-	-	-	4.5
60～64歳	22	50.0	36.4	31.8	13.6	9.1	4.5	9.1	18.2	9.1	-	-	-	4.5	4.5	9.1
65～69歳	10	80.0	60.0	10.0	10.0	10.0	10.0	-	10.0	20.0	-	-	-	-	-	10.0
70～74歳	17	82.4	47.1	5.9	-	23.5	11.8	23.5	11.8	17.6	-	5.9	-	-	-	5.9
75歳以上	43	62.8	55.8	-	2.3	18.6	23.3	14.0	16.3	7.0	-	2.3	4.7	-	2.3	11.6



【行政ブロック別】

行政ブロック別でみると、他に比べ、南部、中部で「SNS」の割合が高く、北部で「町会・自治会の回覧板」の割合が高くなっています。

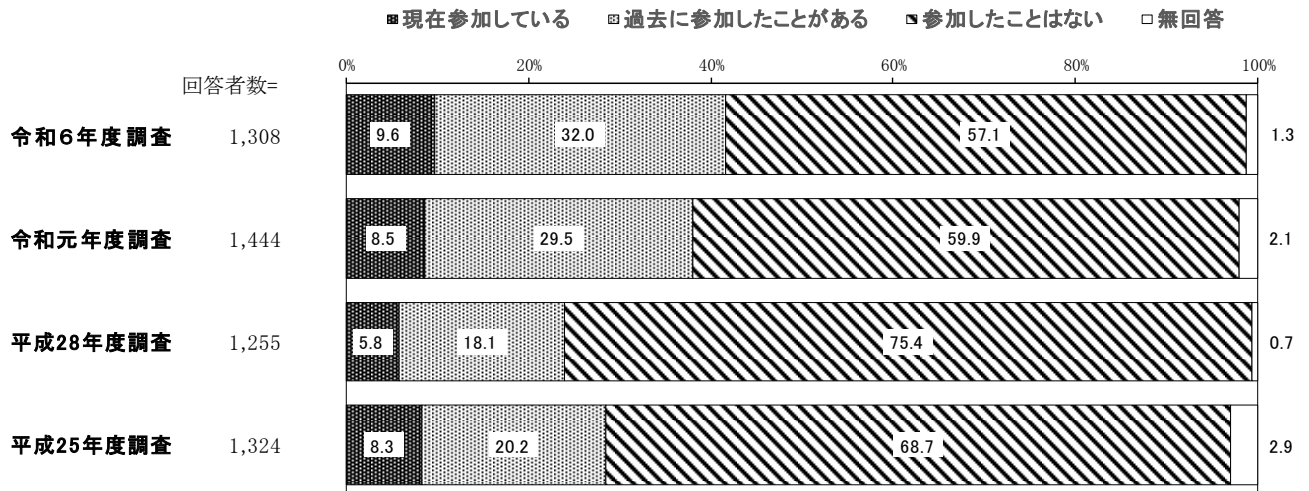
単位：％

区分	回答者数(件)	市の広報誌	町会・自治会の回覧板	ホームページ	SNS	近所の人	社会福祉協議会の「社協だより」	友人や知人	新聞・雑誌・テレビ	市役所等公共施設の窓口	学校からの配付物	福祉施設や福祉サービス事業者	社会福祉協議会の窓口	民生委員・児童委員	その他	無回答
南部	32	65.6	37.5	31.3	31.3	9.4	6.3	9.4	12.5	6.3	6.3	-	3.1	-	9.4	3.1
西部	39	64.1	30.8	30.8	17.9	15.4	7.7	10.3	15.4	15.4	15.4	-	-	-	-	10.3
中部	24	58.3	45.8	20.8	29.2	16.7	16.7	12.5	8.3	16.7	16.7	4.2	4.2	-	-	-
東部	49	59.2	51.0	14.3	14.3	18.4	20.4	14.3	10.2	2.0	4.1	2.0	-	2.0	2.0	12.2
北部	24	66.7	58.3	8.3	-	12.5	12.5	25.0	16.7	4.2	-	4.2	-	4.2	8.3	4.2

問20. あなたは、地域での活動をしていますか。または、したことがありますか。  
(○は1つだけ)

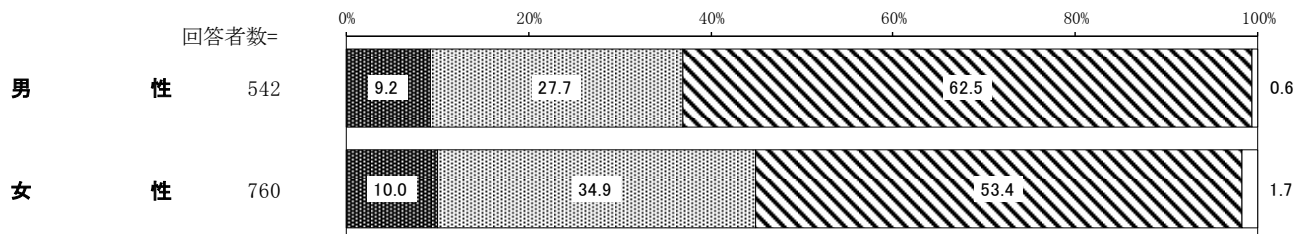
「参加したことはない」の割合が 57.1%と最も高く、次いで「過去に参加したことがある」の割合が 32.0%となっています。

過去の調査と比較すると、平成 28 年度調査から「過去に参加したことがある」の割合が増加傾向にあり、「参加したことはない」の割合が減少傾向にあります。



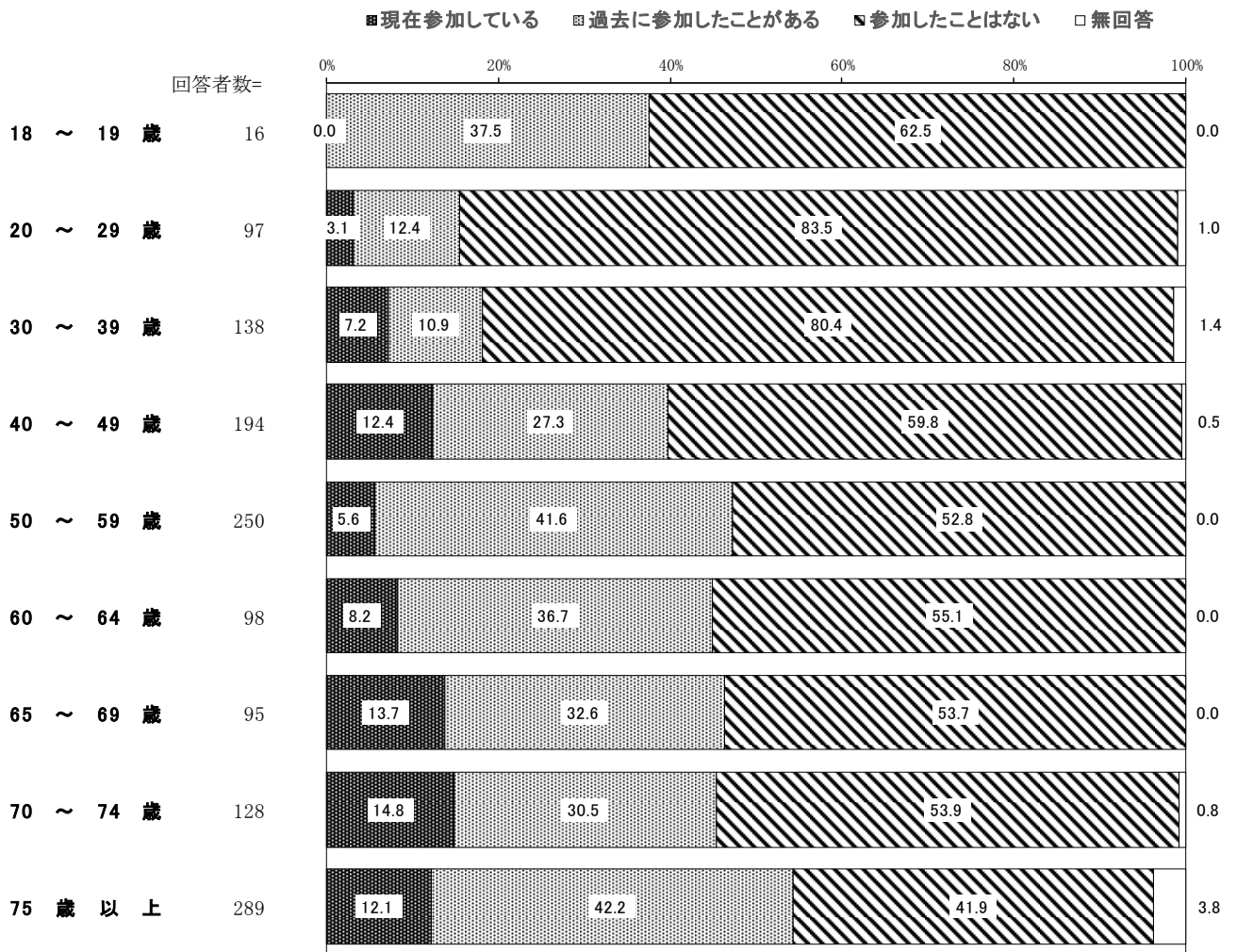
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「過去に参加したことがある」の割合が高くなっています。



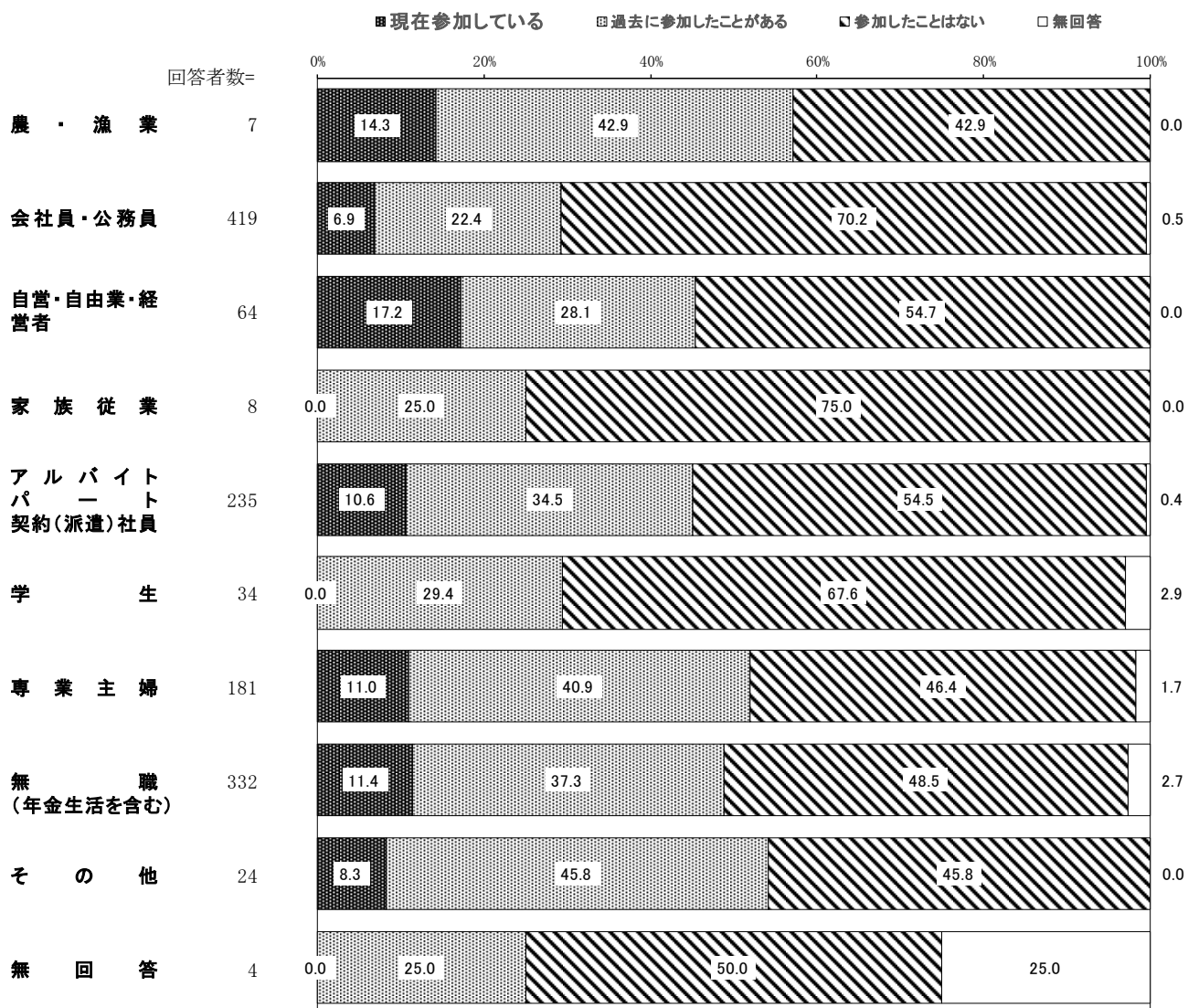
## 【年齢別】

年齢別でみると、18～19 歳を除き、年齢が高くなるにつれ「現在参加している」「過去に参加したことがある」を合わせた参加率が高くなる傾向が見られます。



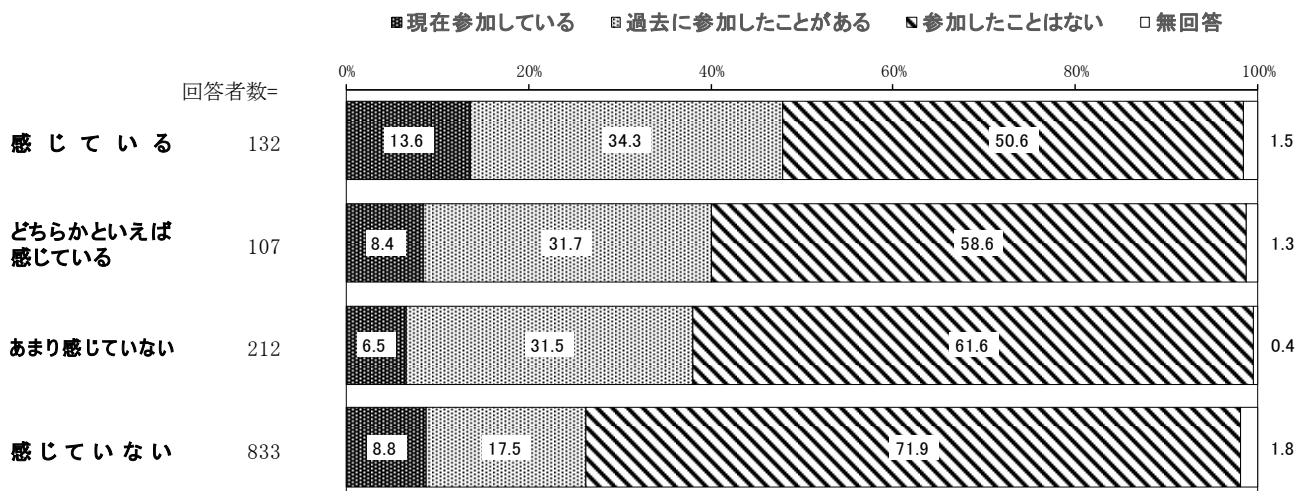
## 【職業別】

職業別でみると、他に比べ、会社員・公務員、家族従業で「参加したことはない」の割合が高くなっています。また、農・漁業、専業主婦で「過去に参加したことがある」の割合が高くなっています。



### 【生きがいの有無別】

生きがいの有無別でみると、生きがいを感じている人ほど「現在参加している」「過去に参加したことがある」の割合が高くなっています。

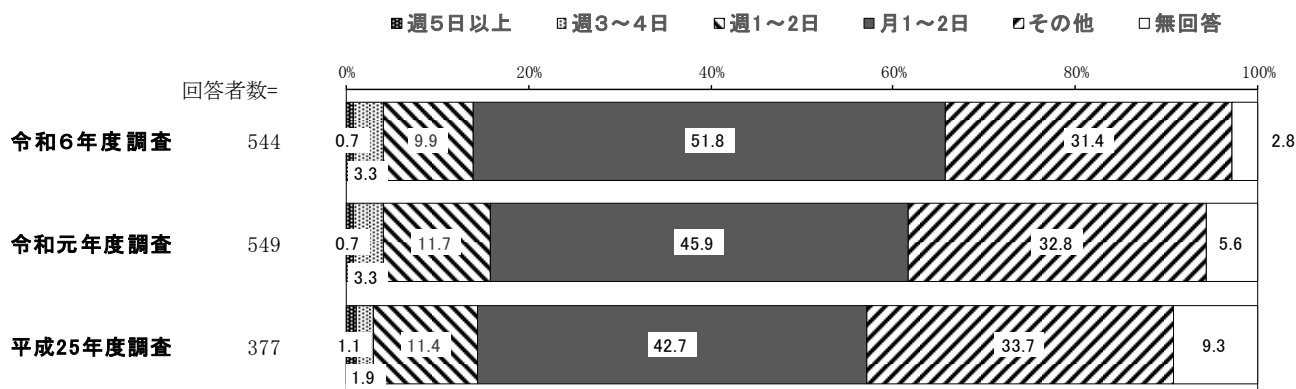


問20. で「現在参加している」「過去に参加したことがある」のいずれかにお答えの方に伺います

問20-1. どれぐらいの頻度で参加していますか。または、参加していましたか。  
(○は1つだけ)

「月1～2回」の割合が51.8%と最も高く、次いで「週1～2日」の割合が9.9%となっています。

過去の調査と比較すると、令和元年度調査から「月1～2日」の割合が増加傾向にあります。

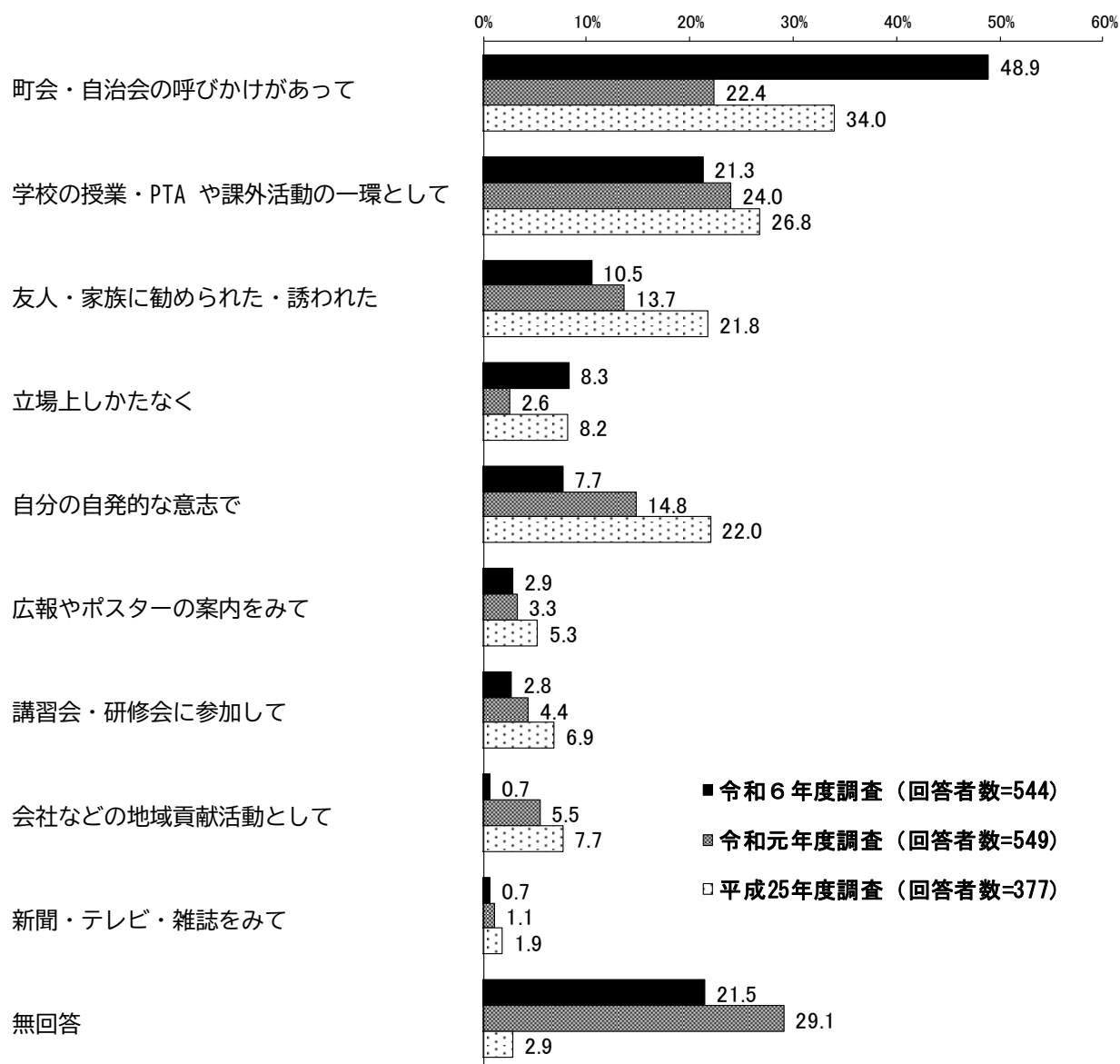


問20. で「現在参加している」「過去に参加したことがある」のいずれかにお答えの方に伺います

問20-2. 地域での活動に参加した「きっかけ」は何ですか。（〇は2つまで）

「町会・自治会の呼びかけがあつて」の割合が 48.9%と最も高く、次いで「学校の授業・PTA や課外活動の一環として」の割合が 21.3%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「町会・自治会の呼びかけがあつて」の割合が高くなっています。



【性別】

性別で見ると、男性に比べ、女性で「学校の授業・PTA や課外活動の一環として」の割合が高くなっています。

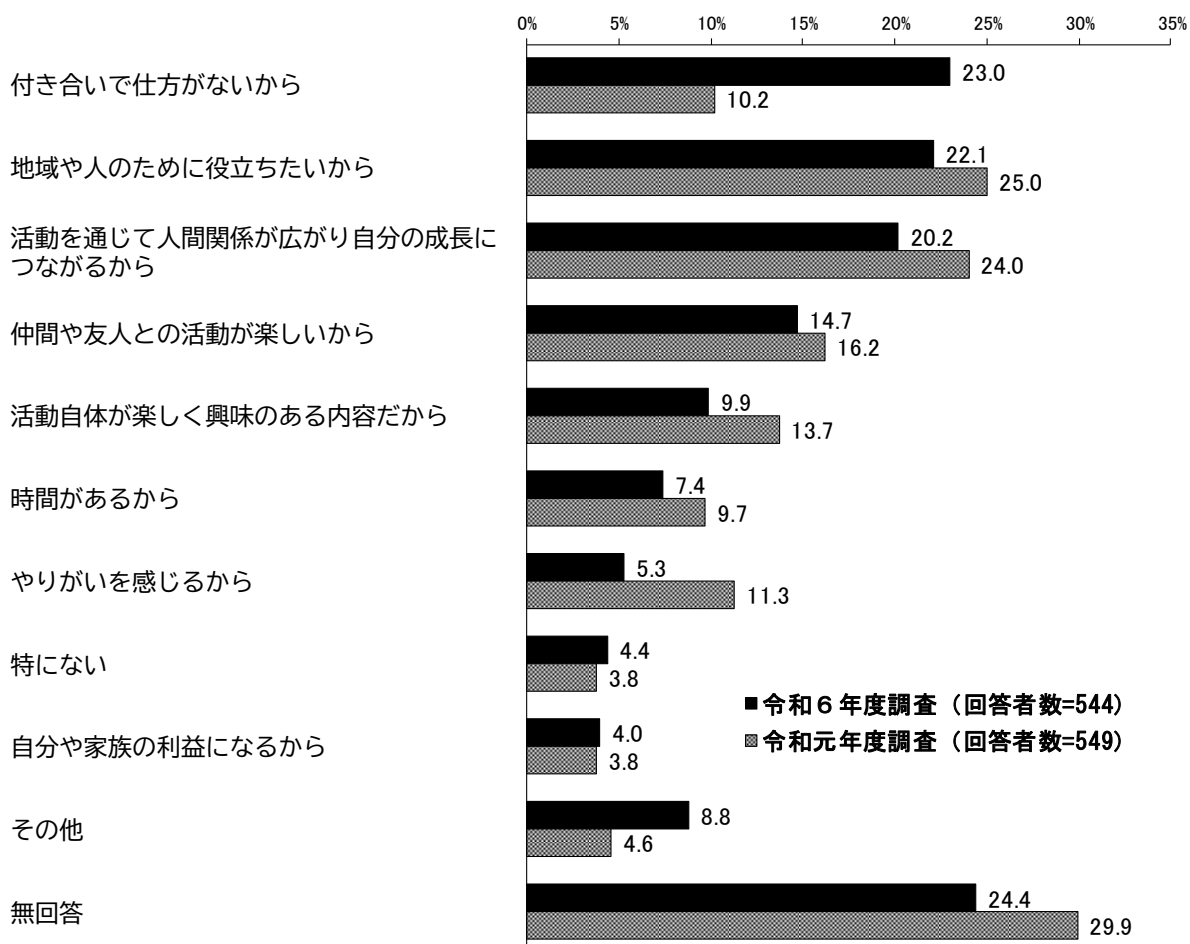
単位：%

区分	回答者数(件)	町会・自治会の呼びかけがあつて	学校の授業・PTAや課外活動の一環として	友人・家族に勧められた・誘われた	立場しかなかった	自分の自発的な意志で	広報やポスターの案内をみて	講習会・研修会に参加して	会社などの地域貢献活動として	新聞・テレビ・雑誌をみて	無回答
男性	200	58.0	11.5	12.0	9.5	10.5	4.0	3.0	-	0.5	16.0
女性	341	43.4	26.7	9.7	7.3	6.2	2.3	2.6	1.2	0.9	24.9

問20. で「現在参加している」「過去に参加したことがある」のいずれかにお答えの方に伺います  
 問20-3. 地域での活動に現在参加しているまたは過去に参加していた理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

「付き合いで仕方がないから」の割合が 23.0%と最も高く、次いで「地域や人のために役立ちたいから」の割合が 22.1%、「活動を通じて人間関係が広がり自分の成長につながるから」の割合が 20.2%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「付き合いで仕方がないから」の割合が増加しています。





【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「付き合いで仕方ないから」「地域や人のために役立ちたいから」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「活動を通じて人間関係が広がり自分の成長につながるから」の割合が高くなっています。

単位：%

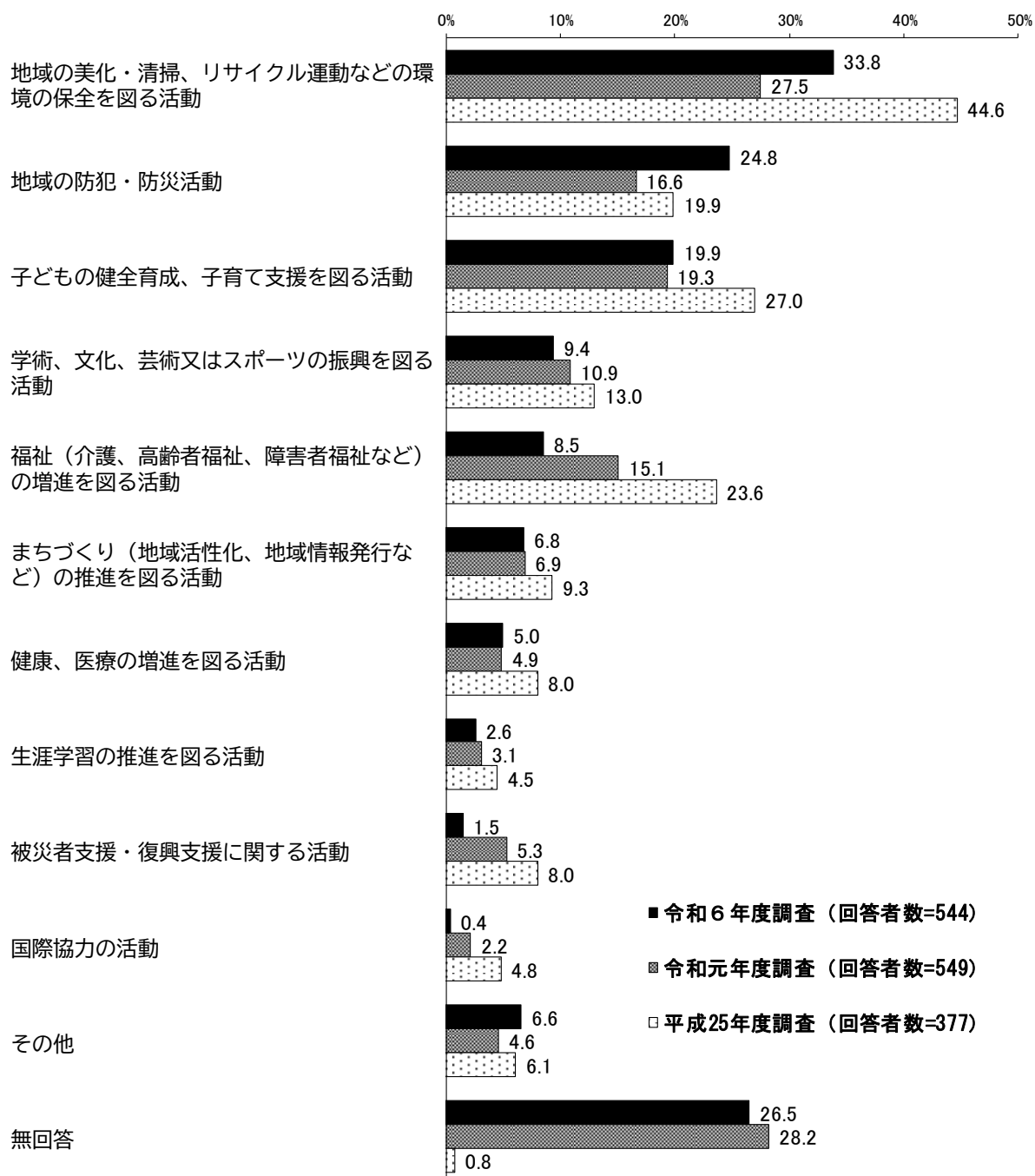
区分	回答者数(件)	付き合いで仕方ないから	地域や人のために役立ちたいから	活動を通じて人間関係が広がり自分の成長につながるから	仲間や友人との活動が楽しいから	活動自体が楽しく興味のある内容だから	時間があるから	やりがいを感じるから	特にない	自分や家族の利益になるから	その他	無回答
男性	200	27.0	27.5	19.5	13.5	10.0	8.5	5.0	2.5	2.5	8.0	18.5
女性	341	20.2	19.1	20.8	15.5	10.0	6.7	5.6	5.3	5.0	9.4	28.2

問20. で「現在参加している」「過去に参加したことがある」のいずれかにお答えの方に伺います

問20-4. 参加している（参加した）地域での活動は、どのような内容のもので  
 ですか。（あてはまるものすべてに○）

「地域の美化・清掃、リサイクル運動などの環境の保全を図る活動」の割合が 33.8%と最も高く、次いで「地域の防犯・防災活動」の割合が 24.8%、「子どもの健全育成、子育て支援を図る活動」の割合が 19.9%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「地域の美化・清掃、リサイクル運動などの環境の保全を図る活動」「地域の防犯・防災活動」の割合が増加しています。



【性別】

性別で見ると、女性に比べ、男性で「地域の防犯・防災活動」「学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「子供の健全育成、子育て支援を図る活動」の割合が高くなっています。

単位：%

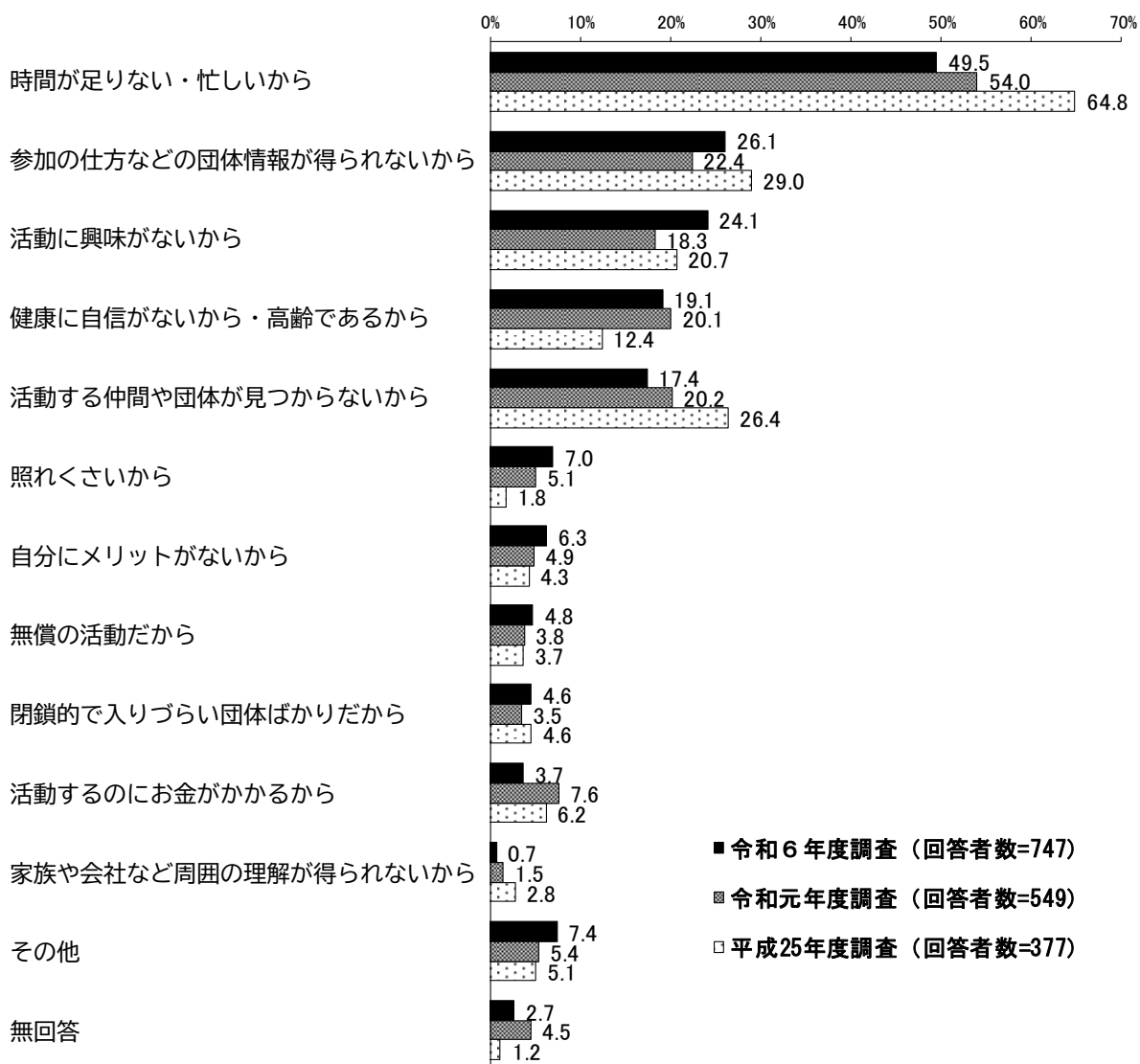
区分	回答者数(件)	地域の美化・清掃、リサイクル運動などの環境の保全を図る活動	地域の防犯・防災活動	子どもの健全育成、子育て支援を図る活動	学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動	福祉(介護、高齢者福祉、障害者福祉など)の増進を図る活動	まちづくり(地域活性化、地域情報発信など)の推進を図る活動	健康、医療の増進を図る活動	生涯学習の推進を図る活動	被災者支援・復興支援に関する活動	国際協力の活動	その他	無回答
男性	200	34.0	27.0	14.5	13.0	7.5	9.0	5.0	2.0	2.0	-	9.0	20.0
女性	341	34.0	23.5	23.2	7.3	8.8	5.6	5.0	2.9	1.2	0.6	5.3	29.9

問20. 「参加したことはない」とお答えの方に伺います

問20-5. 地域での活動に参加したことがない理由は何ですか。  
(あてはまるものすべてに○)

「時間が足りない・忙しいから」の割合が 49.5%と最も高く、次いで「参加の仕方などの団体情報が得られないから」の割合が 26.1%、「活動に興味がないから」の割合が 24.1%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「参加の仕方などの団体情報が得られないから」「活動に興味がないから」の割合が増加し、「時間が足りない・忙しいから」の割合が減少しています。



### 【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「照れくさいから」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	時間が足りない・忙しいから	参加の仕方などの団体情報が得られないから	活動に興味がないから	あるから 健康に自信がないから・高齢であるから	活動する仲間や団体が見つからないから	照れくさいから	自分にメリットがないから	無償の活動だから	閉鎖的で入りづらい団体ばかりだから	活動するのにお金がかかるから	家族や会社など周囲の理解が得られないから	その他	無回答
男性	339	49.6	25.7	27.1	18.0	19.2	10.9	8.0	4.7	5.0	3.8	0.9	7.1	2.4
女性	406	49.8	26.6	21.7	20.0	15.8	3.7	4.9	4.9	4.2	3.7	0.5	7.4	3.0

### 【年齢別】

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれ「健康に自信がないから・高齢であるから」の割合が高くなっています。また、他に比べ、18～19歳、20～29歳、30～39歳、40～49歳、50～59歳で「時間が足りない・忙しいから」の割合が高くなっています。また、20～29歳で「活動に興味がないから」の割合が高くなっています。

単位：％

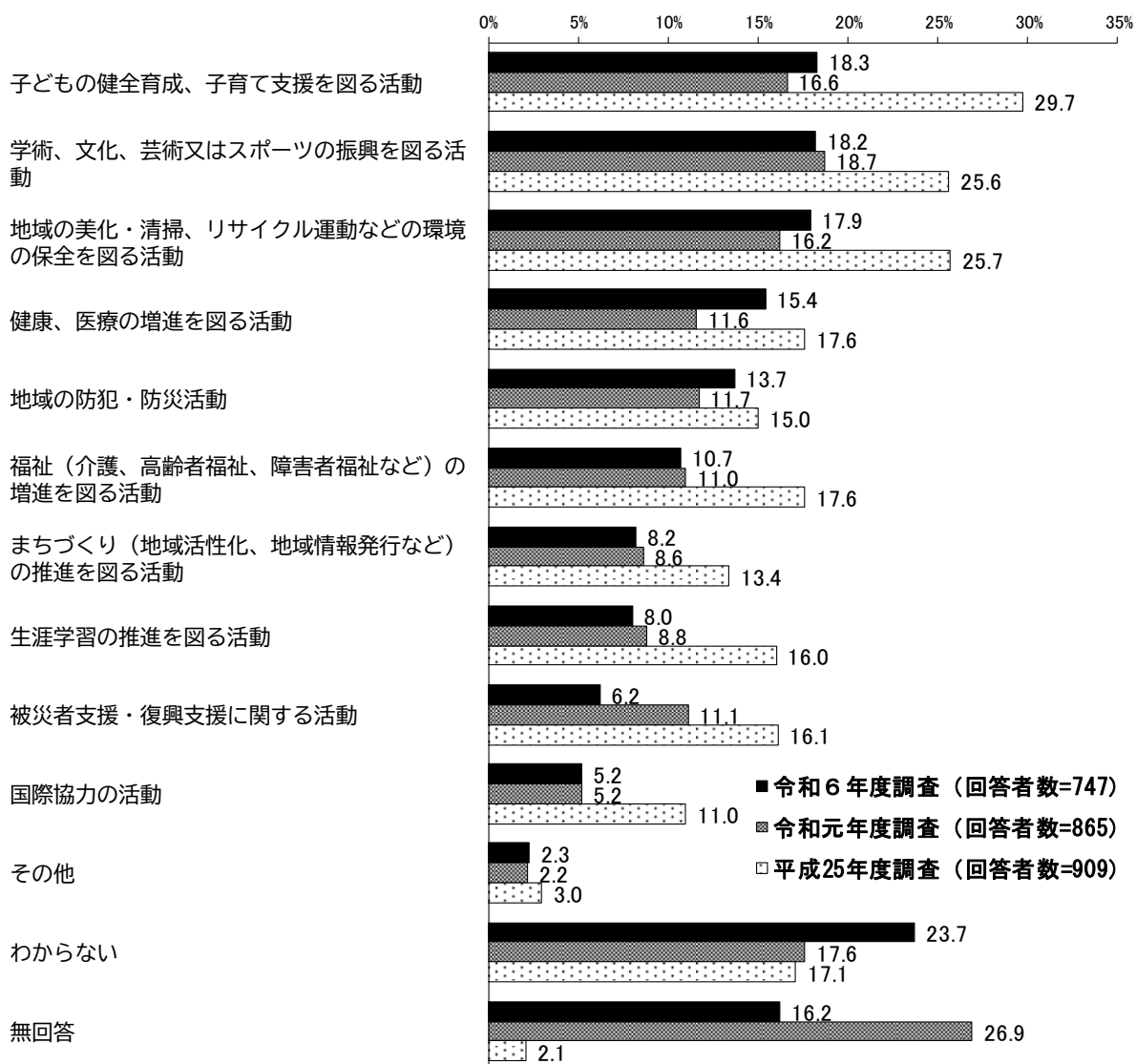
区分	回答者数(件)	時間が足りない・忙しいから	参加の仕方などの団体情報が得られないから	活動に興味がないから	あるから 健康に自信がないから・高齢であるから	活動する仲間や団体が見つからないから	照れくさいから	自分にメリットがないから	無償の活動だから	閉鎖的で入りづらい団体ばかりだから	活動するのにお金がかかるから	家族や会社など周囲の理解が得られないから	その他	無回答
18～19歳	10	40.0	20.0	20.0	-	30.0	20.0	10.0	-	-	-	-	10.0	-
20～29歳	81	69.1	24.7	39.5	2.5	13.6	7.4	17.3	13.6	4.9	6.2	1.2	2.5	-
30～39歳	111	62.2	37.8	28.8	1.8	18.9	8.1	9.0	9.0	2.7	6.3	-	10.8	1.8
40～49歳	116	62.9	25.0	29.3	6.9	12.9	8.6	6.9	2.6	6.0	2.6	0.9	10.3	-
50～59歳	132	63.6	26.5	29.5	10.6	16.7	6.8	6.1	6.8	3.0	5.3	-	2.3	1.5
60～64歳	54	50.0	27.8	7.4	13.0	20.4	3.7	3.7	1.9	7.4	3.7	1.9	14.8	3.7
65～69歳	51	33.3	21.6	29.4	21.6	11.8	11.8	3.9	2.0	9.8	2.0	2.0	3.9	2.0
70～74歳	69	37.7	24.6	17.4	46.4	24.6	4.3	1.4	-	1.4	4.3	-	5.8	2.9
75歳以上	121	11.6	19.8	8.3	54.5	19.0	4.1	0.8	0.8	5.0	-	0.8	8.3	9.1

問20. で「参加したことはない」とお答えの方に伺います

問20-6. 地域での活動に参加するとしたら、どのような内容の活動に参加したいですか。（あてはまるものすべてに○）

「子どもの健全育成、子育て支援を図る活動」の割合が 18.3%と最も高く、次いで「学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動」の割合が 18.2%、「地域の美化・清掃、リサイクル運動などの環境の保全を図る活動」の割合が 17.9%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「子どもの健全育成、子育て支援を図る活動」「地域の美化・清掃、リサイクル運動などの環境の保全を図る活動」「健康、医療の増進を図る活動」「地域の防犯・防災活動」の割合が増加しています。



## 【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動」「地域の美化・清掃、リサイクル運動などの環境の保全を図る活動」「地域の防犯・防災活動」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「子どもの健全育成、子育て支援を図る活動」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	子どもの健全育成、子育て支援を図る活動	学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動	地域の美化・清掃、リサイクル運動などの環境の保全を図る活動	健康、医療の増進を図る活動	地域の防犯・防災活動	福祉(介護、高齢者福祉、障害者福祉など)の増進を図る活動	まちづくり(地域活性化、地域情報発信など)の推進を図る活動	生涯学習の推進を図る活動	被災者支援・復興支援に関する活動	国際協力の活動	その他	わからない	無回答
男性	339	15.6	21.5	21.2	15.3	16.5	9.4	8.8	7.1	5.9	4.1	2.7	23.6	16.2
女性	406	20.7	15.5	15.3	15.3	11.3	11.6	7.6	8.9	6.4	6.2	1.7	23.9	16.3

## 【年齢別】

年齢別でみると、年齢が低くなるにつれ「学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他に比べ、20～29歳、30～39歳で「子どもの健全育成、子育て支援を図る活動」の割合が高くなっています。

単位：％

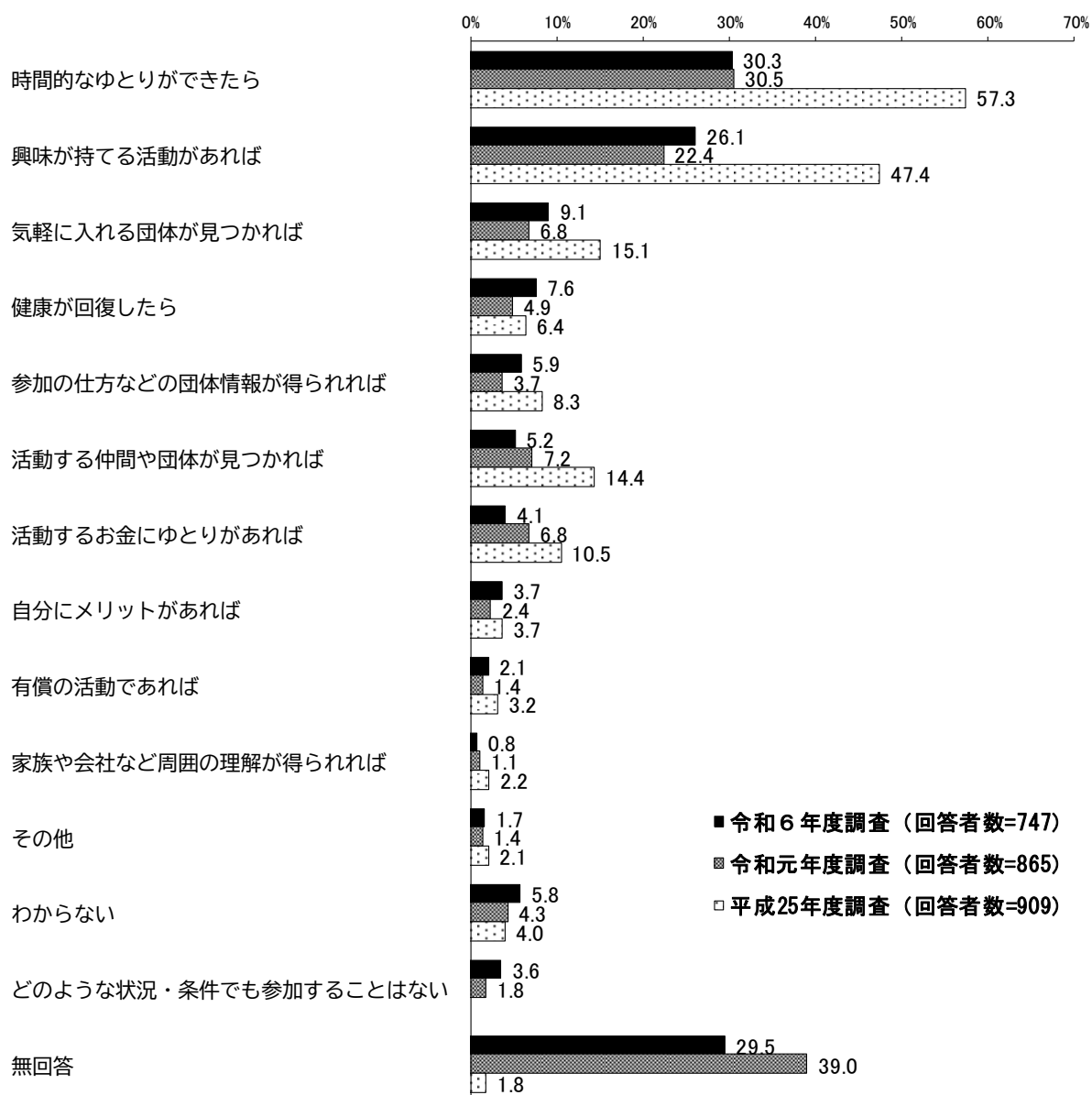
区分	回答者数(件)	子どもの健全育成、子育て支援を図る活動	学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動	地域の美化・清掃、リサイクル運動などの環境の保全を図る活動	健康、医療の増進を図る活動	地域の防犯・防災活動	福祉(介護、高齢者福祉、障害者福祉など)の増進を図る活動	まちづくり(地域活性化、地域情報発信など)の推進を図る活動	生涯学習の推進を図る活動	被災者支援・復興支援に関する活動	国際協力の活動	その他	わからない	無回答
18～19歳	10	20.0	40.0	40.0	-	20.0	10.0	-	-	20.0	10.0	10.0	10.0	-
20～29歳	81	34.6	22.2	12.3	7.4	9.9	7.4	7.4	3.7	8.6	4.9	2.5	25.9	11.1
30～39歳	111	37.8	24.3	24.3	12.6	18.9	8.1	18.0	9.0	9.0	6.3	0.9	12.6	12.6
40～49歳	116	24.1	20.7	19.0	12.9	16.4	10.3	7.8	7.8	7.8	10.3	2.6	26.7	9.5
50～59歳	132	15.9	17.4	14.4	12.1	10.6	11.4	6.8	10.6	9.8	3.8	-	27.3	18.2
60～64歳	54	7.4	20.4	16.7	27.8	11.1	22.2	5.6	11.1	7.4	7.4	7.4	16.7	13.0
65～69歳	51	5.9	17.6	19.6	15.7	19.6	5.9	7.8	9.8	2.0	3.9	-	27.5	13.7
70～74歳	69	5.8	14.5	17.4	23.2	14.5	14.5	8.7	10.1	-	2.9	1.4	33.3	14.5
75歳以上	121	4.1	8.3	17.4	19.8	9.9	9.1	3.3	5.0	-	1.7	3.3	23.1	32.2

問20. で「参加したことはない」とお答えの方に伺います

問20-7. どのような状況・条件になれば地域での活動に参加したいと思いますか。  
(○は2つまで)

「時間的なゆとりができれば」の割合が 30.3%と最も高く、次いで「興味が持てる活動があれば」の割合が 26.1%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「興味が持てる活動があれば」「気軽に入れる団体が見つければ」の割合が増加しています。



※平成25年度調査には「どのような状況・条件でも参加することはない」の選択肢はありませんでした。  
 ※前回の令和元年度報告書には、令和元年度・平成25年度の基数表記がなかったため、問20-6の基数を使用しています。



## 【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。

単位：％

区分	回答者数(件)	時間的なゆとりができた	興味を持てる活動があれば	活動するお金にゆとりがあれば	家族や会社など周囲の理解が得られれば	活動する仲間や団体が見つければ	気軽に入れる団体が見つければ	健康が回復したら	自分にメリットがあれば	参加の仕方などの団体情報が得られれば	有償の活動であれば	その他	わからない	どのような状況・条件でも参加することはない	無回答
男性	339	30.7	25.7	4.7	1.2	5.6	8.8	7.4	3.8	5.9	2.4	2.1	5.3	3.8	31.0
女性	406	30.0	26.6	3.7	0.5	4.9	9.4	7.6	3.7	5.7	2.0	1.2	6.2	3.4	28.3

## 【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、20～29歳、30～39歳、40～49歳、60～64歳で「時間的なゆとりができた」の割合が高くなっています。また、18～19歳、65～69歳、75歳以上で「興味を持てる活動があれば」の割合が高くなっています。

単位：％

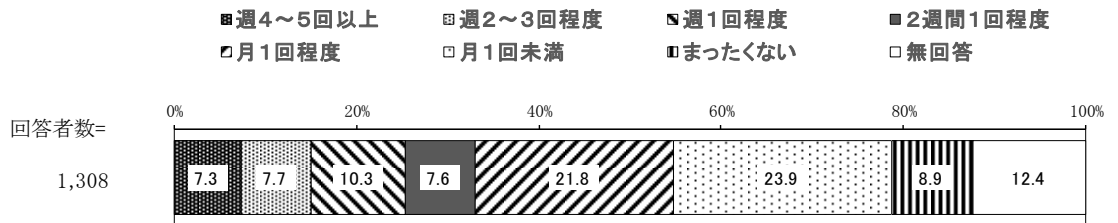
区分	回答者数(件)	時間的なゆとりができた	興味を持てる活動があれば	活動するお金にゆとりがあれば	家族や会社など周囲の理解が得られれば	活動する仲間や団体が見つければ	気軽に入れる団体が見つければ	健康が回復したら	自分にメリットがあれば	参加の仕方などの団体情報が得られれば	有償の活動であれば	その他	わからない	どのような状況・条件でも参加することはない	無回答
18～19歳	10	30.0	40.0	-	-	-	20.0	-	-	10.0	-	-	-	10.0	10.0
20～29歳	81	40.7	27.2	7.4	-	4.9	3.7	1.2	11.1	4.9	6.2	-	4.9	1.2	28.4
30～39歳	111	38.7	30.6	5.4	0.9	2.7	5.4	1.8	8.1	8.1	3.6	1.8	-	1.8	34.2
40～49歳	116	39.7	29.3	6.0	-	5.2	7.8	2.6	4.3	4.3	2.6	4.3	3.4	7.8	22.4
50～59歳	132	33.3	27.3	3.8	-	6.1	9.8	4.5	1.5	6.8	1.5	0.8	9.8	3.8	28.8
60～64歳	54	38.9	25.9	3.7	5.6	5.6	9.3	5.6	-	7.4	-	1.9	3.7	1.9	31.5
65～69歳	51	21.6	27.5	2.0	-	5.9	13.7	13.7	-	5.9	-	-	9.8	5.9	27.5
70～74歳	69	23.2	17.4	4.3	1.4	1.4	14.5	15.9	2.9	4.3	-	-	8.7	1.4	31.9
75歳以上	121	7.4	20.7	0.8	0.8	9.1	10.7	19.0	0.8	4.1	1.7	2.5	7.4	3.3	33.9

#### (4) 孤独・孤立

問21. あなたと同居していない家族や友人たちとのコミュニケーション頻度について伺います。(①~④それぞれあてはまるものに○)

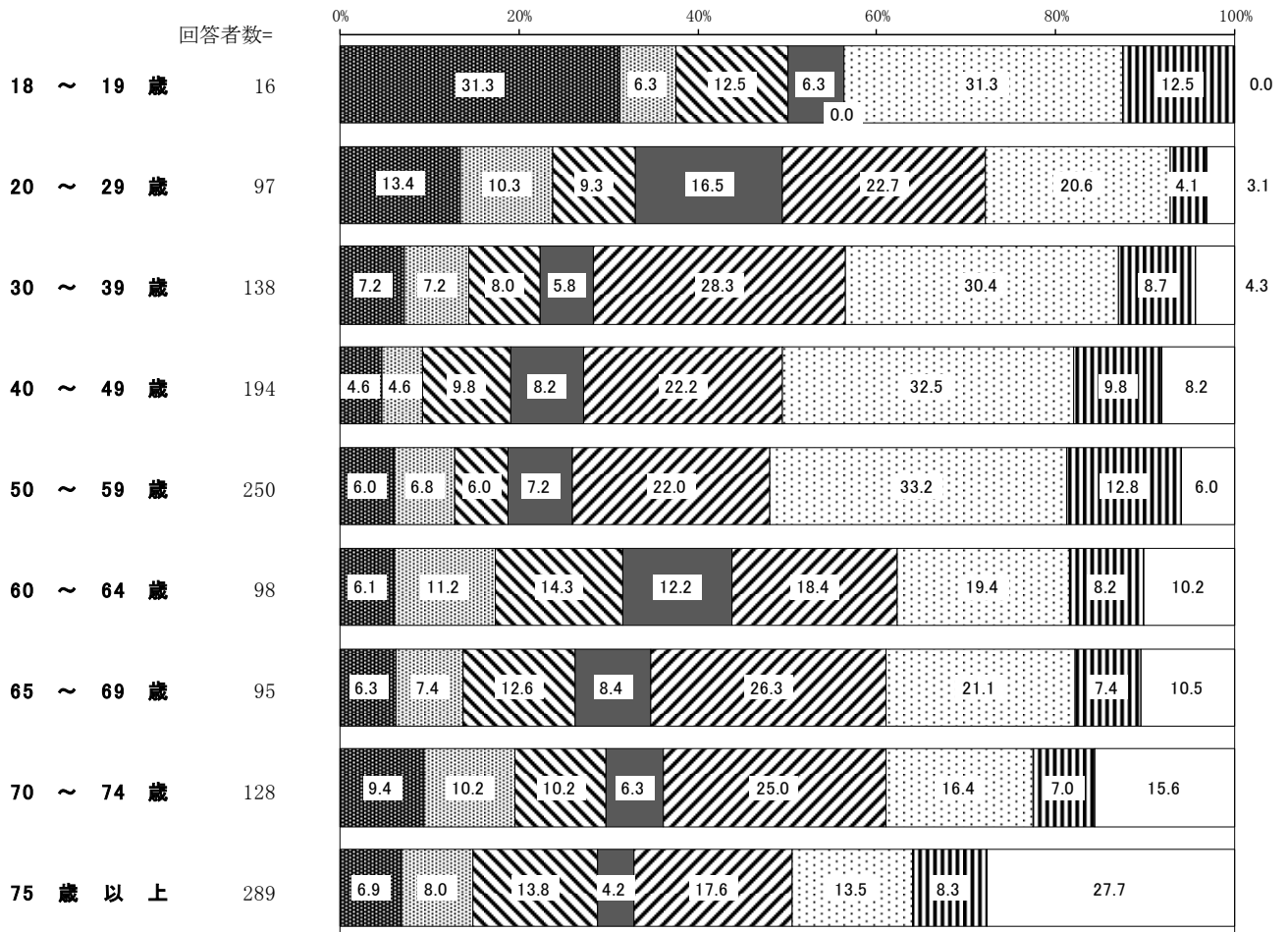
##### ①直接会って話す

全体として、「月1回程度」「月1回未満」の割合が高く、それぞれ2割を超えています。



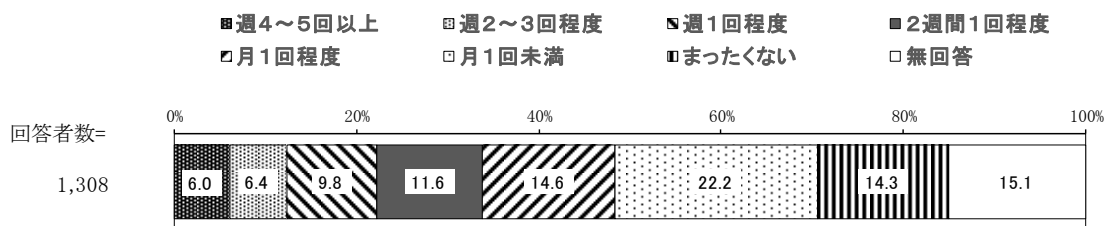
##### 【年齢別】

年齢別でみると、18~19歳では「週4~5回以上」「月1回未満」の割合が3割を超えています。また、30~39歳、40~49歳、50~59歳では「月1回未満」の割合が高くなっています。



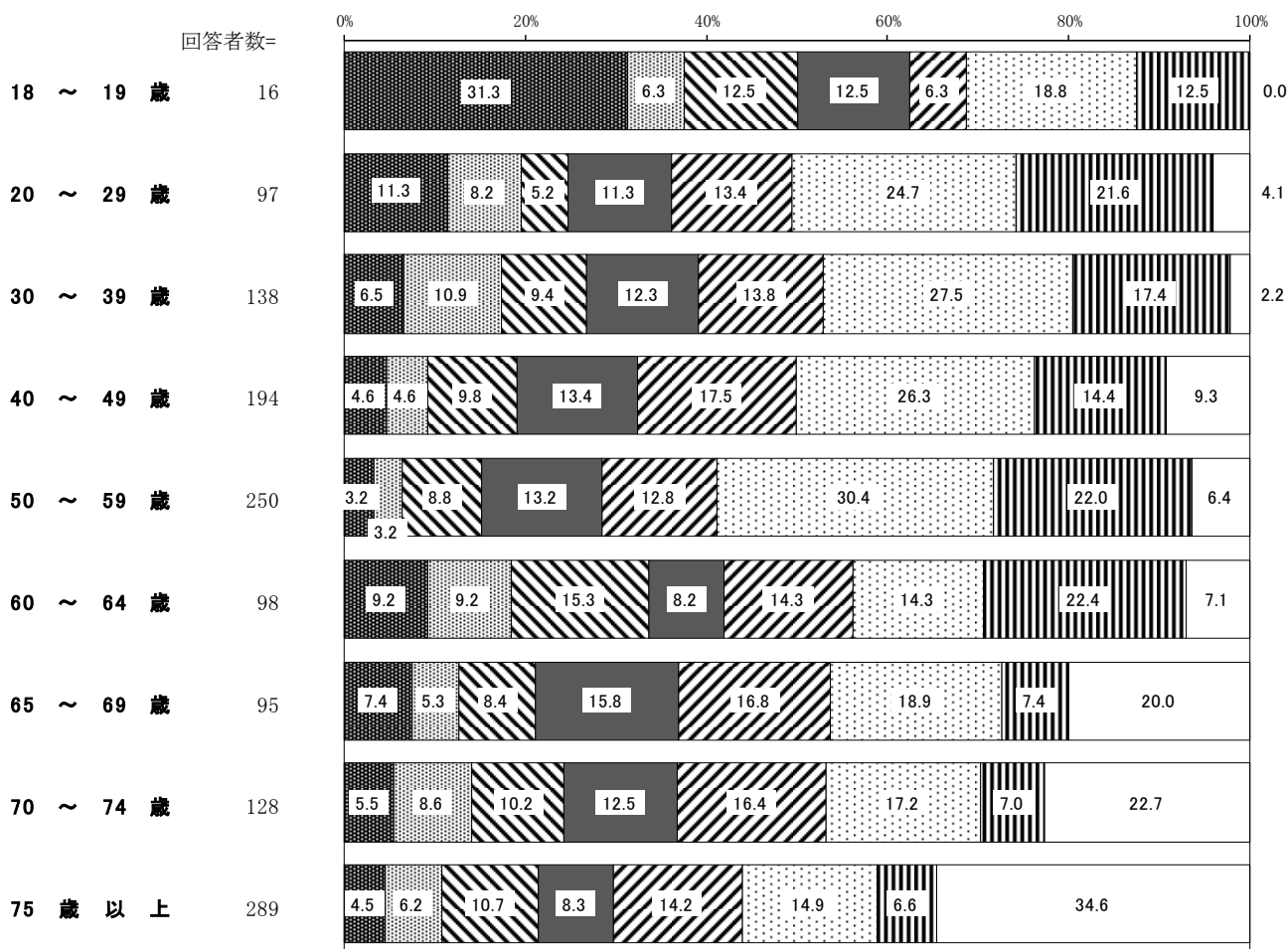
## ②電話（ビデオ通話含む）

全体として、「月1回未満」の割合が最も高く 22.2 %となっています。



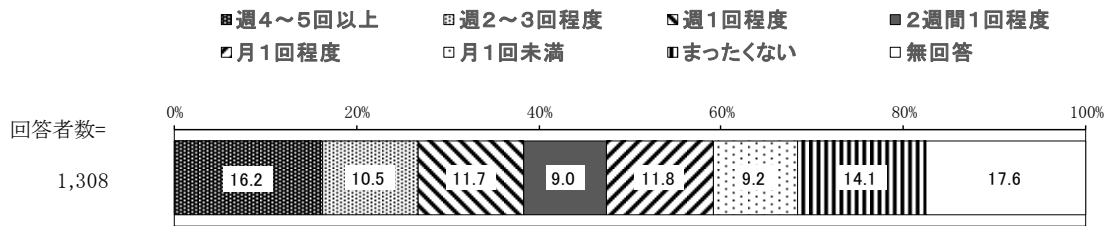
### 【年齢別】

年齢別でみると、18～19 歳では「週4～5回以上」の割合が3割を超えています。また、20～29 歳、30～39 歳、40～49 歳、50～59 歳では「月1回未満」の割合が高くなっています。



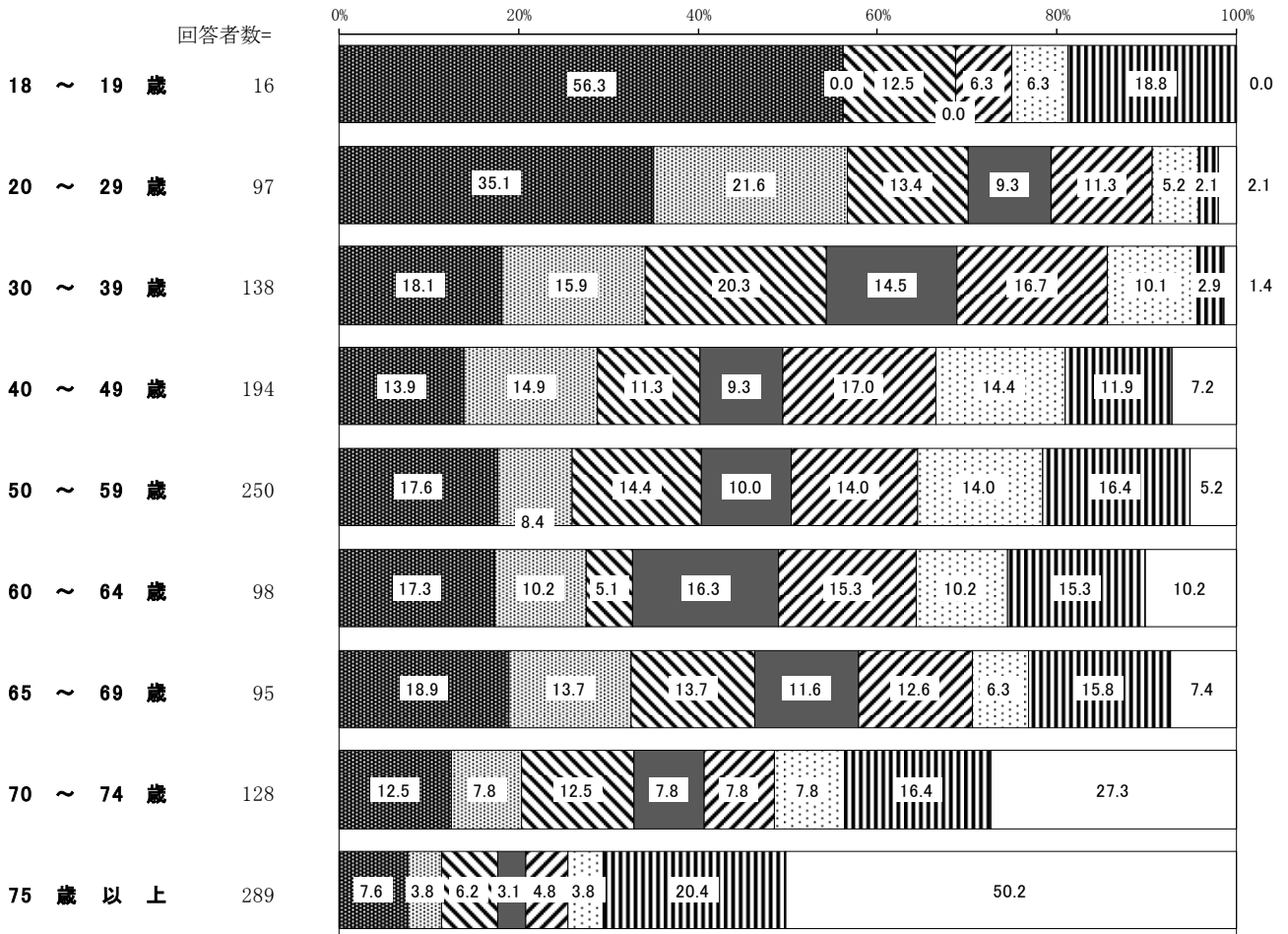
### ③ SNS（LINEによるチャットなど）

全体として、使用頻度に大きな差異は見られません。



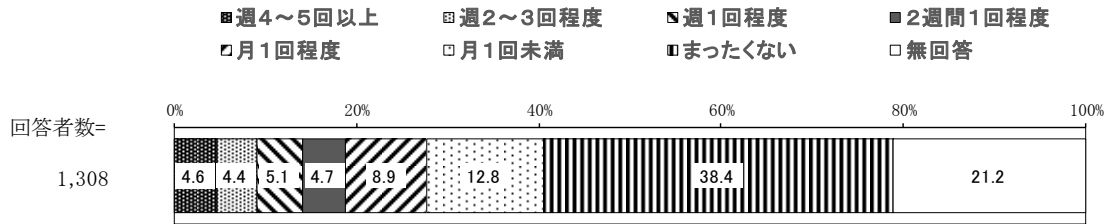
#### 【年齢別】

年齢別でみると、18～19歳では「週4～5回以上」の割合が5割を超えています。20～29歳では「週4～5回以上」と「週2～3回程度」を合わせた割合が5割を超えており、若年層ほど使用頻度の割合が高い傾向がみられます。



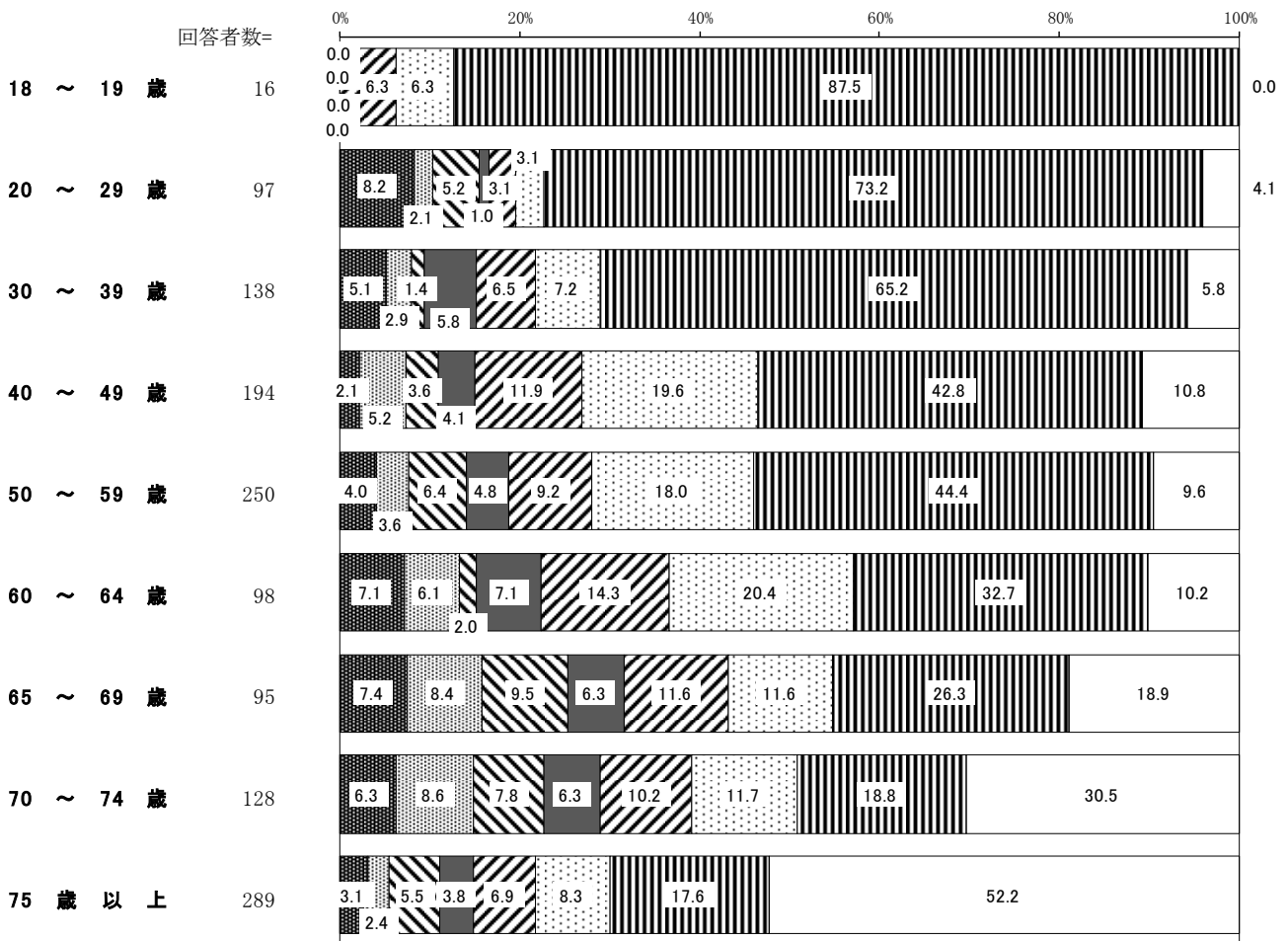
#### ④電子メールやショートメール

全体として、「まったくない」の割合が高く、約4割となっています。次いで「月1回未満」、「月1回程度」となっています。



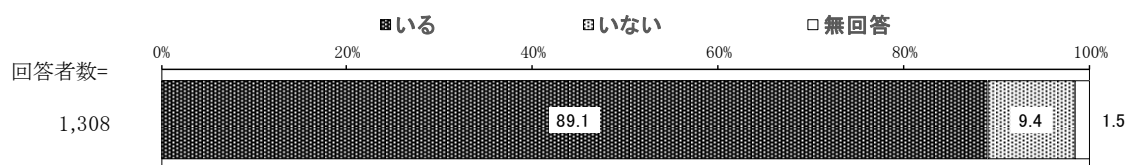
#### 【年齢別】

年齢別で見ると、18~19歳では「まったくない」の割合が8割を超えています。ついで20~29歳では73.2%、30~39歳では65.2%と続き、若年層ほど使用頻度の割合が低い傾向がみられます。



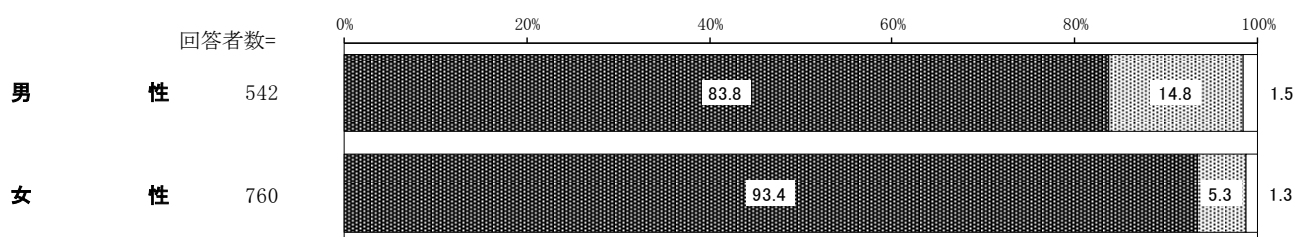
問2. あなたに不安や悩みが生じた場合、相談相手はいますか。(〇は1つだけ)

「いる」の割合が89.1%、「いない」の割合が9.4%となっています。



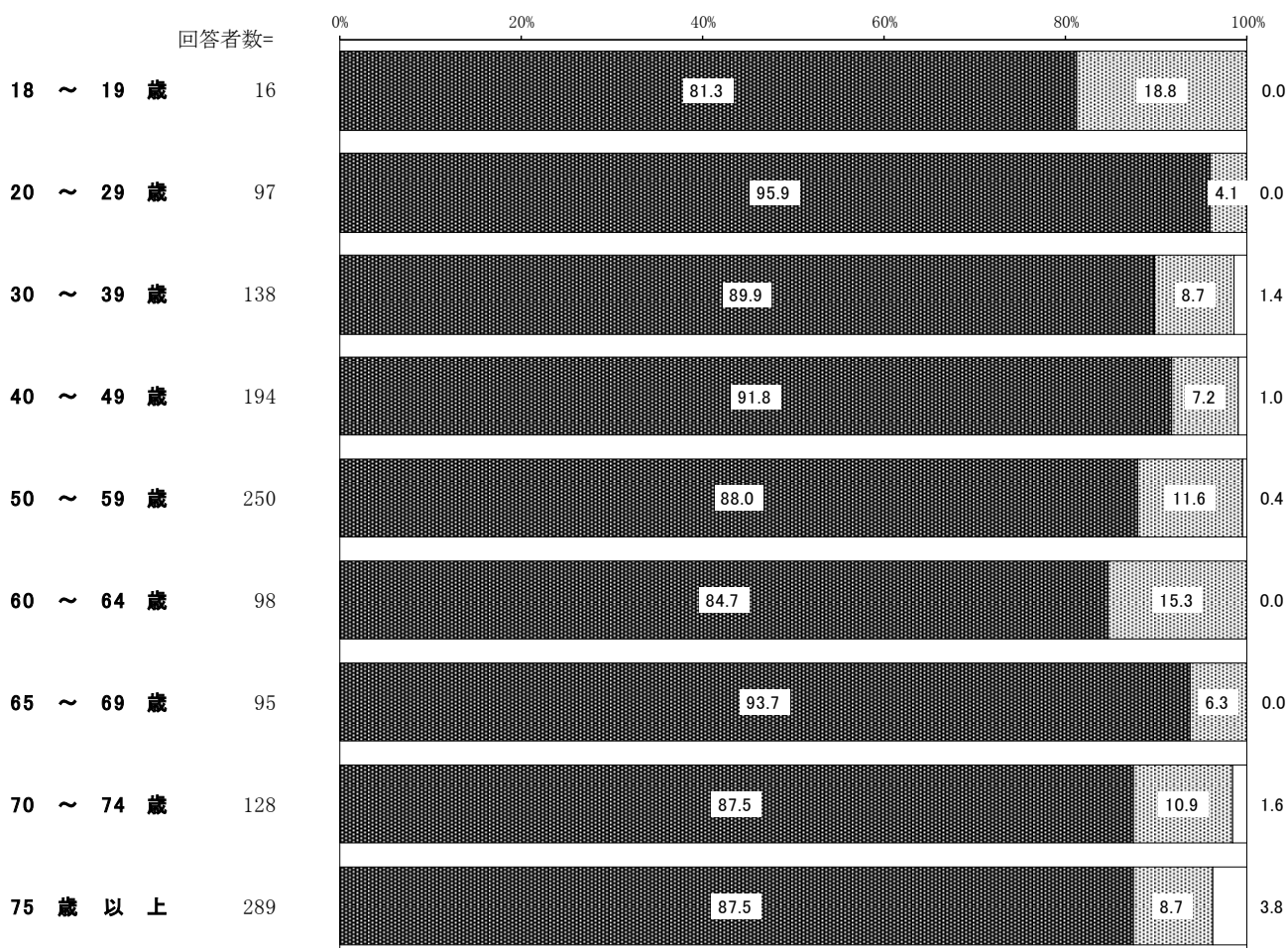
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「いる」の割合が高くなっています。



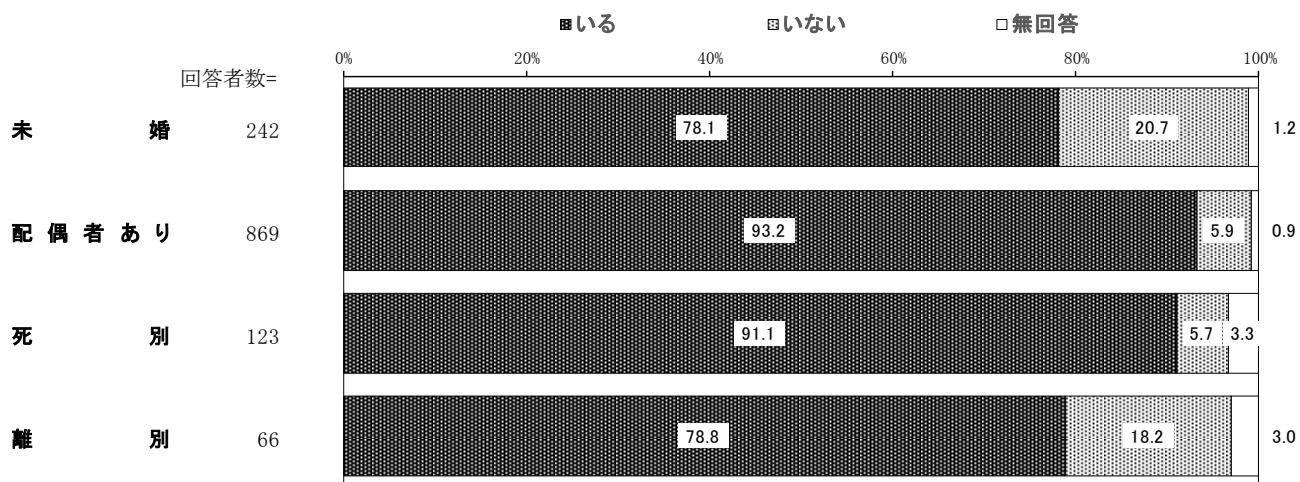
【年齢別】

20～29歳、65～69歳で「いる」の割合が高くなっています。また、18～19歳、60～64歳では「いない」の割合が高くなっています。



【婚姻状況別】

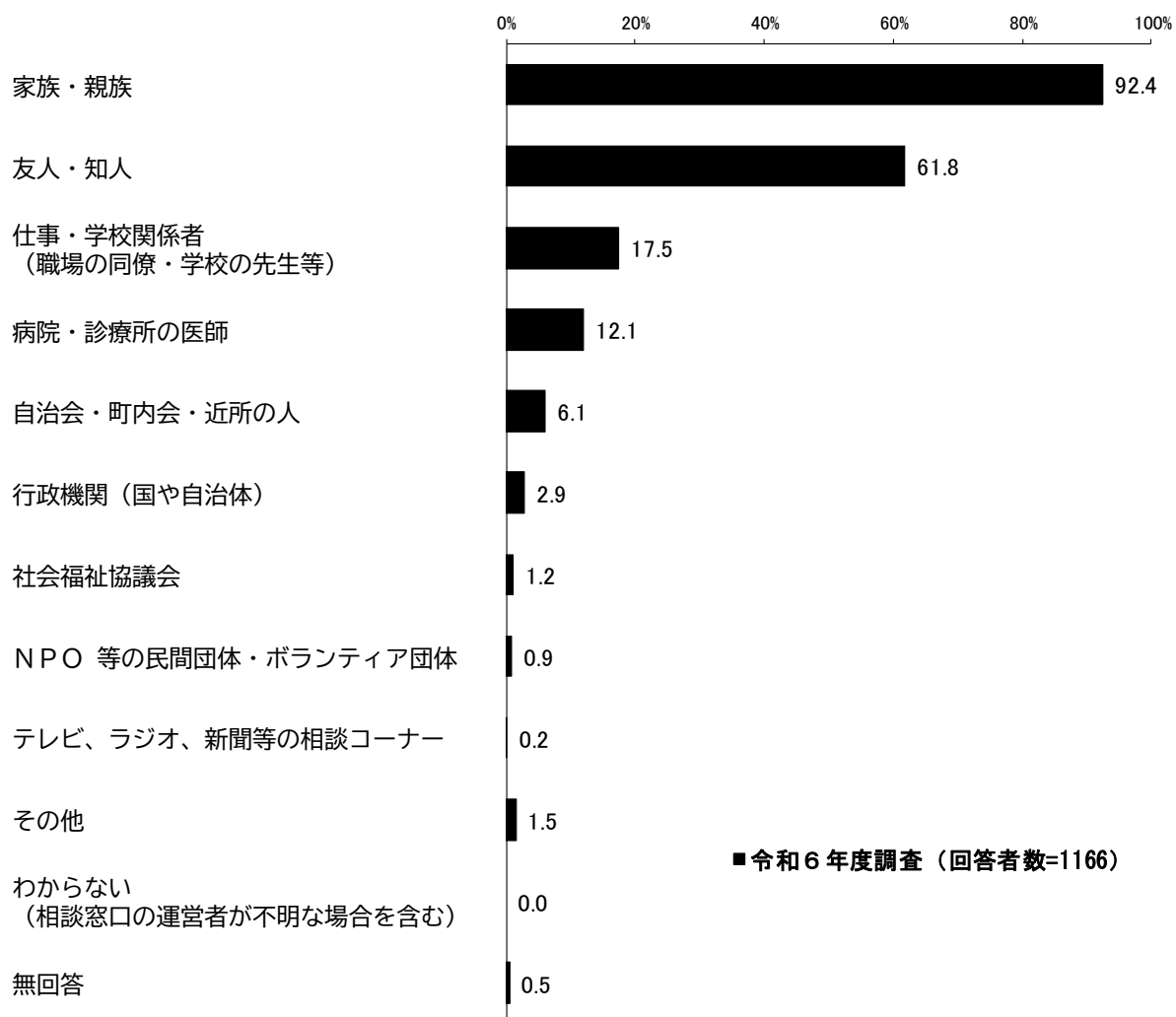
配偶者あり、死別で「いる」の割合が高くなっています。



問22. で「いる」とお答えの方に伺います

問22-1. あなたは誰に相談をしますか。(〇はいくつでも)

「家族・親族」の割合が92.4%と最も高く、次いで「友人・知人」の割合が61.8%となっています。





## 【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「友人・知人」「仕事・学校関係者（職場の同僚・学校の先生等）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	家族・親族	友人・知人	仕事・学校関係者(職場の同僚・学校の先生等)	病院・診療所の医師	自治会・町内会・近所の人	行政機関(国や自治体)	社会福祉協議会	団体	NPO等の民間団体・ボランティア	テレビ、ラジオ、新聞等の相談コーナー	その他	わからない(相談窓口の運営者が不明な場合を含む)	無回答
男性	454	91.6	51.1	15.6	11.9	6.4	2.9	0.9	1.3	0.2	1.5	-	0.7	
女性	710	93.0	68.6	18.7	12.3	5.9	3.0	1.4	0.6	0.1	1.4	-	0.4	

## 【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、18～19歳、20～29歳で「友人・知人」の割合が高くなっています。また、20～29歳、30～39歳、40～49歳で「仕事・学校関係者（職場の同僚・学校の先生等）」の割合が高くなっています。また、65～69歳、70～74歳、75歳以上で「病院・診療所の医師」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	家族・親族	友人・知人	仕事・学校関係者(職場の同僚・学校の先生等)	病院・診療所の医師	自治会・町内会・近所の人	行政機関(国や自治体)	社会福祉協議会	団体	NPO等の民間団体・ボランティア	テレビ、ラジオ、新聞等の相談コーナー	その他	わからない(相談窓口の運営者が不明な場合を含む)	無回答
18～19歳	13	92.3	76.9	7.7	7.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20～29歳	93	89.2	84.9	38.7	6.5	2.2	-	-	-	-	4.3	-	1.1	
30～39歳	124	93.5	69.4	27.4	4.8	3.2	0.8	0.8	0.8	-	2.4	-	-	
40～49歳	178	92.7	65.7	28.1	7.3	2.2	3.9	-	-	0.6	1.7	-	1.1	
50～59歳	220	88.6	63.2	24.5	10.9	3.2	1.8	0.9	0.5	-	0.5	-	-	
60～64歳	83	96.4	67.5	14.5	9.6	4.8	2.4	2.4	2.4	1.2	2.4	-	1.2	
65～69歳	89	93.3	59.6	10.1	18.0	5.6	5.6	3.4	1.1	-	-	-	-	
70～74歳	112	94.6	61.6	1.8	15.2	6.3	2.7	0.9	0.9	-	-	-	0.9	
75歳以上	253	93.7	43.9	2.4	19.8	15.0	4.7	2.0	1.6	-	1.6	-	0.4	

### 【婚姻状況別】

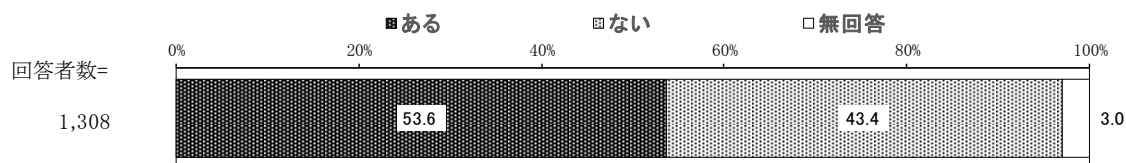
婚姻状況別で見ると、他に比べ、未婚で「友人・知人」「病院・診療所の医師」の割合が高くなっています。また、死別で「仕事・学校関係者（職場の同僚・学校の先生等）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	家族・親族	友人・知人	仕事・学校関係者(職場の同僚・学校の先生等)	病院・診療所の医師	自治会・町内会・近所の人	行政機関(国や自治体)	社会福祉協議会	NPO等の民間団体・ボランティア団体	テレビ、ラジオ、新聞等の相談コーナー	その他	わからない(相談窓口の運営者が不明な場合を含む)	無回答
未婚	189	86.2	76.7	3.7	25.9	1.6	-	1.6	10.1	0.5	3.2	-	0.5
配偶者あり	810	94.2	61.0	6.3	17.7	2.8	0.9	0.9	12.1	0.1	1.0	-	0.5
死別	112	90.2	44.6	10.7	4.5	5.4	1.8	2.7	12.5	-	1.8	-	0.9
離別	52	92.3	57.7	1.9	13.5	3.8	1.9	1.9	19.2	-	1.9	-	-

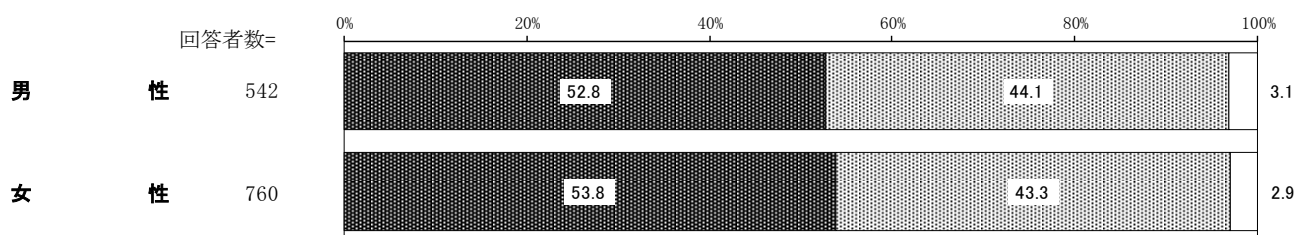
問23. あなたは、現在、日常生活において不安や悩みを感じていることはありますか。なお、すでに相談機関等に繋がっている場合も含まれます。（〇は1つだけ）

「ある」の割合が53.6%、「ない」の割合が43.4%となっています。



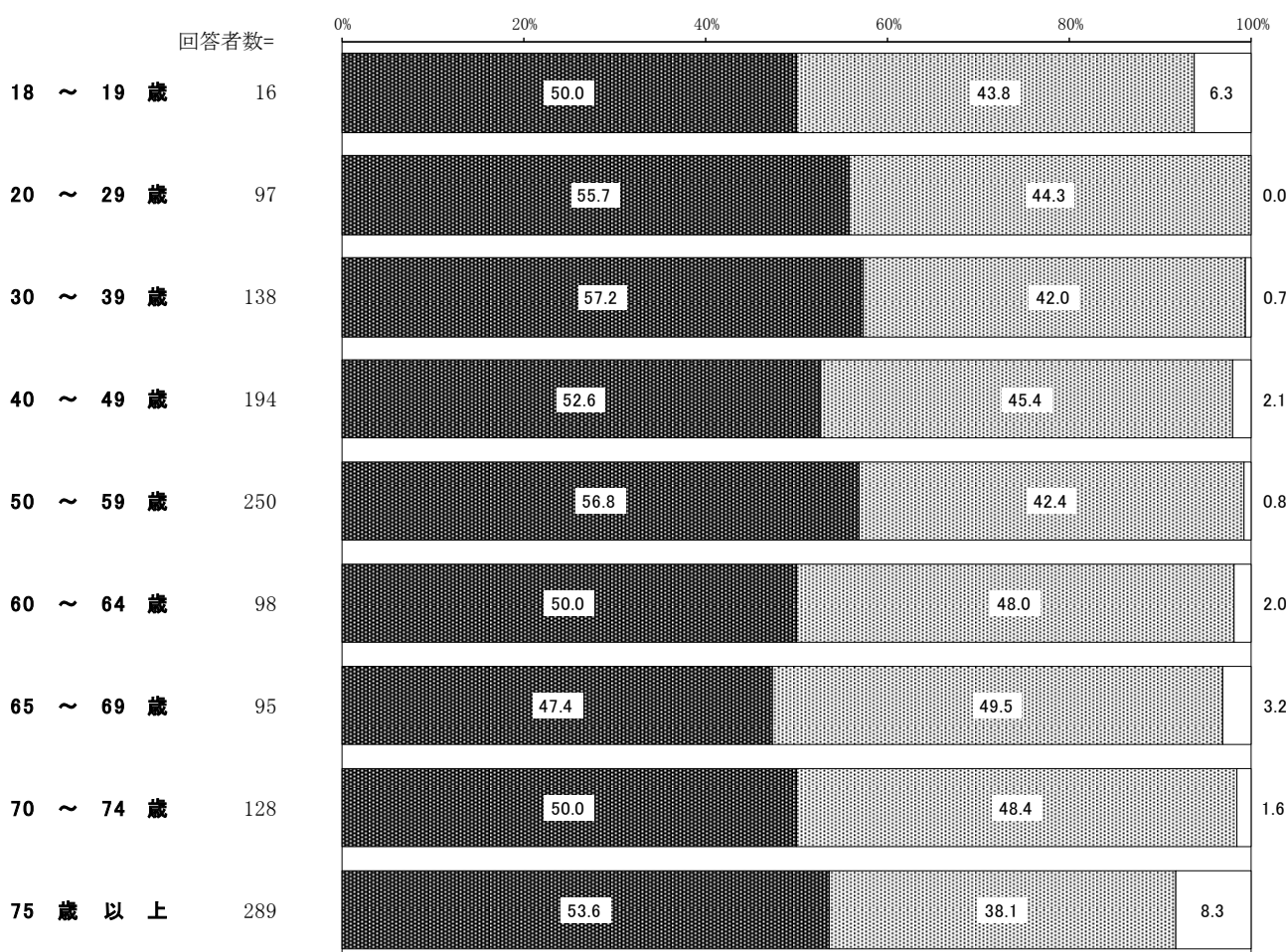
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



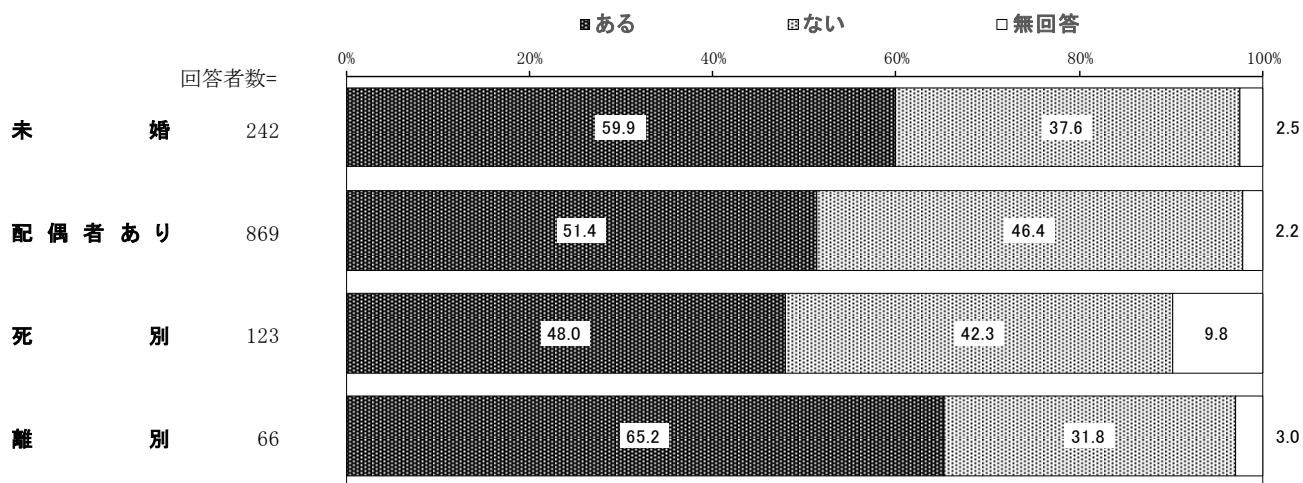
【年齢別】

年齢別でみると、20～29歳、30～39歳、50～59歳、75歳以上で「ある」の割合が高くなっています。



**【婚姻状況別】**

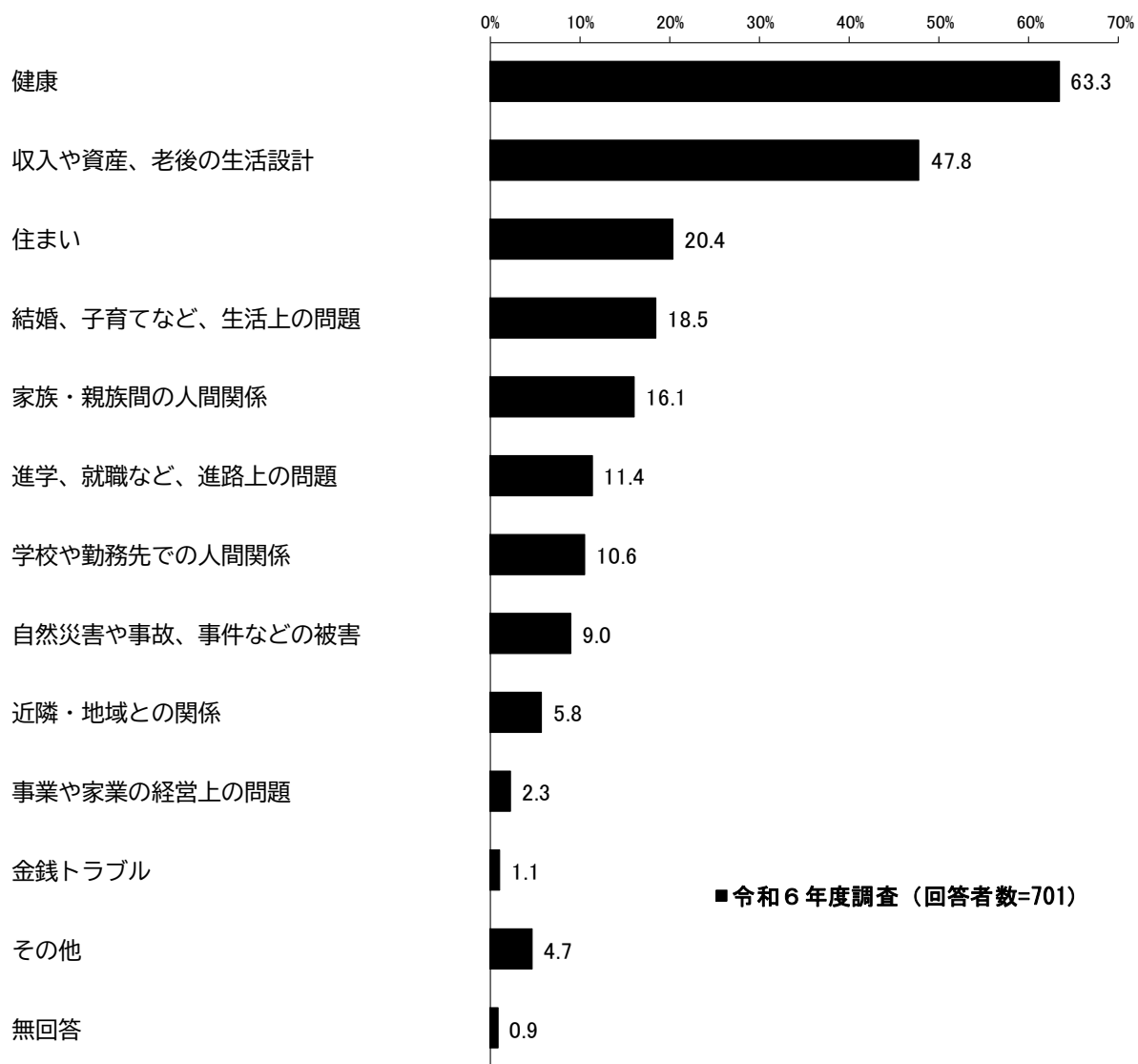
婚姻状況別でみると、未婚、離別で「ある」の割合が高くなっています。また、配偶者あり、死別では「ない」の割合が高くなっています。



問23. で「ある」とお答えの方に伺います

問23-1. 不安や悩みはどのような内容ですか。(〇はいくつでも)

「健康」の割合が 63.3%と最も高く、次いで「収入や資産、老後の生活設計」の割合が 47.8%となっています。



### 【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「結婚、子育てなど、生活上の問題」「家族・親族間での人間関係」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	健康	住まい	進学、就職など、進路上的の問題	結婚、子育てなど、生活上の問題	収入や資産、老後の生活設計	家族・親族間の人間関係	近隣・地域との関係	学校や勤務先での人間関係	事業や家業の経営上の問題	金銭トラブル	自然災害や事故、事件などの被害	その他	無回答
男性	286	65.7	20.6	10.8	15.0	49.0	12.6	5.2	10.1	3.1	1.0	9.4	3.8	0.7
女性	409	61.6	20.0	12.0	21.0	47.2	18.6	6.1	10.8	1.7	1.2	8.6	5.1	1.0

### 【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、20～29歳、30～39歳、40～49歳、50～59歳で「収入や資産、老後の生活設計」の割合が高くなっています。また、60～64歳、65～69歳、70～74歳、75歳以上で「健康」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	健康	住まい	進学、就職など、進路上的の問題	結婚、子育てなど、生活上の問題	収入や資産、老後の生活設計	家族・親族間の人間関係	近隣・地域との関係	学校や勤務先での人間関係	事業や家業の経営上の問題	金銭トラブル	自然災害や事故、事件などの被害	その他	無回答
18～19歳	8	25.0	-	100.0	25.0	37.5	-	12.5	50.0	-	-	12.5	-	-
20～29歳	54	25.9	14.8	25.9	37.0	42.6	13.0	1.9	27.8	-	1.9	1.9	1.9	3.7
30～39歳	79	48.1	17.7	19.0	55.7	57.0	16.5	5.1	16.5	1.3	3.8	7.6	1.3	-
40～49歳	102	52.9	24.5	26.5	37.3	58.8	20.6	10.8	17.6	7.8	2.9	7.8	5.9	-
50～59歳	142	64.8	28.2	9.2	12.0	68.3	19.0	5.6	11.3	1.4	-	7.0	8.5	-
60～64歳	49	65.3	12.2	-	6.1	55.1	20.4	2.0	8.2	-	-	6.1	8.2	-
65～69歳	45	75.6	20.0	6.7	4.4	53.3	24.4	4.4	-	2.2	2.2	17.8	4.4	-
70～74歳	64	75.0	34.4	-	4.7	40.6	12.5	6.3	4.7	1.6	-	10.9	4.7	-
75歳以上	155	83.2	11.6	-	0.6	19.4	10.3	5.8	0.6	1.9	-	12.3	1.9	2.6

【婚姻状況別】

婚姻状況別でみると、未婚、離別で「収入や資産、老後の生活設計」の割合が高くなっています。また、配偶者あり、死別では「健康」の割合が高くなっています。

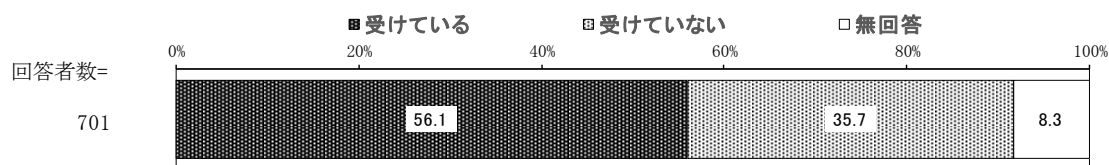
単位：％

区分	回答者数(件)	健康	住まい	進学、就職など、進路上的の問題	結婚、子育てなど、生活上の問題	収入や資産、老後の生活設計	家族・親族間の人間関係	近隣・地域との関係	学校や勤務先での人間関係	事業や家業の経営上の問題	金銭トラブル	自然災害や事故、事件などの被害	その他	無回答
未婚	145	54.5	24.8	23.4	22.1	55.9	13.1	6.9	22.1	2.8	2.8	9.0	4.8	1.4
配偶者あり	447	63.3	17.0	8.9	20.1	46.8	18.3	5.6	7.6	2.7	0.9	8.5	4.7	0.4
死別	59	91.5	20.3	1.7	3.4	22.0	8.5	6.8	3.4	-	-	13.6	1.7	1.7
離別	43	60.5	41.9	9.3	11.6	67.4	16.3	4.7	11.6	-	-	9.3	7.0	2.3

問23. で「ある」とお答えの方に伺います

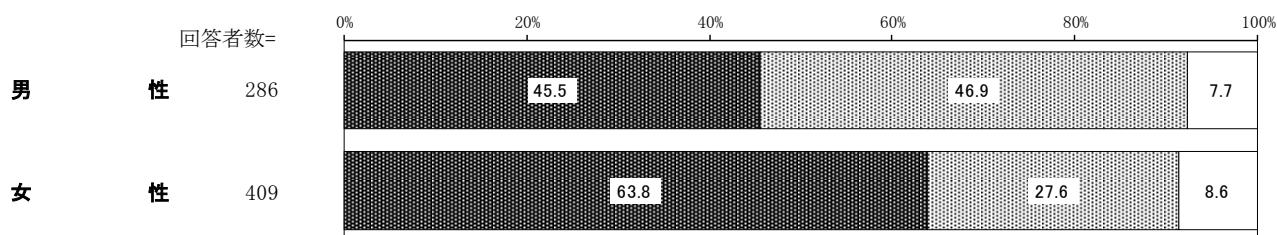
問23-2. 不安や悩みについて、家族・親族や友人・知人から、相談するなどの問題解決のための手助けを受けていますか。（〇はいくつでも）

「受けている」の割合が56.1%、「受けていない」の割合が35.7%となっています。



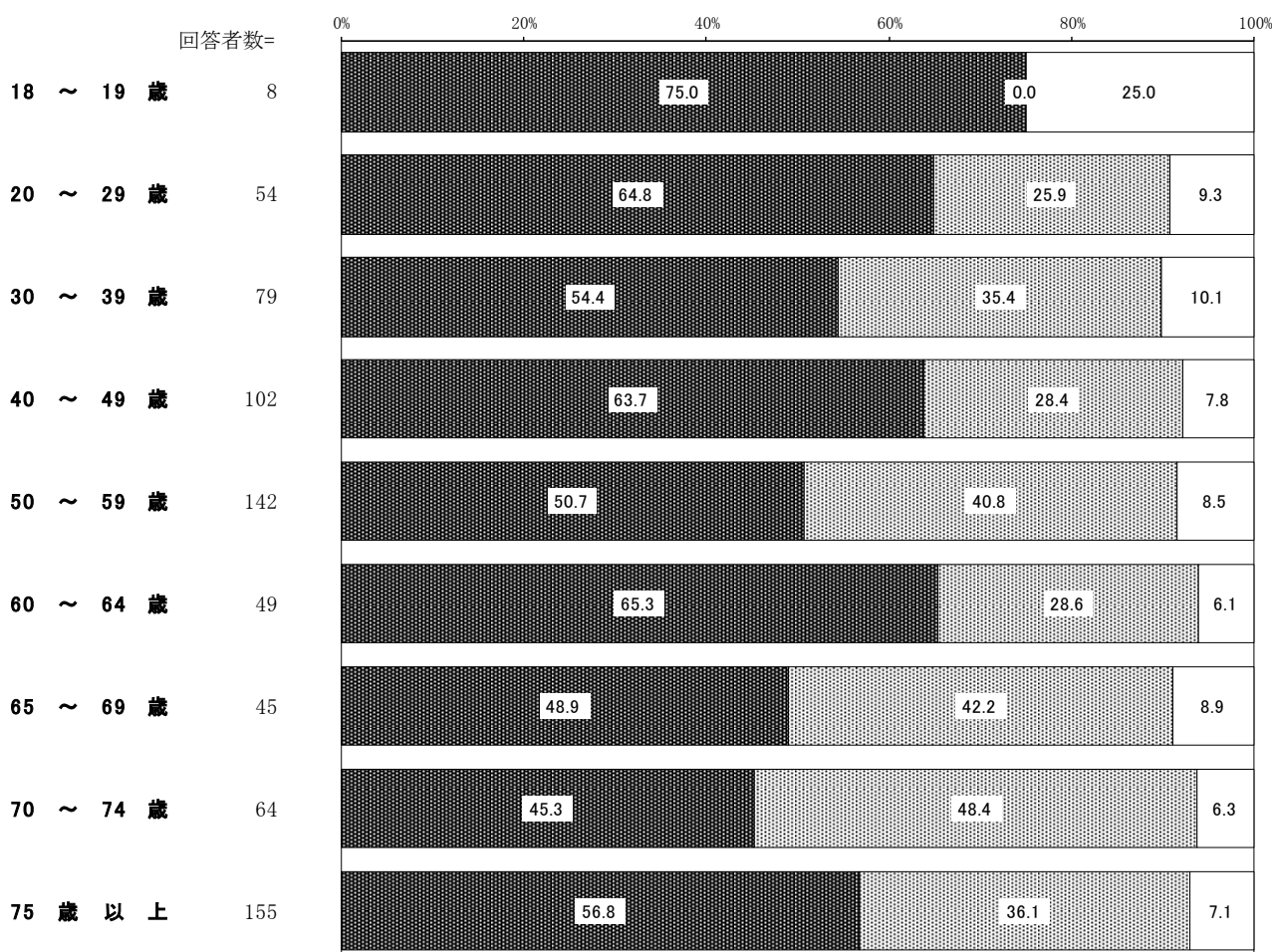
【性別】

性別でみると、男性に比べて、女性で「受けている」の割合が高くなっています。



【年齢別】

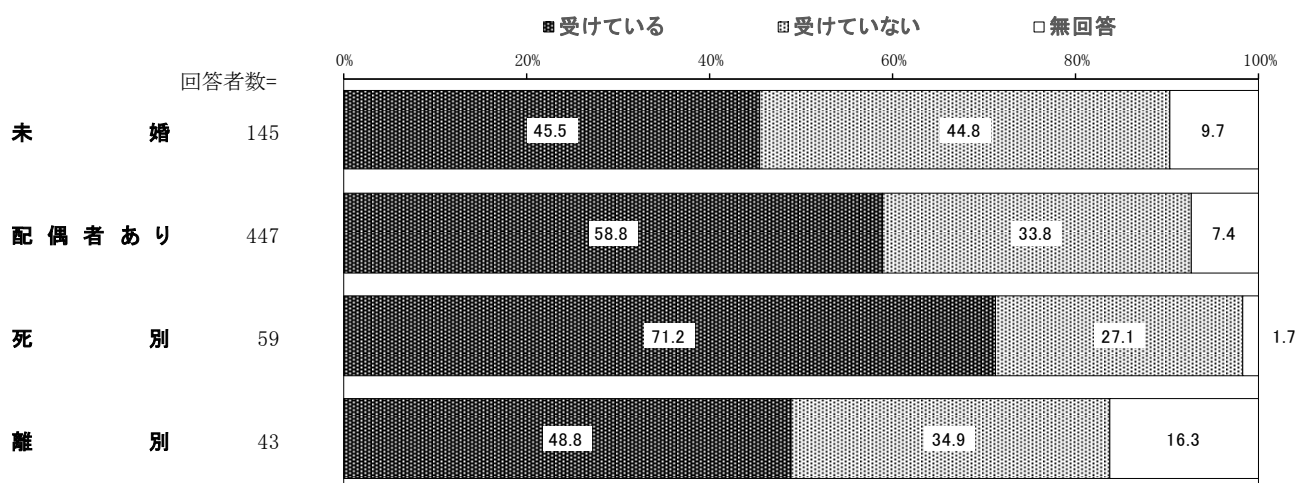
年齢別でみると、20～29歳、40～49歳、60～64歳で「受けている」の割合が高くなっています。





【婚姻状況別】

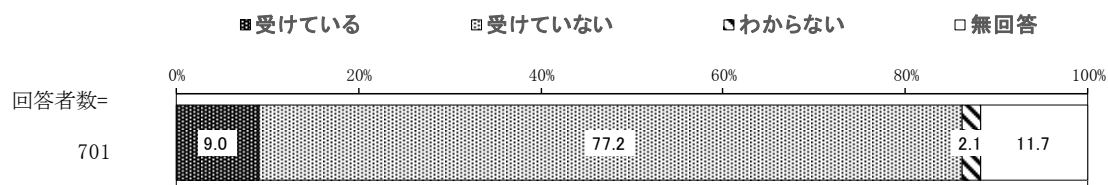
婚姻状況別でみると、配偶者あり、死別で「受けている」の割合が高くなっています。また、未婚、離別では「受けていない」の割合が高くなっています。



問23. で「いる」とお答えの方に伺います

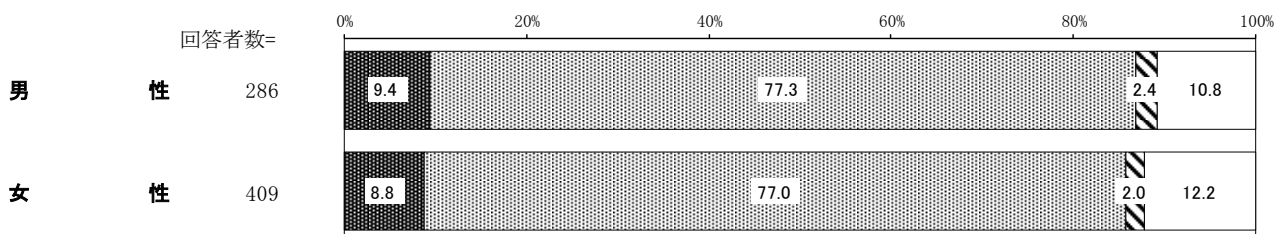
問24. あなたは問23-1. で回答した不安や悩みについて、行政機関やNPO等の民間団体から支援（対価を直接支払うものを除く。）を受けていますか。（○は1つだけ）

「受けている」の割合が9.0%、「受けていない」の割合が77.2%となっています。



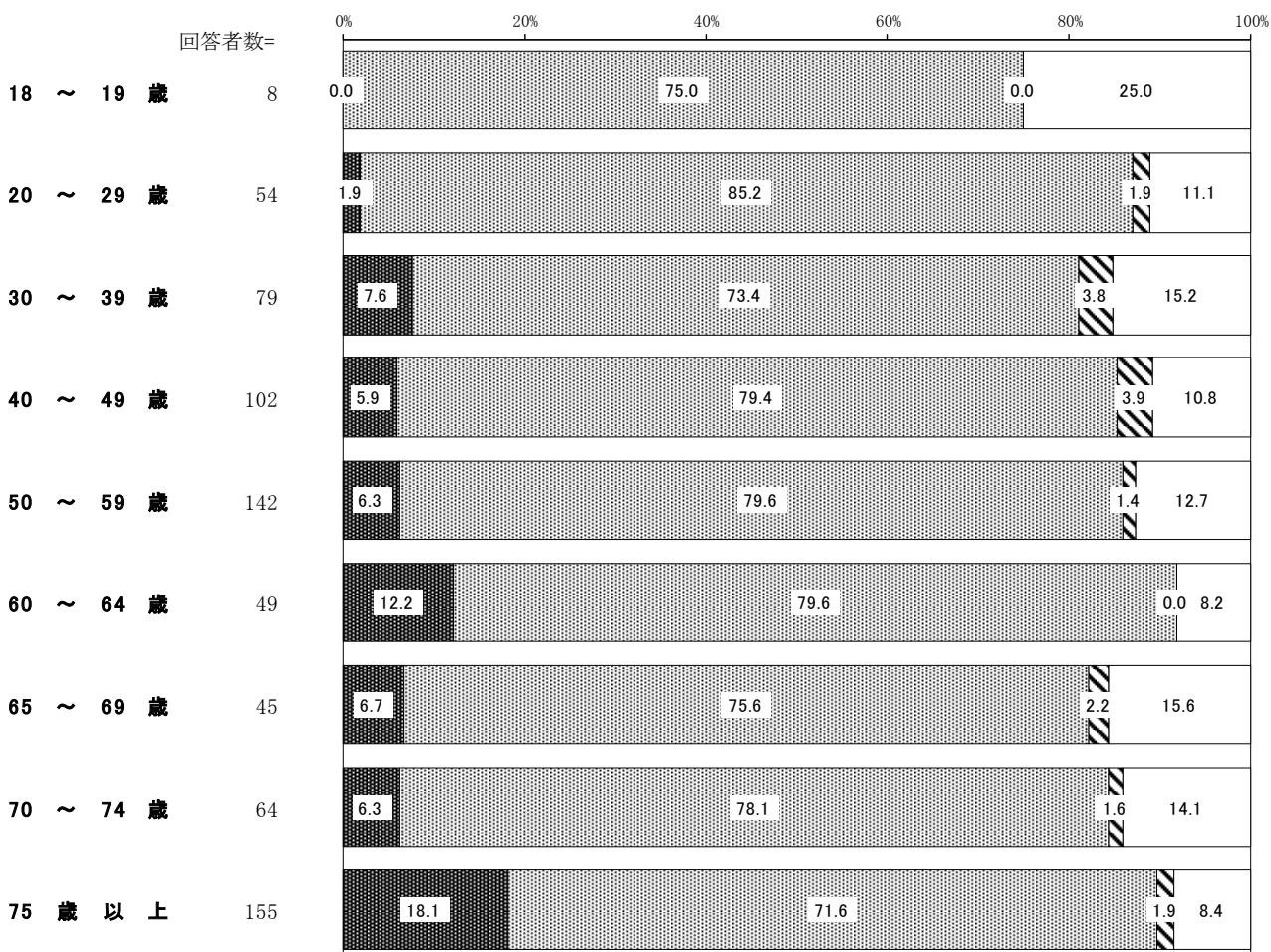
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



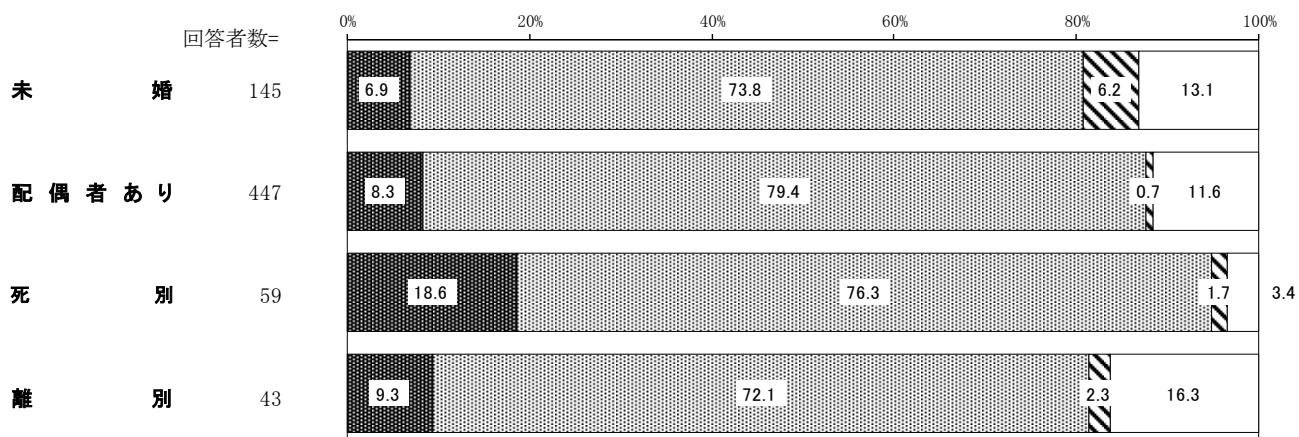
【年齢別】

60～64 歳、75 歳以上で「受けている」の割合が高くなっています。



【婚姻状況別】

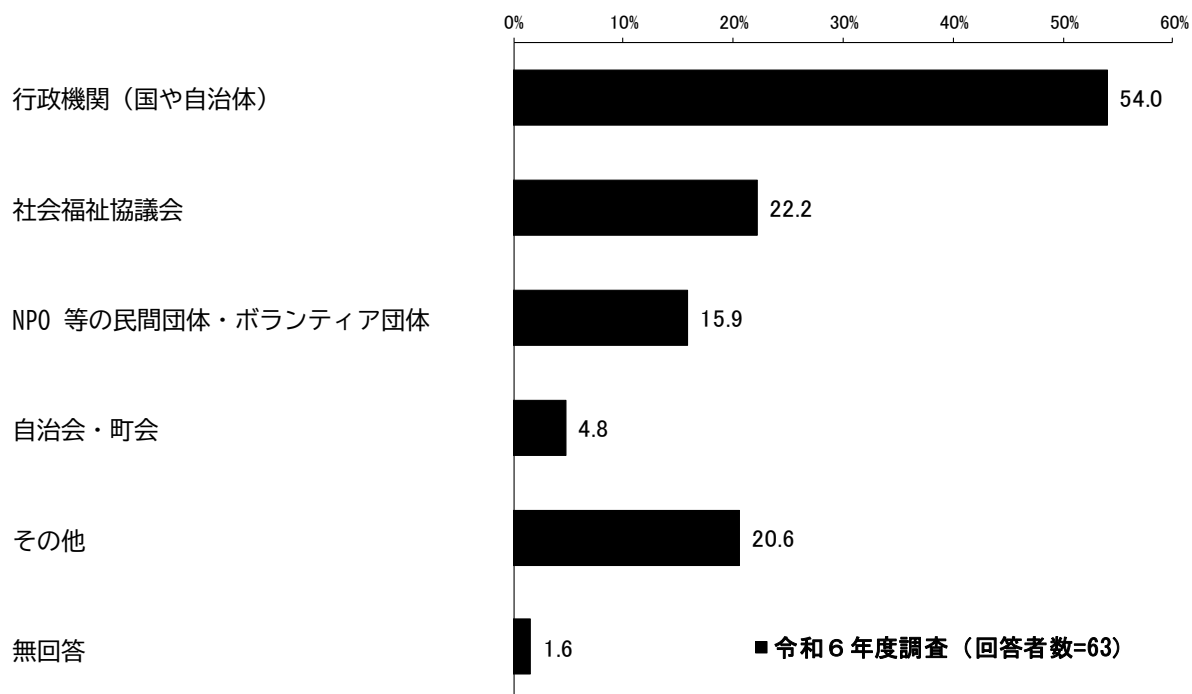
死別で「受けている」の割合が18.6%と高くなっています。



問24. で「受けている」とお答えの方に伺います

問24-1. あなたはどこから支援を受けていますか。(〇はいくつでも)

「行政機関（国や自治体）」の割合が 54.0%と最も高く、次いで「社会福祉協議会」の割合が 22.2%、「NPO 等の民間団体・ボランティア団体」が 15.9%となっています。



【性別】

性別でみると、女性に比べて、男性で「NPO 等の民間団体・ボランティア団体」の割合が高くなっています。

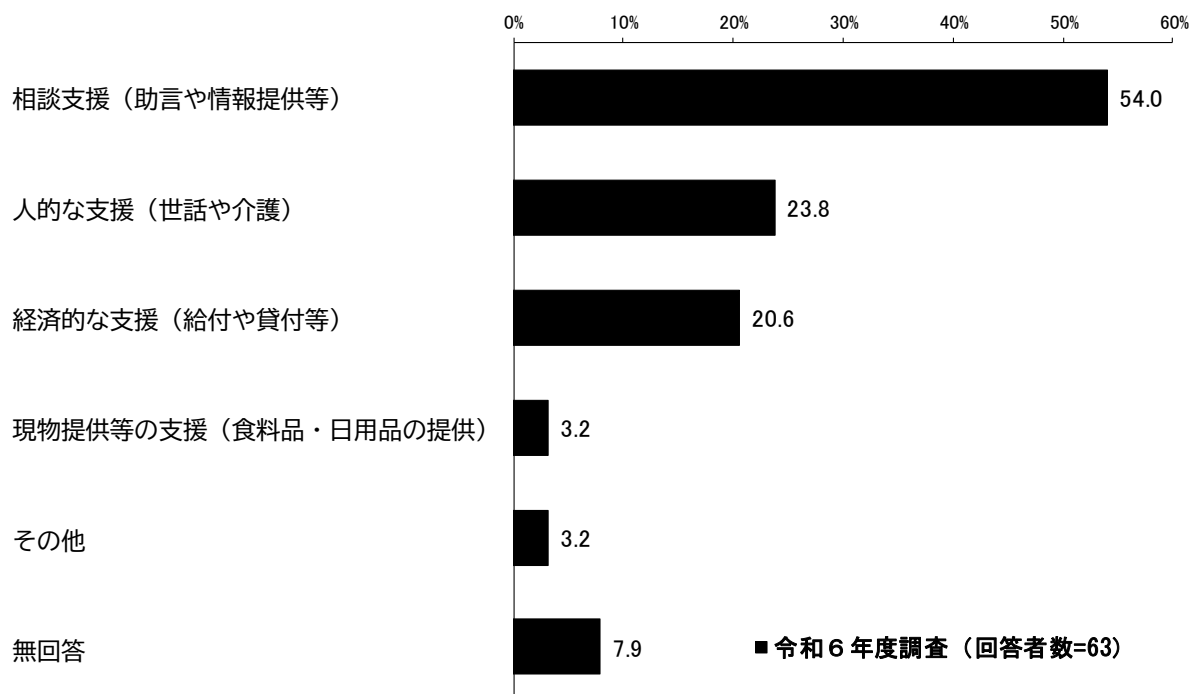
単位：%

区分	回答者数(件)	行政機関(国や自治体)	社会福祉協議会	NPO等の民間団体・ボランティア団体	自治会・町会	その他	無回答
男性	27	51.9	22.2	18.5	7.4	14.8	-
女性	36	55.6	22.2	13.9	2.8	25.0	2.8

問24. で「受けている」とお答えの方に伺います

問24-2. あなたはどのような支援を受けていますか。（〇はいくつでも）

「相談支援」の割合が 54.0%と最も高く、次いで「人的な支援（世話や介護）」の割合が 23.8%、「経済的な支援（給付や貸付等）」が 20.6%となっています。



【性別】

性別でみると、女性に比べて、男性で「人的な支援（世話や介護）」「経済的な支援（給付や貸付等）」の割合が高くなっています。

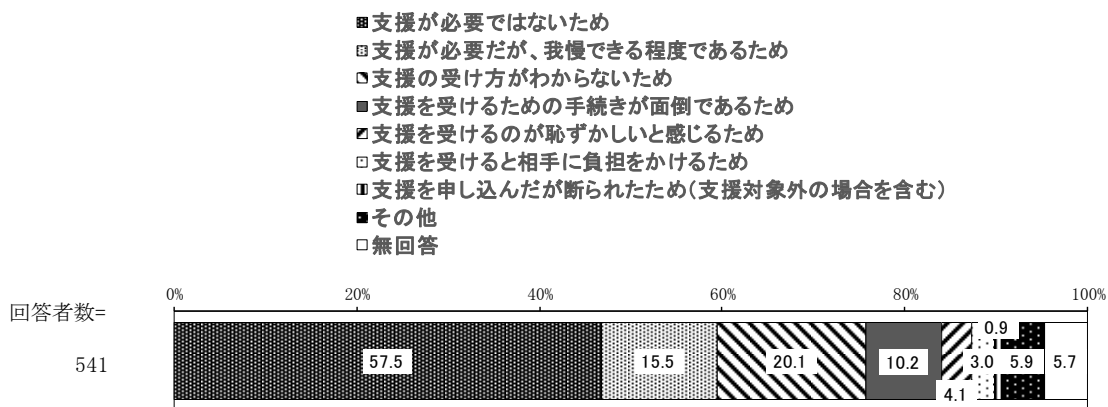
単位：%

区分	回答者数(件)	相談支援(助言や情報提供等)	人的な支援(世話や介護)	経済的な支援(給付や貸付等)	現物提供等の支援(食料品・日用品の提供)	その他	無回答
男性	27	51.9	33.3	29.6	-	-	-
女性	36	55.6	16.7	13.9	5.6	5.6	13.9

問24. で「受けていない」とお答えの方に伺います

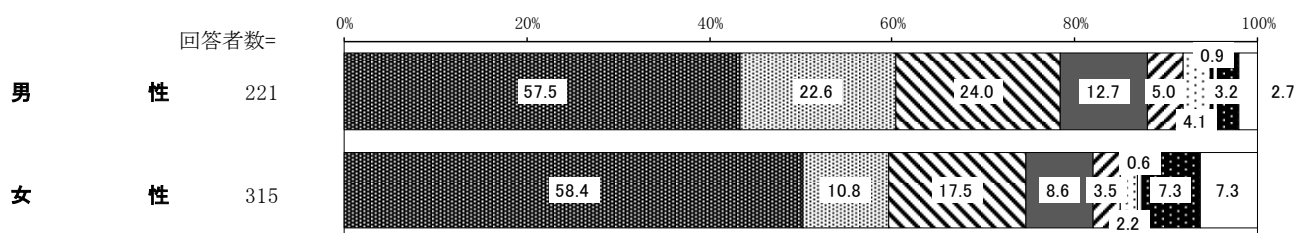
問24-3. その理由をお答えください。(〇はいくつでも)

「支援が必要ではないため」の割合が 57.5%と最も高く、次いで「支援の受け方がわからないため」の割合が 20.1%、「支援が必要だが、我慢できる程度であるため」が 15.5%となっています。



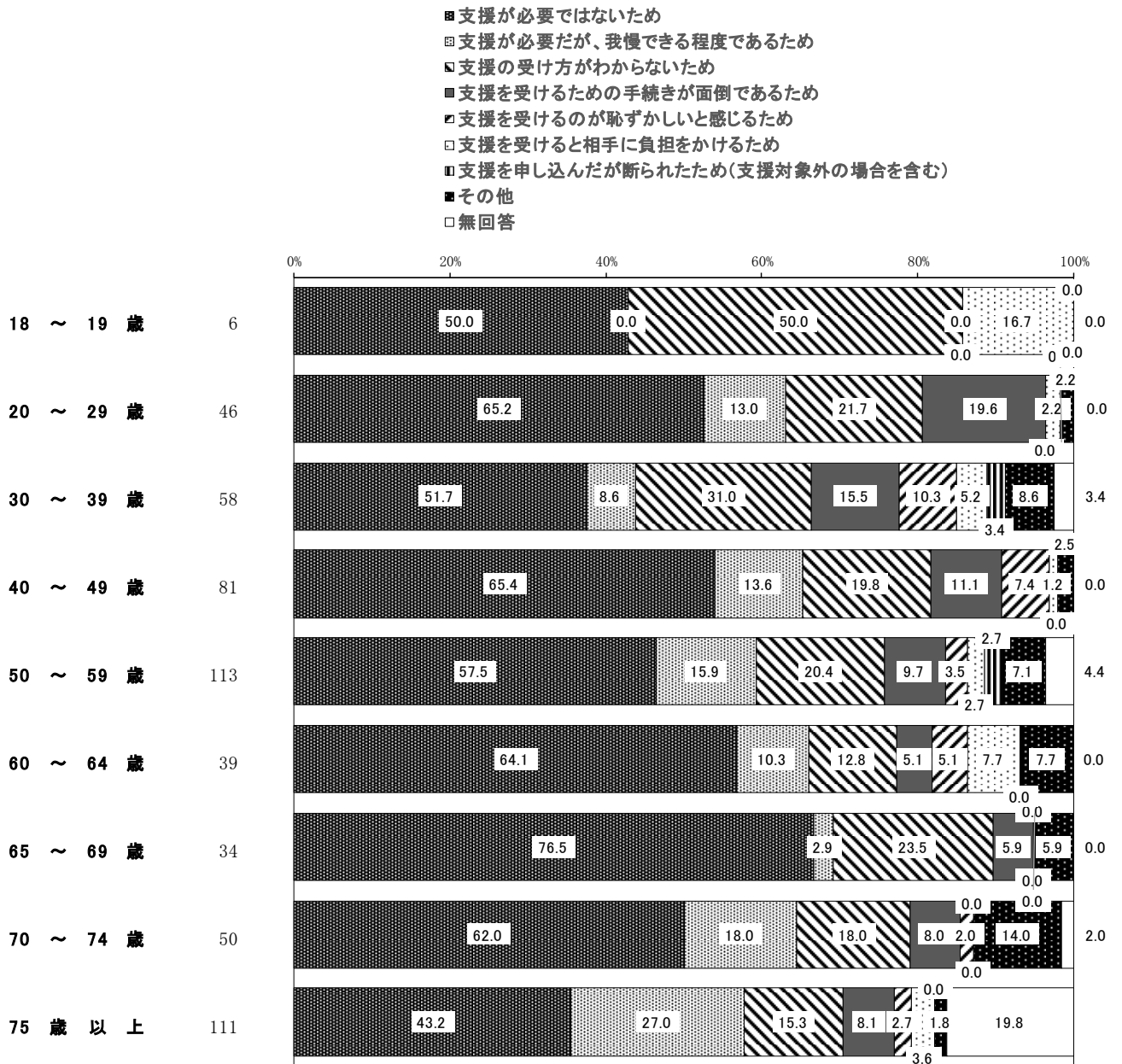
【性別】

性別でみると、女性に比べて、男性で「支援が必要だが、我慢できる程度であるため」「支援の受け方がわからないため」の割合が高くなっています。



【年齢別】

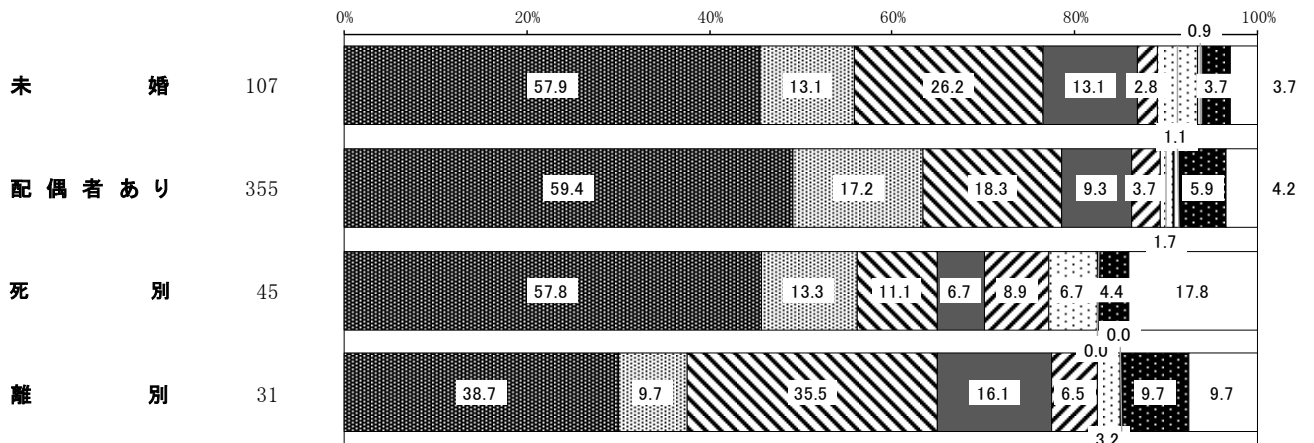
65～69歳で「支援が必要ではないため」の割合が高くなっています。また、30～39歳、65～69歳で「支援の受け方がわからないため」の割合が高くなっています。



【婚姻状況別】

未婚、離別で「支援の受け方がわからないため」の割合が高くなっています。また、配偶者ありでは「支援が必要だが、我慢できる程度であるため」の割合が高くなっています。

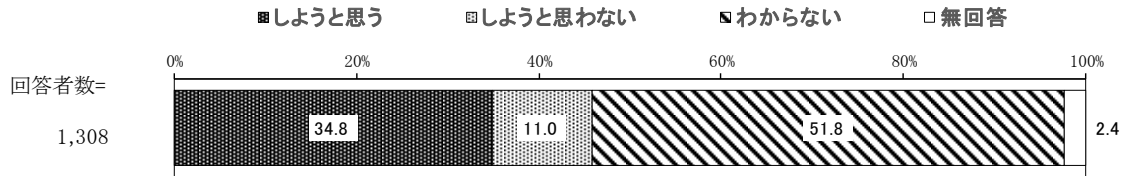
- 支援が必要ではないため
- ▣ 支援が必要だが、我慢できる程度であるため
- ▨ 支援の受け方がわからないため
- 支援を受けるための手続きが面倒であるため
- ▨ 支援を受けるのが恥ずかしいと感じるため
- 支援を受けると相手に負担をかけるため
- 支援を申し込んだが断られたため(支援対象外の場合を含む)
- その他
- 無回答





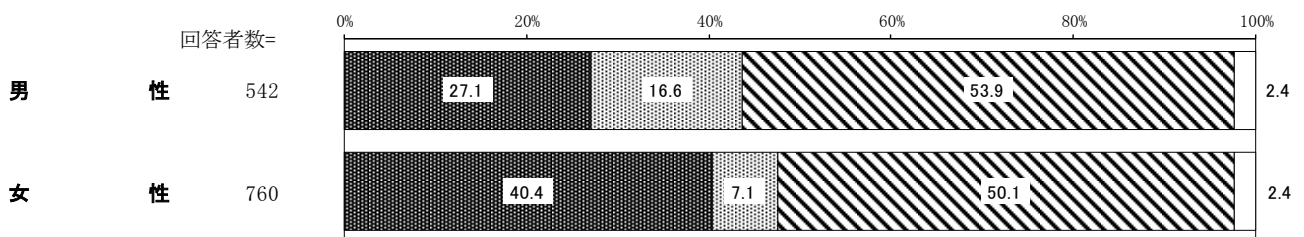
問25. あなたは、周りに不安や悩みを抱えている人がいたら、積極的に声掛けや手助けをしようと思いますか。(〇は1つだけ)

「わからない」の割合が51.8%と最も高く、次いで「しようと思う」の割合が34.8%、「しようと思わない」の割合が11.0%となっています。



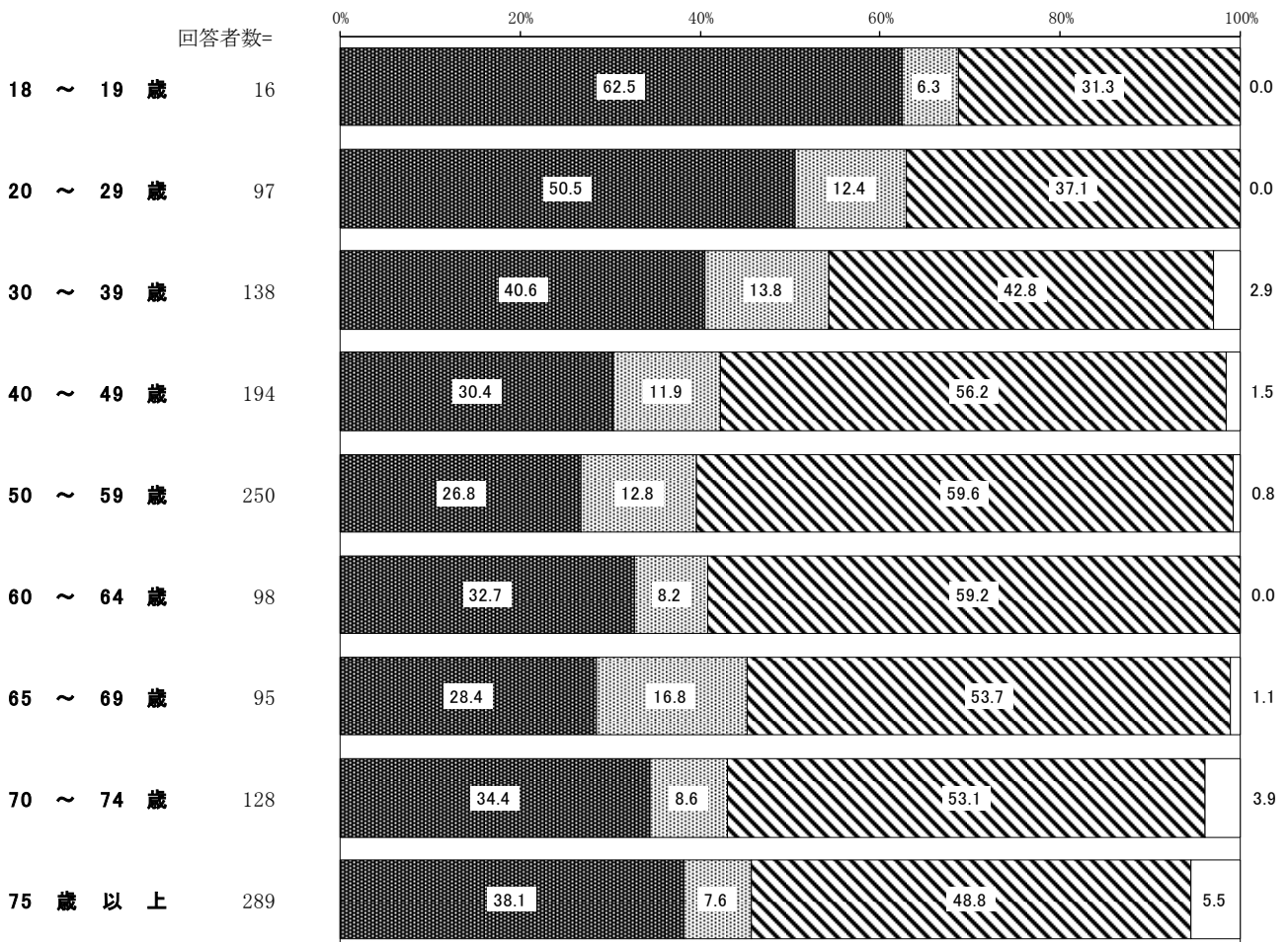
【性別】

性別でみると、男性に比べて、女性で「しようと思う」の割合が高くなっています。



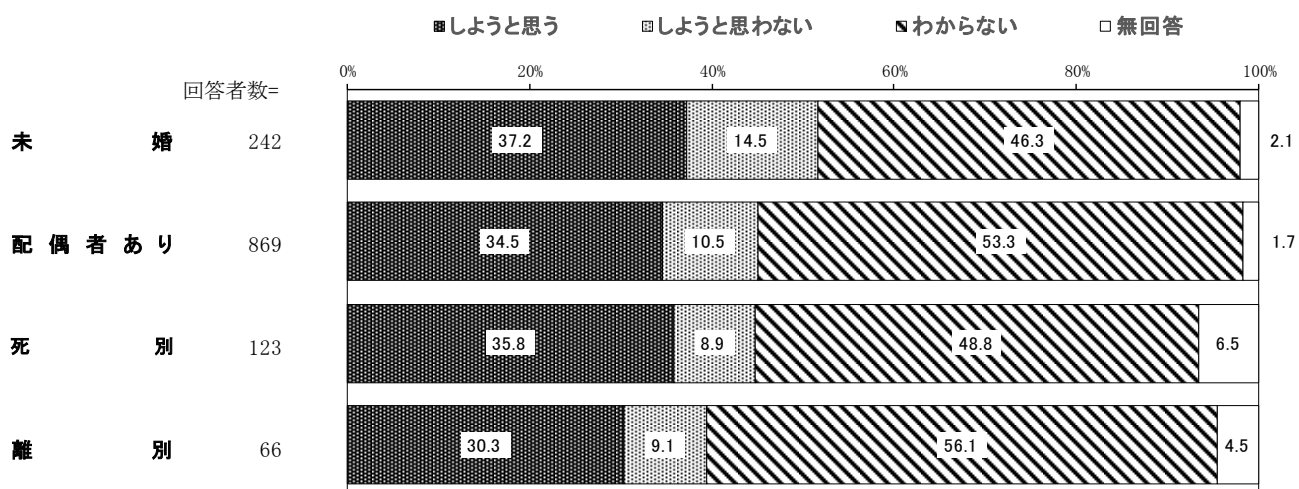
【年齢別】

18～19歳、20～29歳で「しようと思う」の割合が高くなっています。また、65～69歳で「しようと思わない」の割合が高くなっています。



【婚姻状況別】

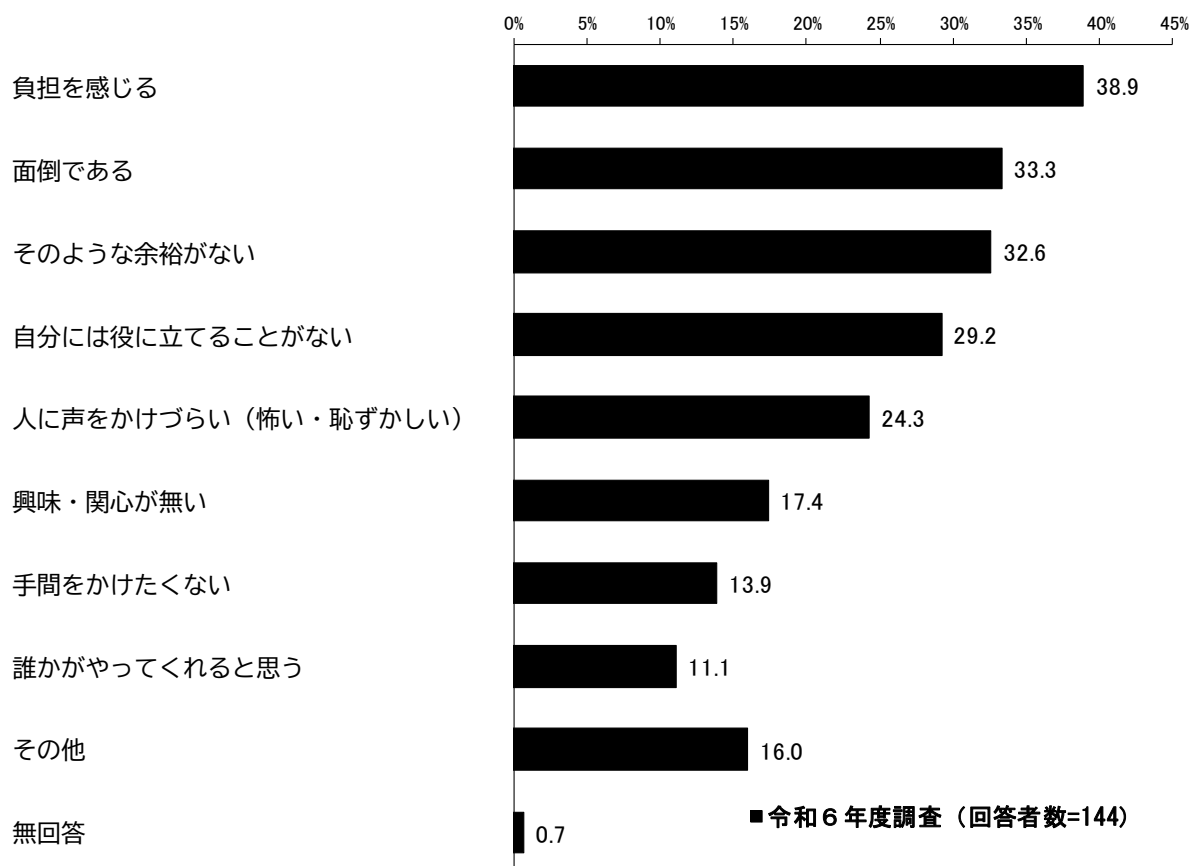
未婚で「しよと思わない」の割合が高くなっています。



問25. で「しようと思わない」とお答えの方に伺います

問25-1. その理由をお答えください。（〇はいくつでも）

「負担を感じる」の割合が 38.9%と最も高く、次いで「面倒である」の割合が 33.3%、「そのような余裕がない」が 32.6%となっています。



【性別】

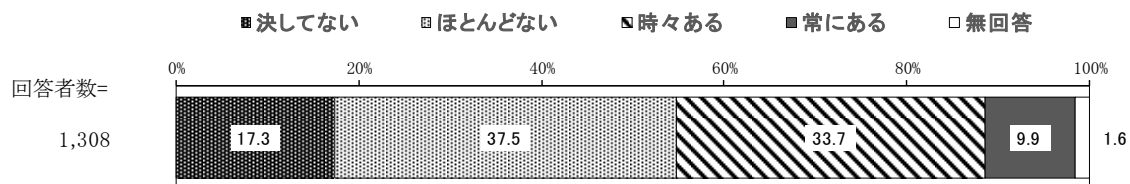
性別でみると、女性に比べて、男性で「負担を感じる」「面倒である」「手間をかけたくない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	負担を感じる	面倒である	そのような余裕がない	自分には役に立てることがない	人に声をかけづらい (怖い・恥ずかしい)	興味・関心が無い	手間をかけたくない	誰かがやってくれると思う	その他	無回答
男性	90	42.2	38.9	32.2	28.9	23.3	18.9	16.7	10.0	13.3	-
女性	54	33.3	24.1	33.3	29.6	25.9	14.8	9.3	13.0	20.4	1.9

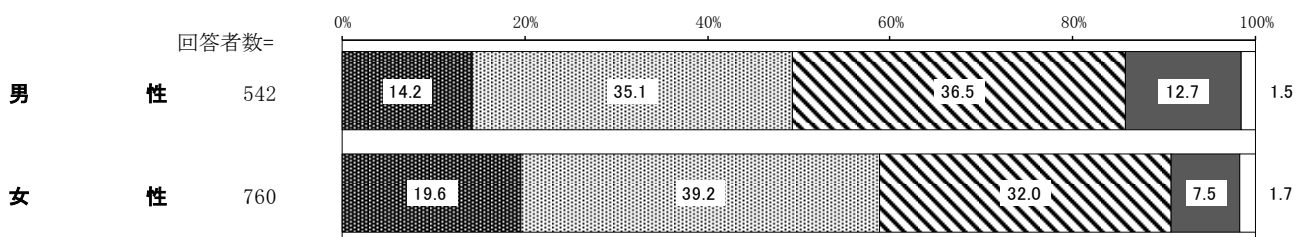
問26. あなたは、自分には人とのつきあいが無いと感じることがありますか。(〇は1つだけ)

「決してない」と「ほとんどない」を合わせた“ない”の割合が54.8%、「時々ある」「常にある」を足した“ある”の割合が43.6%となっています。



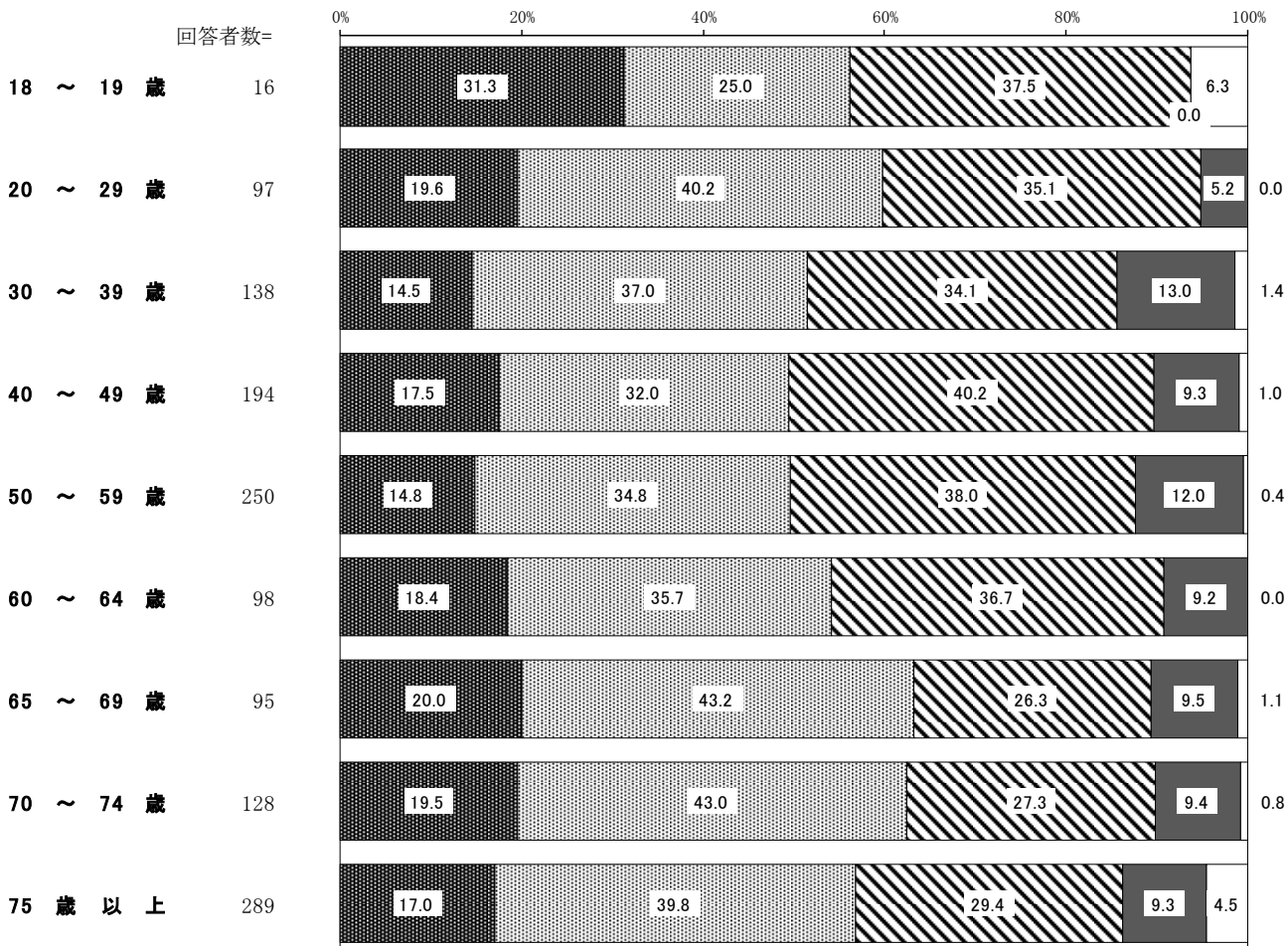
【性別】

性別でみると、男性に比べて、女性で“ない”の割合が高くなっています。



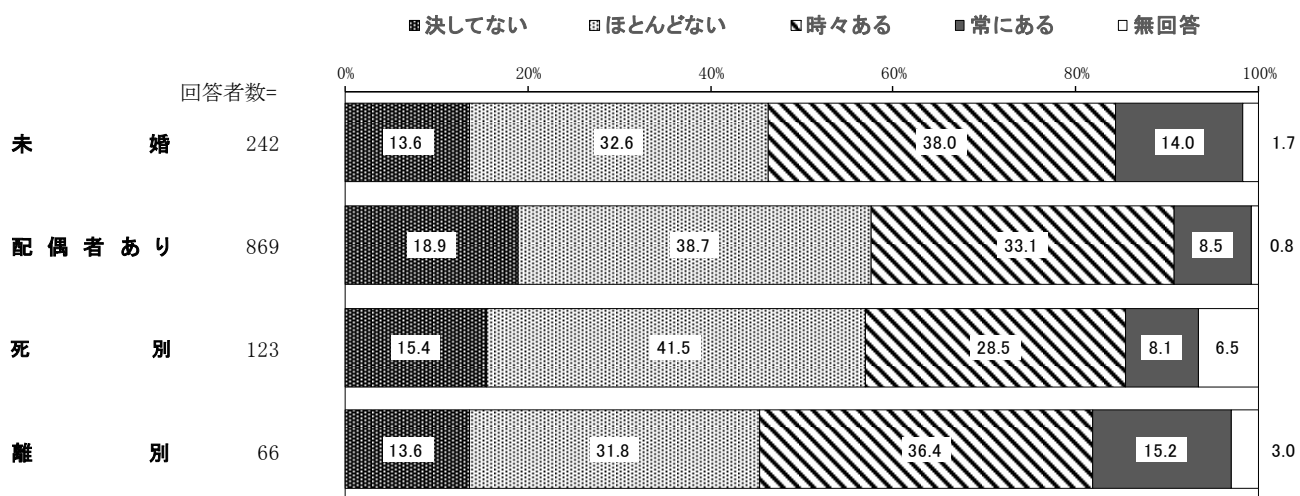
【年齢別】

年齢別でみると、20～29歳、65～69歳、70～74歳で“ない”の割合が高くなっています。



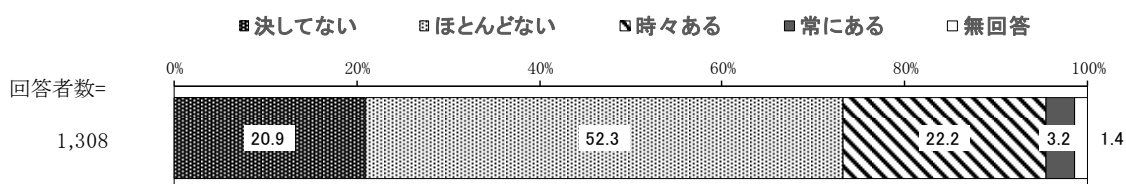
【婚姻状況別】

配偶者あり、死別で“ない”の割合が高くなっています。



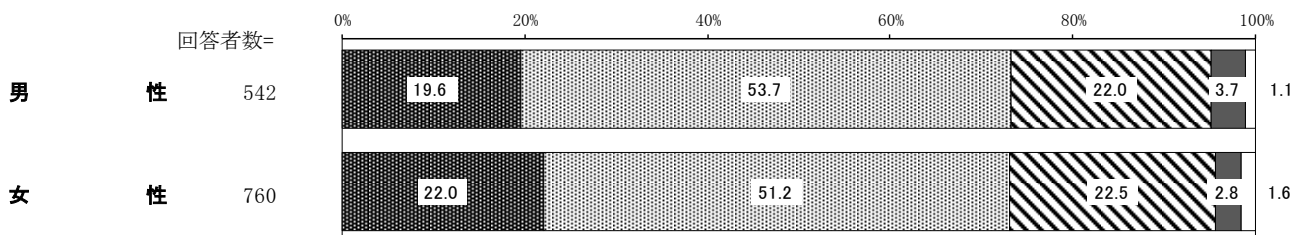
問27. あなたは、自分は取り残されていると感じることがありますか。(○は1つだけ)

「決してない」と「ほとんどない」を合わせた“ない”の割合が73.2%、「時々ある」「常にある」を足した“ある”の割合が25.4%となっています。



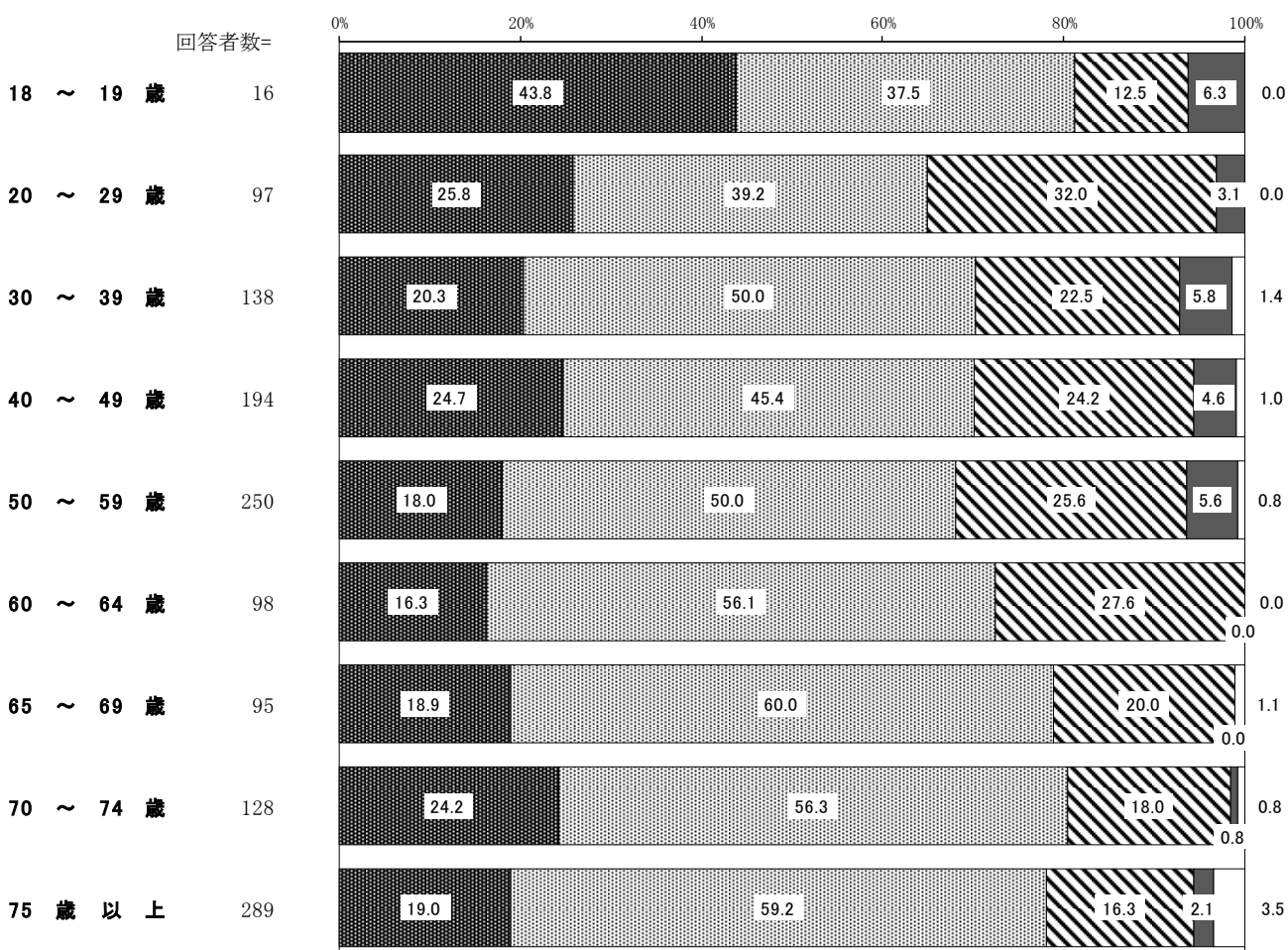
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



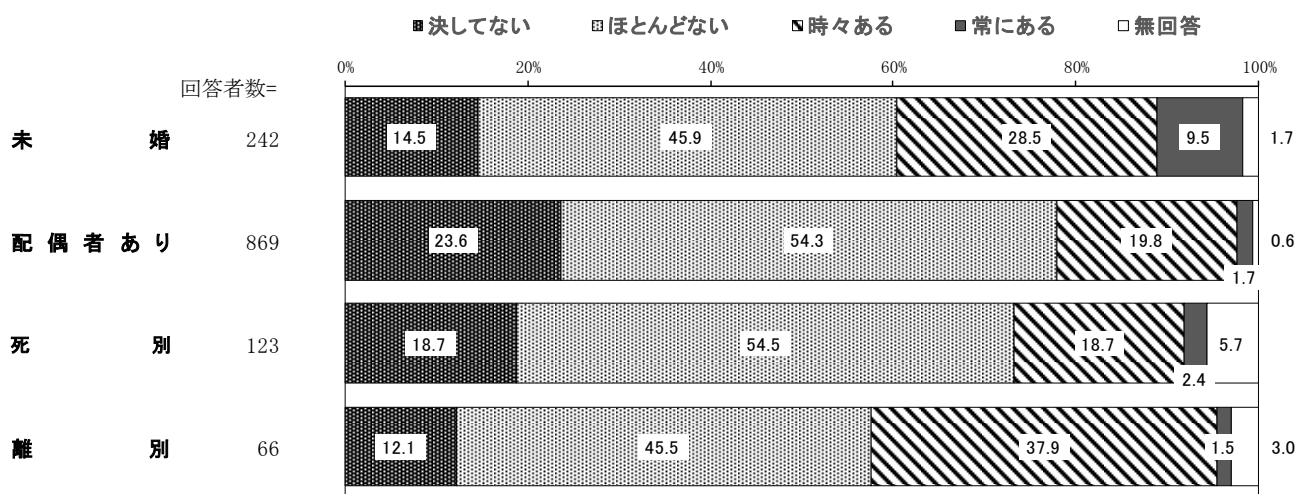
【年齢別】

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれ“ない”の割合が高くなっています。



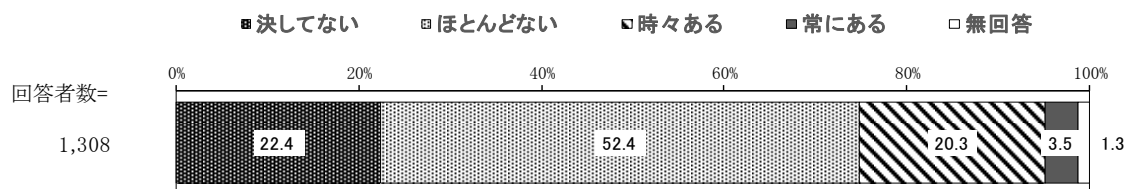
【婚姻状況別】

配偶者あり、死別で“ない”の割合が高くなっています。



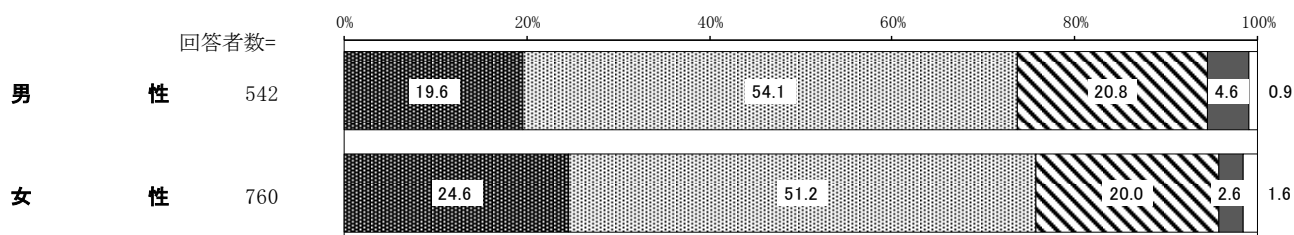
問28. あなたは、自分は他の人たちから孤立していると感じることがありますか。(〇は1つだけ)

「決してない」と「ほとんどない」を合わせた“ない”の割合が74.8%、「時々ある」「常にある」を足した“ある”の割合が23.8%となっています。



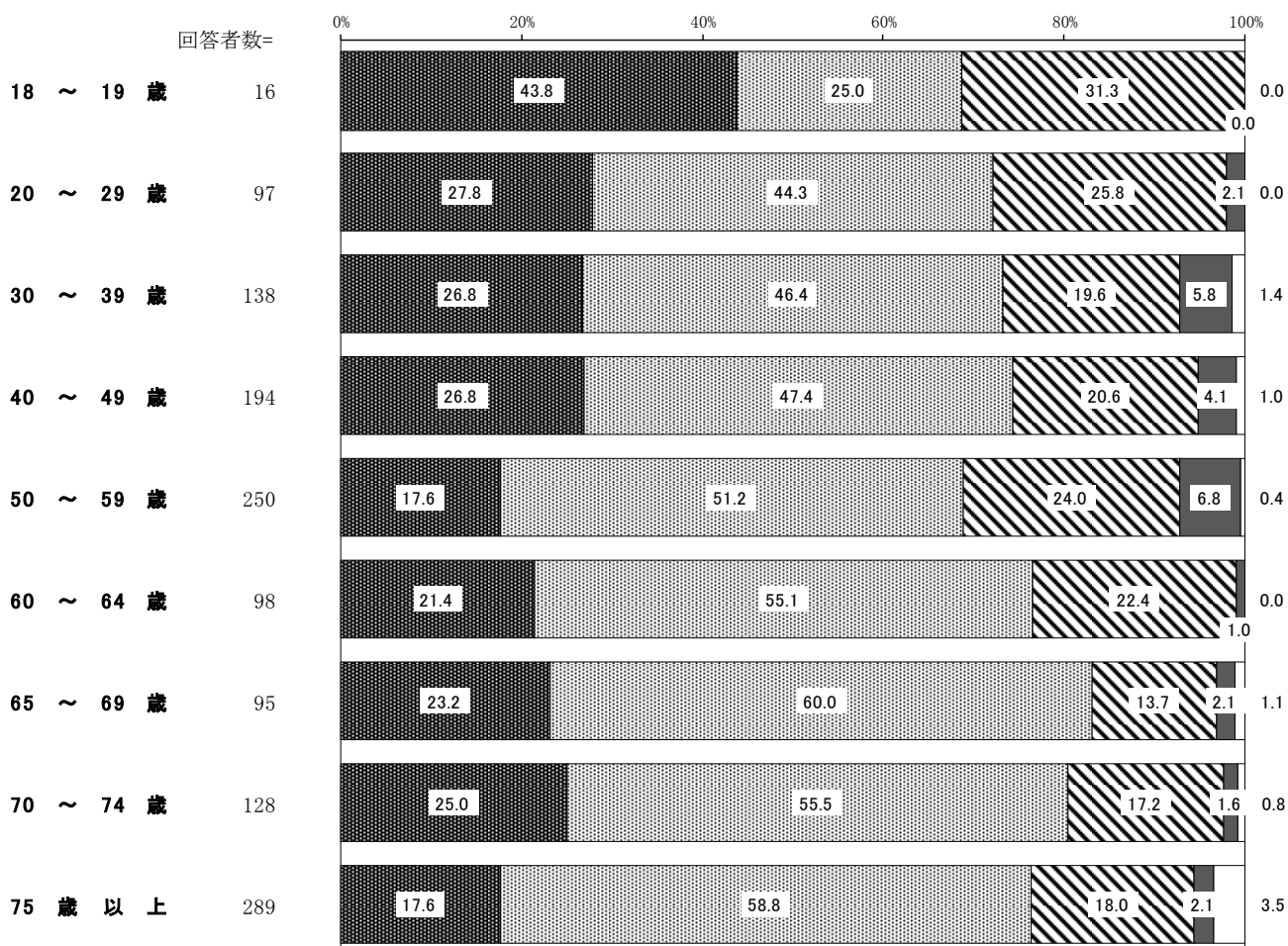
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



【年齢別】

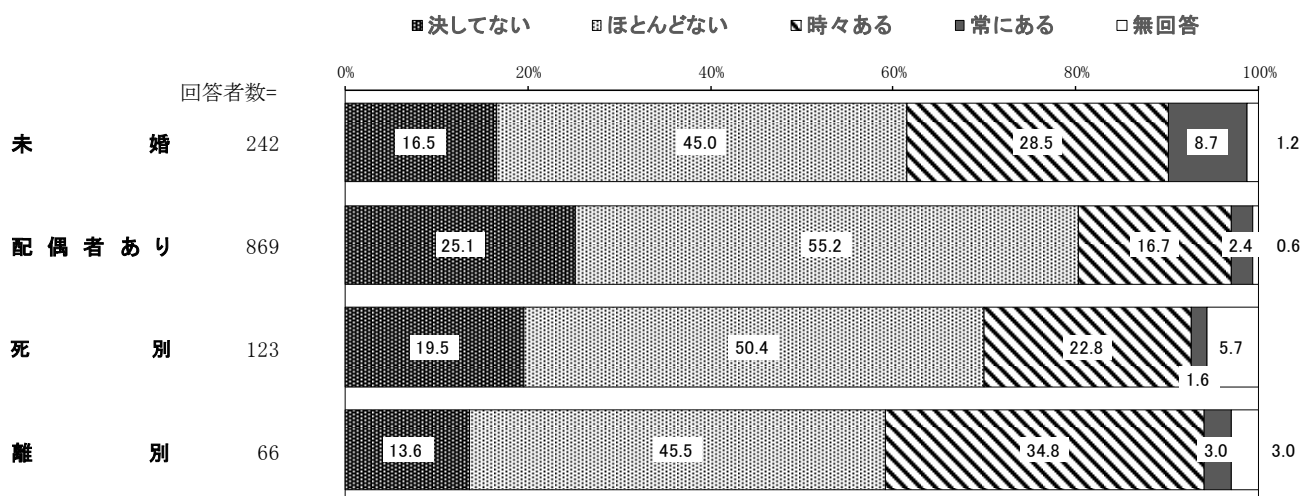
年齢別でみると、年齢が高くなるにつれ“ない”の割合が高くなっています。





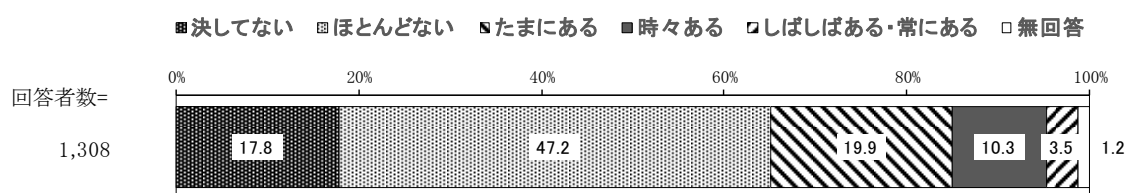
【婚姻状況別】

配偶者あり、死別で“ない”の割合が高くなっています。



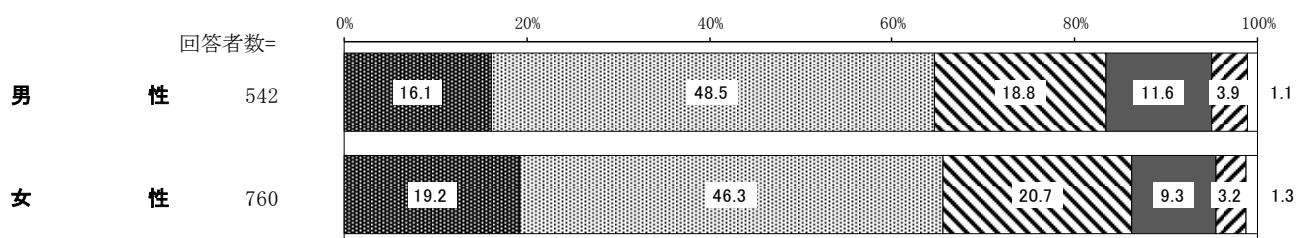
問29. あなたは、どの程度、孤独であると感じることがありますか。（○は1つだけ）

「決してない」と「ほとんどない」を合わせた“ない”の割合が65.0%、「たまにある」「時々ある」「しばしばある・常にある」を足した“ある”の割合が33.7%となっています。



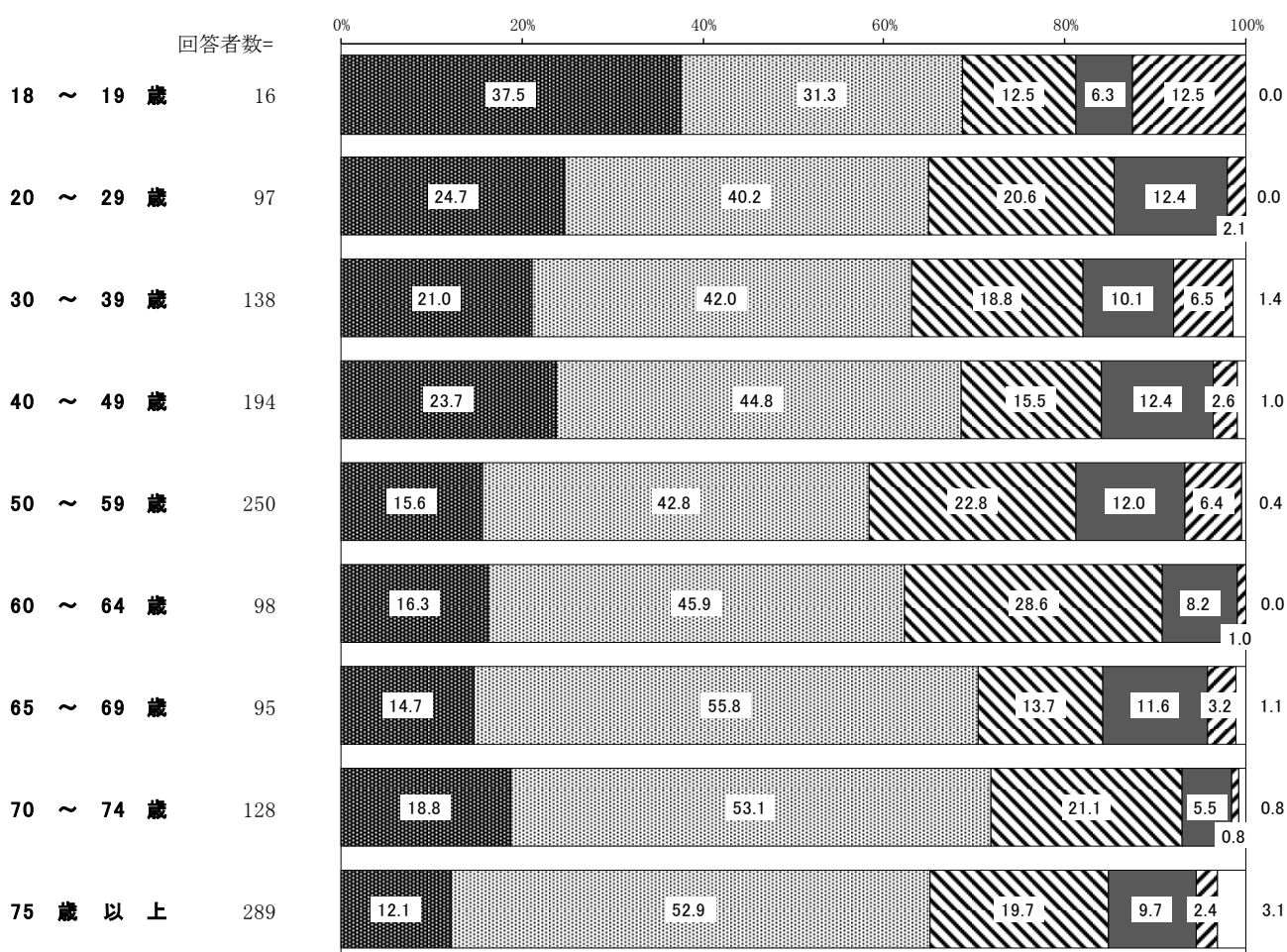
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



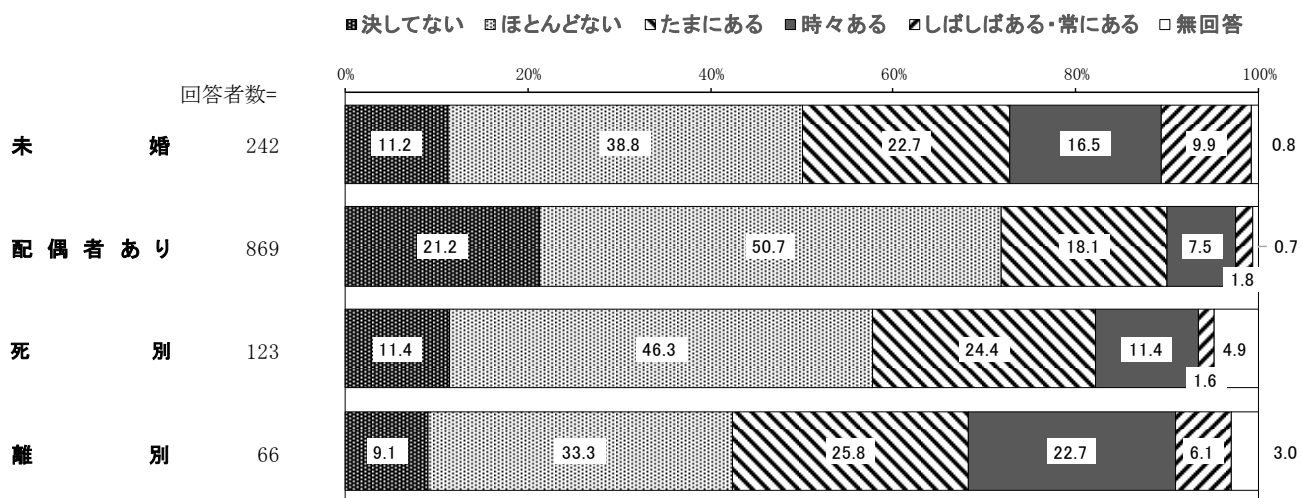
【年齢別】

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれ「ほとんどない」の割合が高くなっています。



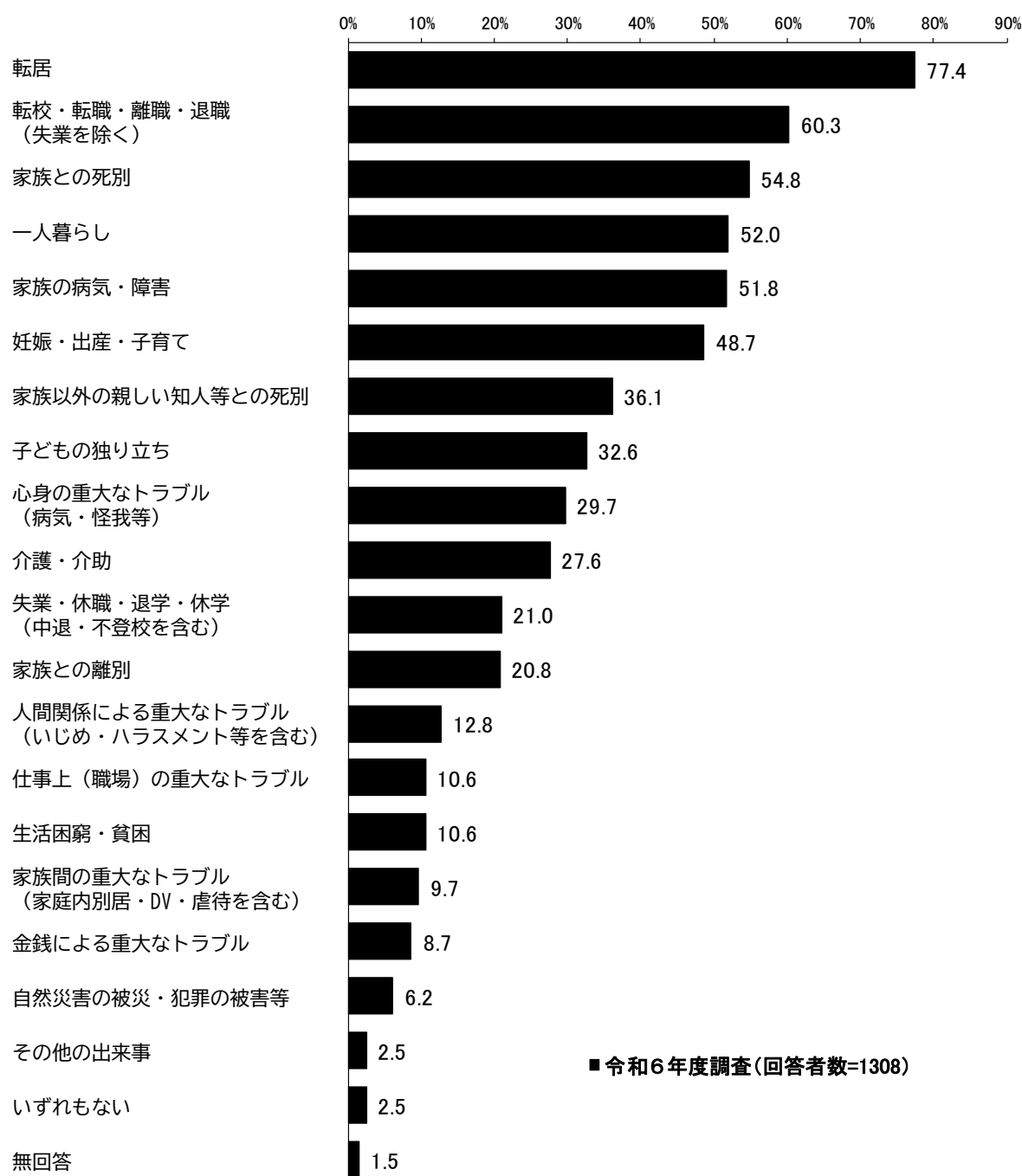
【婚姻状況別】

配偶者あり、死別で“ない”の割合が高くなっています。



問30. あなたがこれまでに経験した出来事をお答えください。（〇はいくつでも）

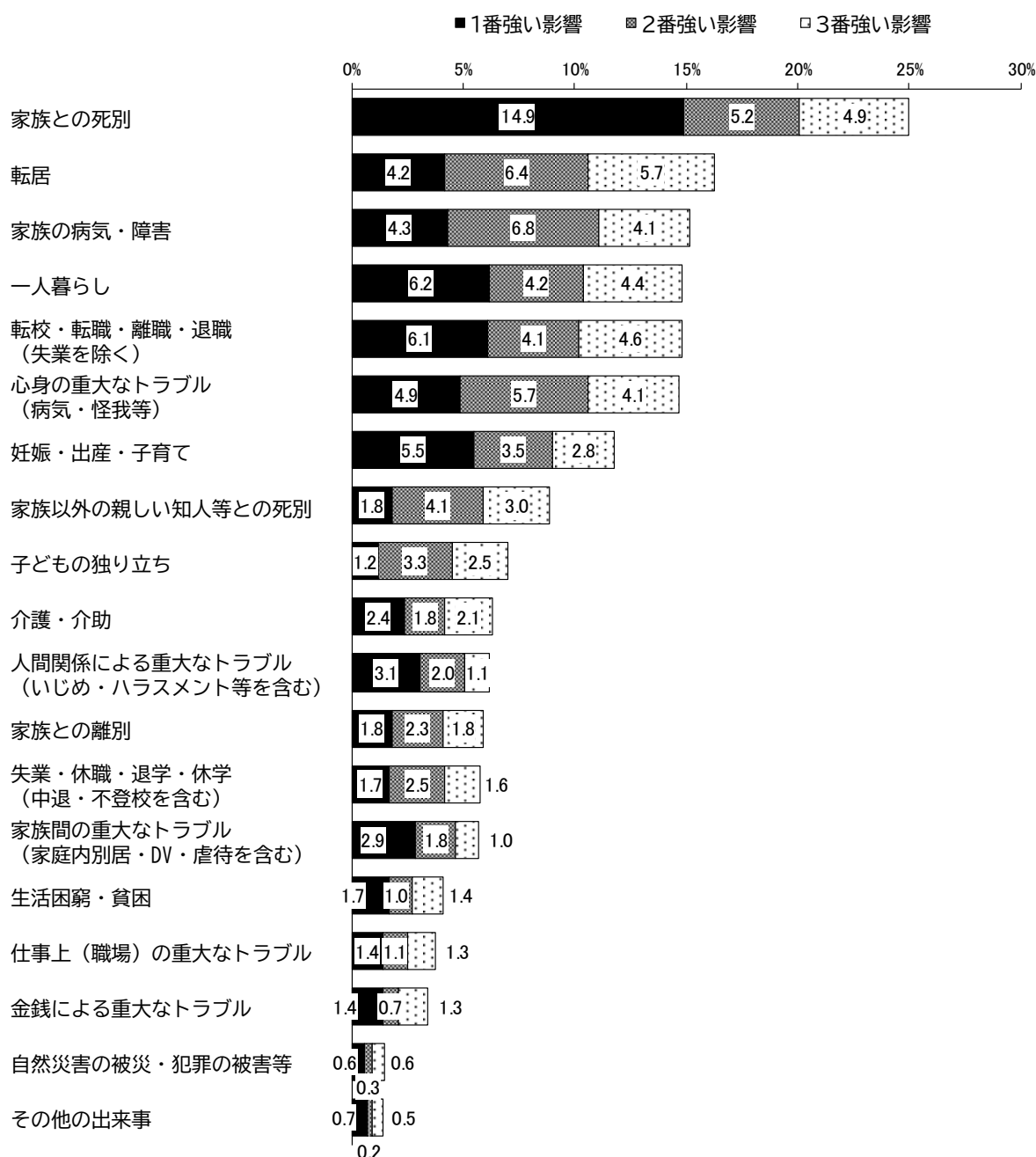
「転居」の割合が 77.4%と最も高く、次いで「転校・転職・離職・退職（失業を除く）」が 60.3%、家族との死別が 54.8%となっています。



問30で「いずれもない」「無回答」以外のいずれかに○を付けた（経験した出来事がある）とお答えの方に伺います

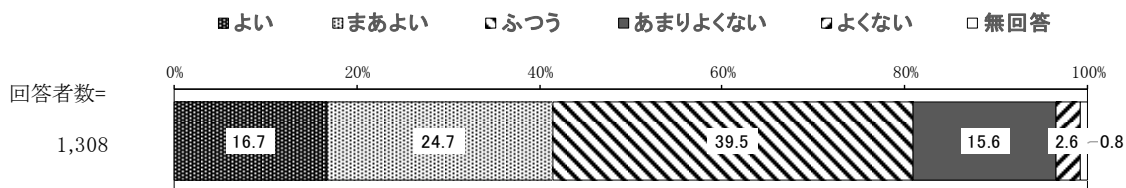
問30-1. 現在の孤独感（問29で回答した状況）に強く影響を与えたと思われる出来事はどれですか。影響の強い順に3つまで番号を記入してください。（番号は3つまで）

「1番強い影響」「2番強い影響」「3番強い影響」を合わせた全体として「家族との死別」の割合が25.0%と最も高く、次いで「転居」の割合が16.3%、「家族の病気・障害」の割合が15.2%となっています。



問3 1. あなたの現在の心身の健康状態をお答えください。（○は1つだけ）

「よい」と「まあよい」をあわせた“よい”の割合が41.4%、「あまりよくない」と「よくない」をあわせた“よくない”の割合が18.2%となっています。



【年齢別】

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれ“よくない”の割合が高くなる傾向がみられます。

